

資 料 編

1 旭川市の現況

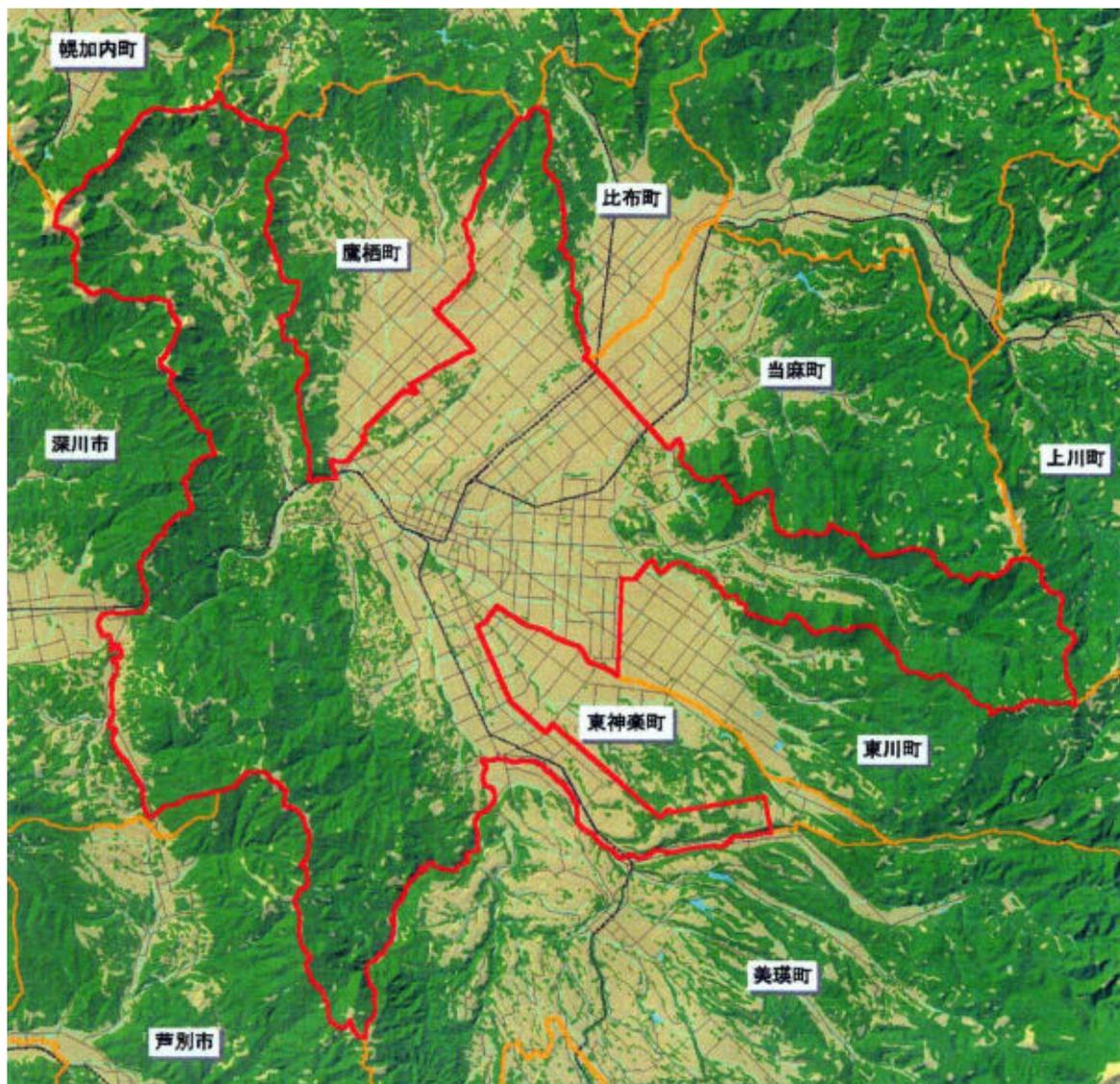
1-1)旭川市の概要

旭川市は、東経142度21分、北緯43度46分、標高112m(いずれも旭川市役所所在地)の北海道のほぼ中央部上川盆地に位置しています。

大正11年(1922年)の市制施行時に約6.2万人であった人口は、現在では約31万人を有する北海道の中核都市となっています。

本市は、上川圏に入植した屯田兵、農業入植者のための消費提供型都市と旧陸軍の第7師団を擁する軍事都市として成長しました。戦後数年の市街地は、現在の都心周辺を中心に約20km²強の広がりでしたが、昭和30年代からの隣接市町村との合併の結果、現在では747.66km²の行政面積を有し、鷹栖町や比布町、当麻町、東川町、東神楽町と楔型に接する行政域を有しています。

■旭川市の地勢



※出典：上川支庁資料

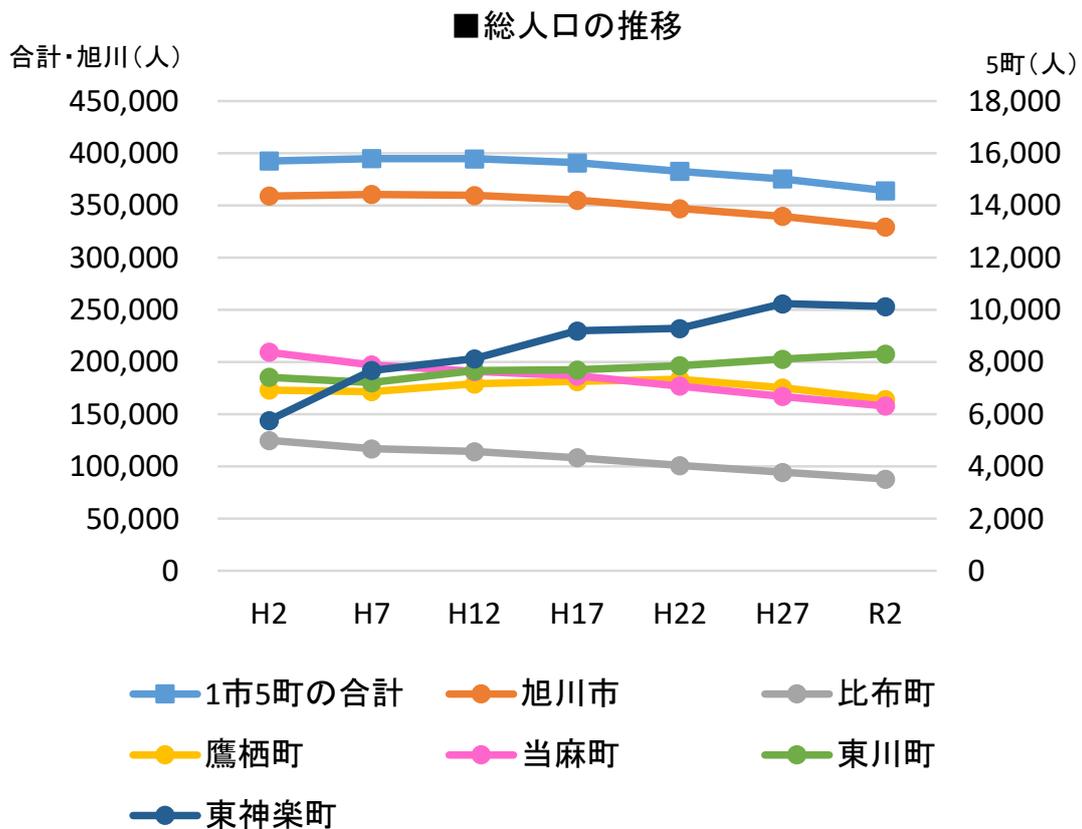
1-2)人口・世帯

① 総人口と人口動態

旭川市の総人口は約33万人（R2）で、推移をみると微減の傾向にあります。旭川圏内の1市5町村の合計は約36.4万人（R2）で近年、若干の減少がみられます。一方で東川町では人口増の傾向にあります。

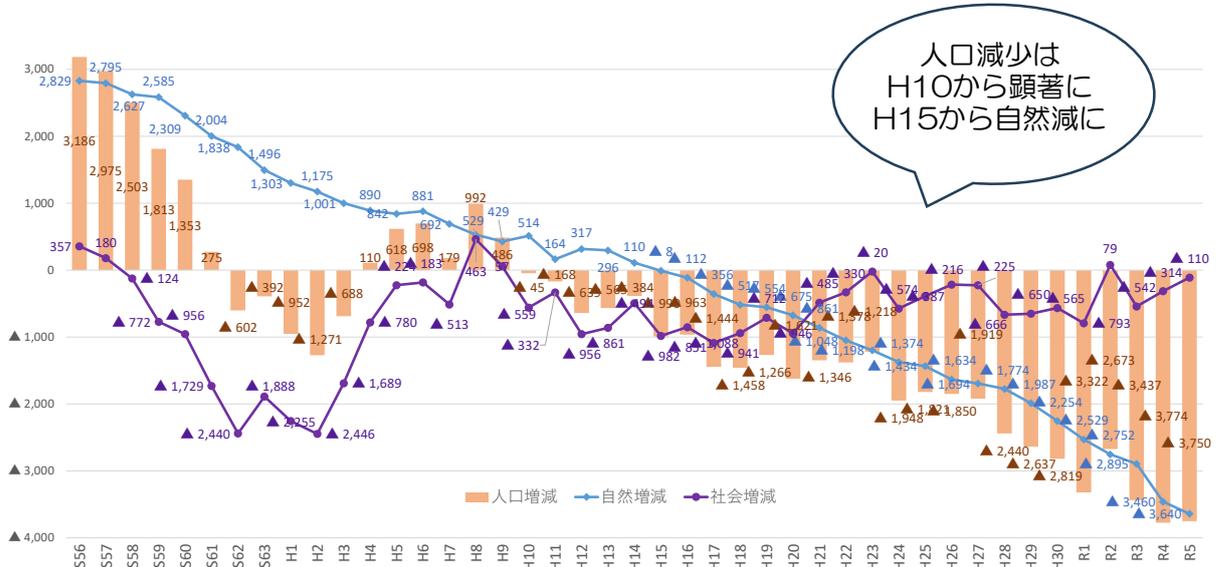
	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
1市5町の合計	392,569	394,902	394,718	390,973	382,720	375,437	364,153
旭川市	359,071	360,568	359,536	355,004	347,095	339,605	329,306
比布町	5,004	4,683	4,576	4,340	4,042	3,781	3,520
鷹栖町	6,930	6,871	7,165	7,261	7,345	7,018	6,567
当麻町	8,383	7,893	7,643	7,473	7,087	6,689	6,319
東川町	7,418	7,211	7,671	7,701	7,859	8,111	8,314
東神楽町	5,763	7,676	8,127	9,194	9,292	10,233	10,127

※国勢調査

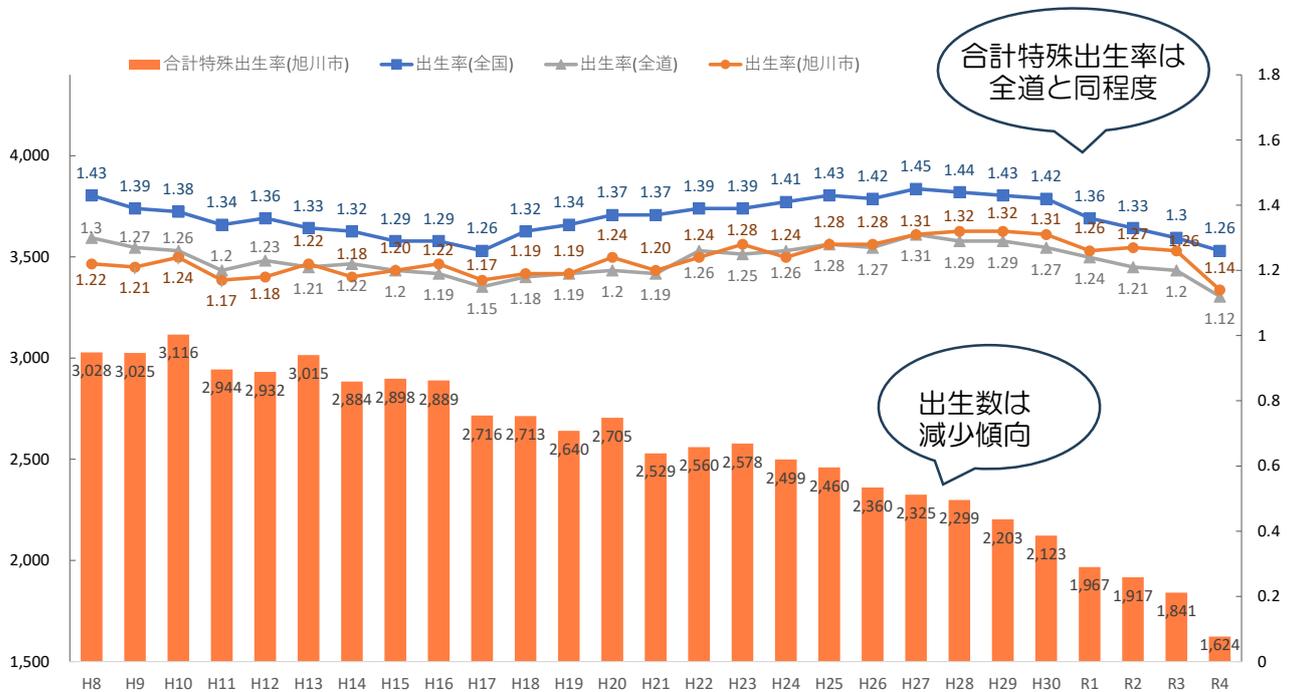


また、旭川市の人口減少は平成10年から顕著になっています。近年、社会減はおおむね横ばいで推移していますが、自然増減は、平成15年から減少に転じ、年々大きくなっています。出生率は、平成13年頃の約3,000人から一貫して減少傾向にあり、令和4年には約1,600人程度と20年間で半減しました。

■旭川市の人口減少の動向



■旭川市の出生数の低下



② 世帯数動態

旭川市の世帯数は約15.6万世帯（R2）で、推移をみると顕著な増加傾向がみられます。また、世帯人員数は、2.02人（R2）で小規模化が進んでいます。

旭川圏内の1市5町村の合計世帯数は、約17万世帯（R2）で増加傾向がみられ、旭川市、当麻町、東川町、東神楽町で増加傾向が見られます。平均世帯人員数の減少傾向はいずれの市町村もほぼ同様ですが、なかでも旭川市の平均世帯人員数はほぼ2人となるなど、小規模世帯化の傾向が顕著です。

■旭川市・周辺5町の世帯数の推移

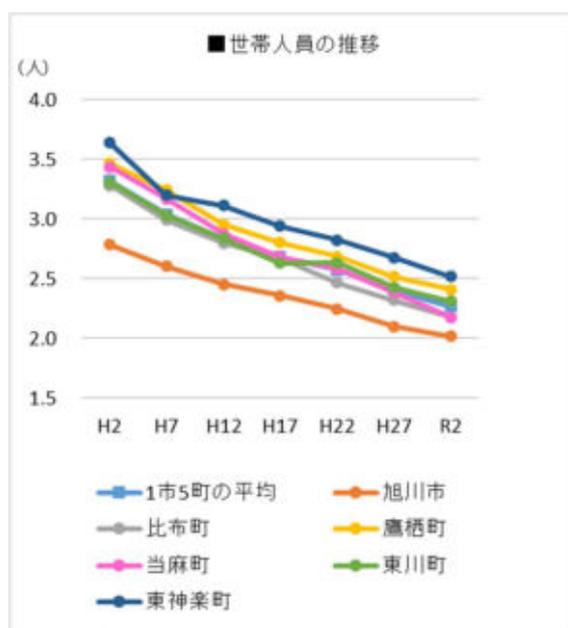
	(世帯)						
	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
1市5町の合計	138,710	149,303	158,431	163,438	167,780	169,553	170,590
旭川市	128,924	138,350	146,400	150,384	154,393	155,747	156,195
比布町	1,524	1,565	1,636	1,625	1,639	1,586	1,563
鷹栖町	1,998	2,118	2,427	2,591	2,732	2,717	2,658
当麻町	2,438	2,490	2,657	2,784	2,743	2,698	2,773
東川町	2,243	2,380	2,702	2,927	2,983	3,148	3,405
東神楽町	1,583	2,400	2,609	3,127	3,290	3,657	3,996

※国勢調査

■旭川市・周辺5町の世帯人員数の推移

	(人)						
	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
1市5町の平均	3.32	3.04	2.84	2.68	2.57	2.41	2.27
旭川市	2.79	2.61	2.46	2.36	2.25	2.10	2.02
比布町	3.28	2.99	2.80	2.67	2.47	2.32	2.18
鷹栖町	3.47	3.24	2.95	2.80	2.69	2.52	2.41
当麻町	3.44	3.17	2.88	2.68	2.58	2.39	2.18
東川町	3.31	3.03	2.84	2.63	2.63	2.43	2.31
東神楽町	3.64	3.20	3.11	2.94	2.82	2.68	2.52

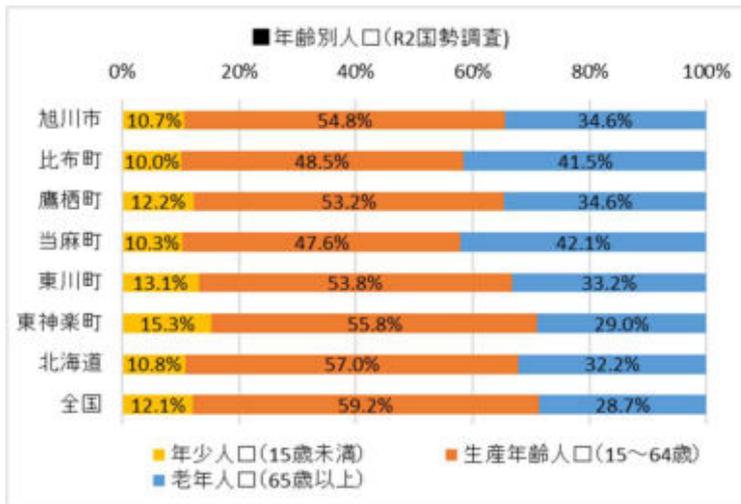
※国勢調査



③ 高齢化・少子化

旭川市の年齢別人口構成は、年少人口が約11%、生産年齢人口が約55%、老年人口が約35%で、全道の構成比と概ね同じになっています。老年人口の推移をみると年々増加傾向が進み、旭川市では35%近く（R2）になっています。圏域では比布町、当麻町の老年人口率が42%（R2）と高くなっています。

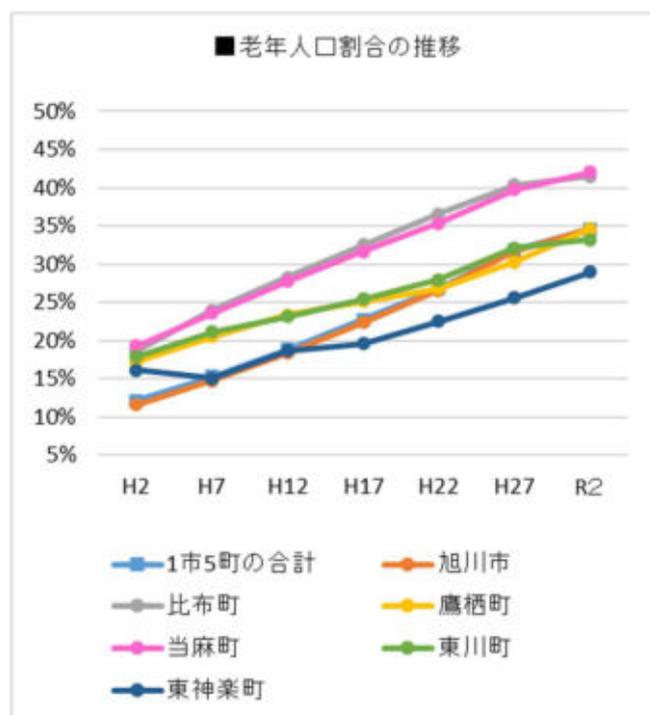
■人口構成比と老年人口割合の推移



■老年人口割合の推移

	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
1市5町の合計	12.1%	15.3%	18.8%	22.7%	26.8%	31.8%	34.6%
旭川市	11.6%	14.8%	18.3%	22.4%	26.6%	31.8%	34.6%
比布町	18.6%	23.9%	28.3%	32.5%	36.6%	40.3%	41.5%
鷹栖町	17.2%	20.5%	23.3%	25.1%	26.8%	30.3%	34.6%
当麻町	19.3%	23.6%	27.7%	31.6%	35.3%	39.8%	42.1%
東川町	17.9%	21.2%	23.2%	25.5%	28.0%	32.1%	33.2%
東神楽町	16.2%	15.1%	18.6%	19.6%	22.5%	25.6%	29.0%

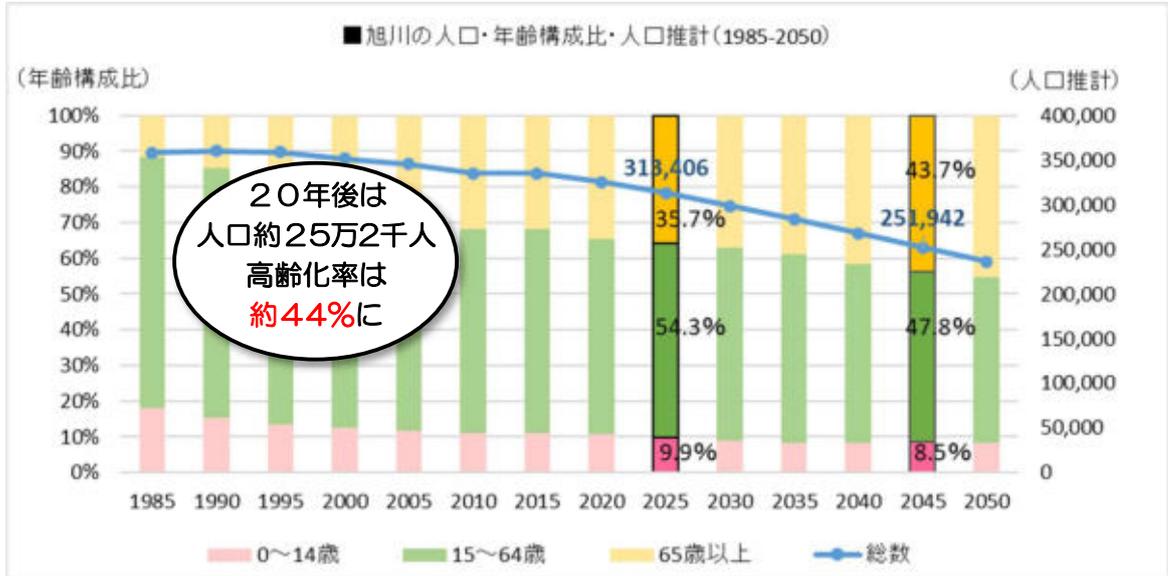
※国勢調査



旭川市の将来人口推計では、20年後の2045年頃には約25万2千人となり、高齢化率は、現在の約35%から約44%に増加することが予測されています。

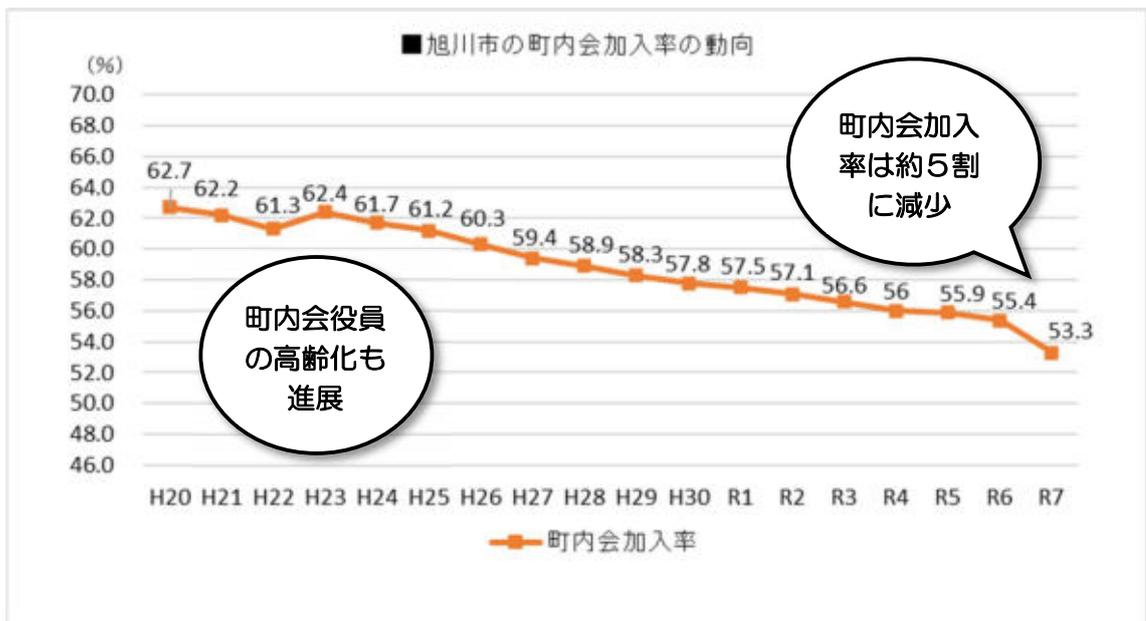
また、町内会への加入率は、この10年で約60%から約50%まで低下しており、将来の高齢社会の到来とともに、地域コミュニティの活力低下が懸念されます。

■旭川市の将来人口推計



※R2までは国勢調査，R7以降は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計

■旭川市の町内会加入率の動向



1-3) 気象

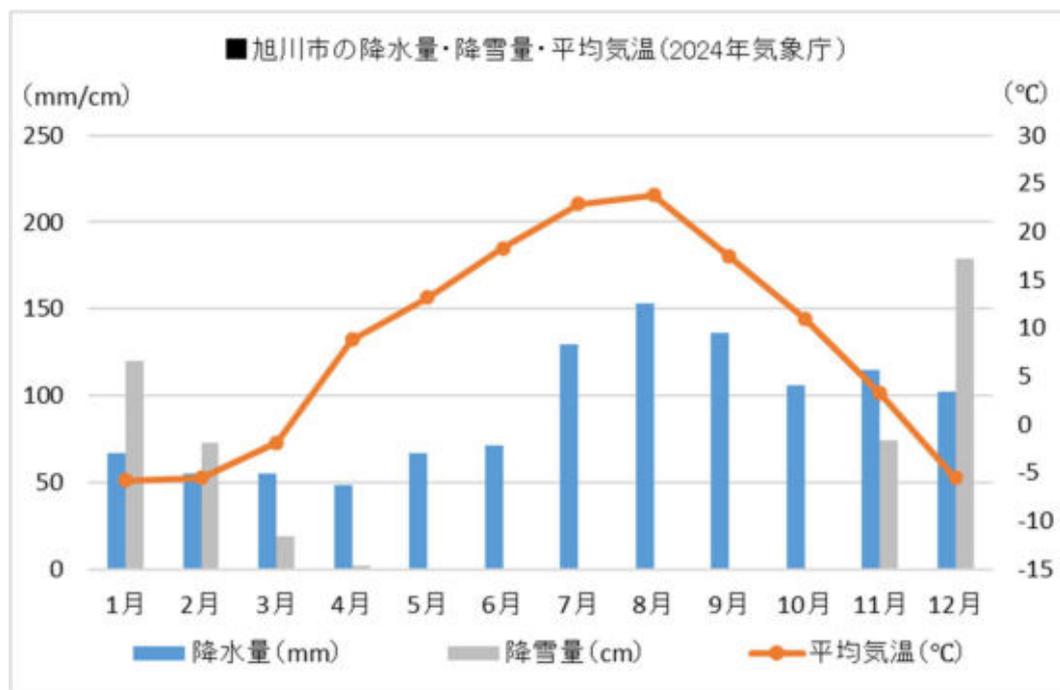
① 気候

旭川市は、盆地特有の気候で、夏期の最高気温は30℃を超え、冬期の最低気温は-20℃以下になるなど、「夏は暑く、冬は寒い」寒暖差の激しい内陸性気候です。特に冬期は、最深積雪の平年値は1m近くと、我が国でも有数の積雪寒冷の厳しい気象条件となっています。

また、風は強くなく、秋～冬に周辺河川による川霧が発生するなどの特徴があります。

■旭川市の降水量・降雪量・平均気温（2024年気象庁）

	降水量(mm)	平均気温(℃)	降雪量(cm)
1月	66.9	-5.8	120
2月	54.7	-5.5	73
3月	55	-1.9	19
4月	48.5	8.8	2
5月	66.6	13.2	-
6月	71.4	18.3	-
7月	129.5	22.9	-
8月	152.9	23.8	-
9月	136.3	17.4	-
10月	105.8	11	-
11月	114.5	3.2	74
12月	102.4	-5.5	179

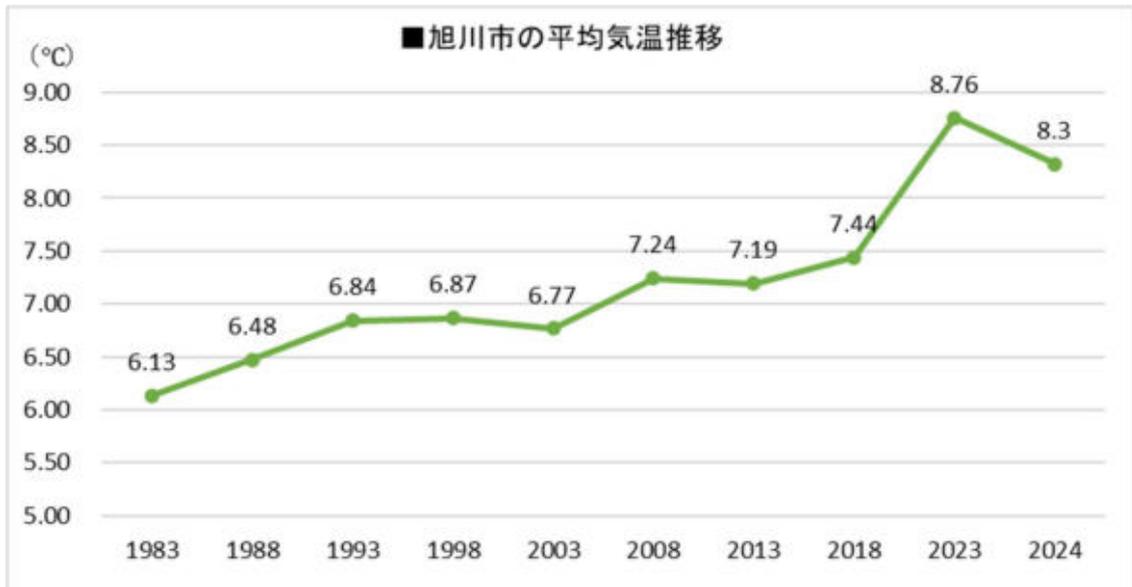


※気象庁データ

② ヒートアイランド化の動向

旭川の市街地の気温は、この40年で2.6℃上昇しており、ヒートアイランド化の傾向がみられます。みどりの温度抑制によるクールアイランド効果は、市街地環境の改善方策の一つとして考慮していく必要があります。

■市街地のヒートアイランド化の傾向



<観測地点>

2004年以降：旭川市宮前通東4155番31（合同庁舎）

2004年まで：旭川市8条通11丁目

1-4) 中心市街地の動向

旭川市の中心市街地は、車社会と市街地拡大などにより、その活力低下が顕著となっています。居住者数の減少、売上高の減少、歩行者通行量の減少などが進展してきましたが、旭川市では中心市街地活性化基本計画（令和5年）を策定し、にぎわいづくりの施策展開を図っており、中心市街地の魅力づくりを担う要素として、みどりのあり方が重要となっています。

■ 中心市街地の居住者数の推移



※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定

■ 中心市街地の小売年間販売額の推移



※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定

■ 中心市街地（平和通買物公園）の1日あたりの平均延べ通行量の推移



※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定

2 旭川市のみどり

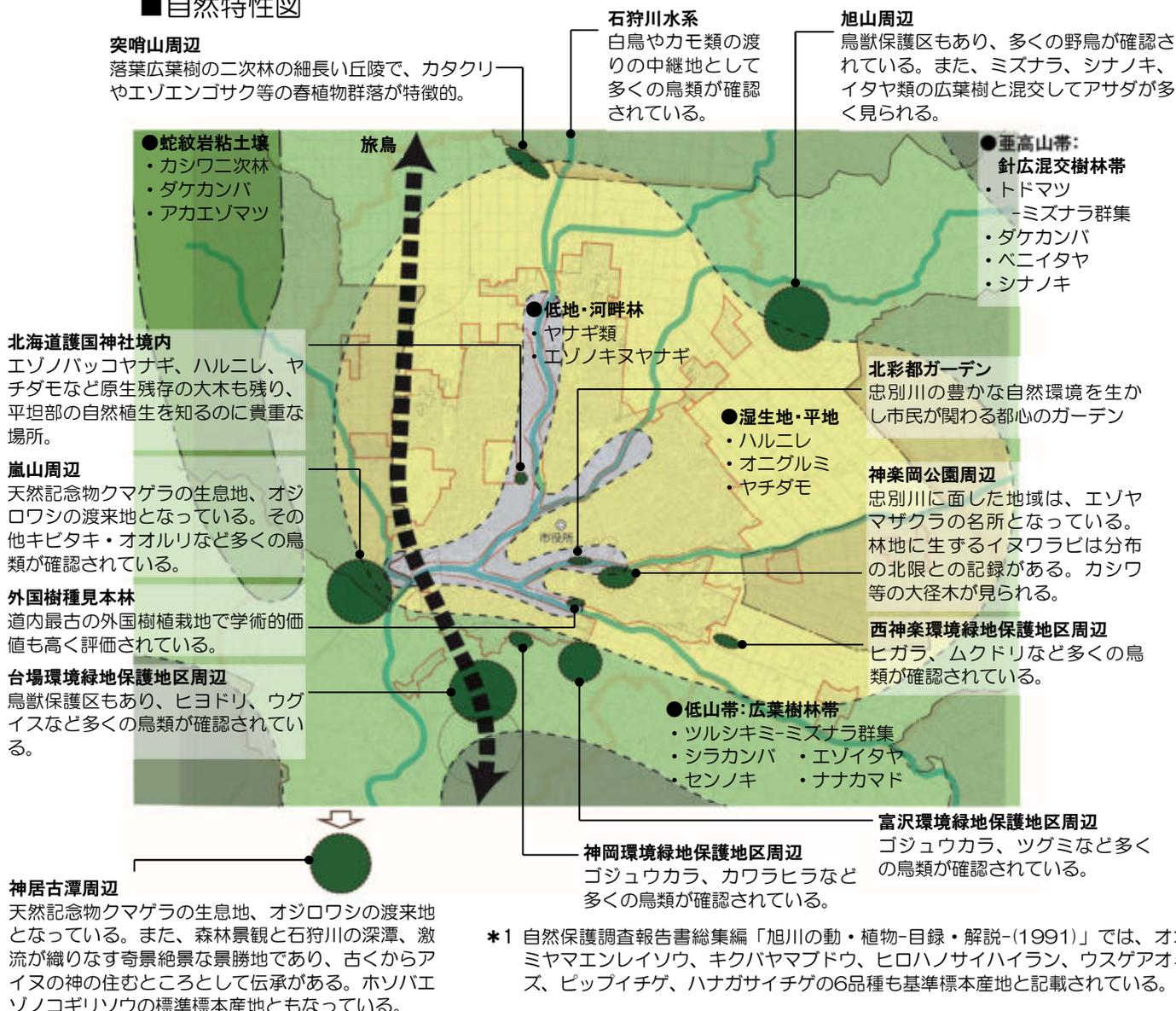
2-1)旭川市の自然と公園

① 土地自然特性

旭川市は、天然記念物や特殊鳥類に指定されているクマゲラ、オジロワシ、オオワシ、クマタカ、オオタカ等の貴重な鳥類が確認されています。また、旭川市で発見され命名の際に基準標本産地となっているカムイレイジンソウ、チカブミアザミ、アサヒカワアザミ、カムイトウヒレン、ホソバエゾノコギリソウ（変種）の4種1変種*1の草本類など特徴的な植物の産地となっています。さらに、神居古潭の奇景絶景は本道を代表する景勝地として知られていることなど、自然環境の観点から多くの資質、資源を有しています。

平成27年に北彩都ガーデンがグランドオープンし、都心におけるにぎわい拠点と河川環境再生の象徴的な取り組みとして、市民参加のもと維持・活用が図られています。

■自然特性図

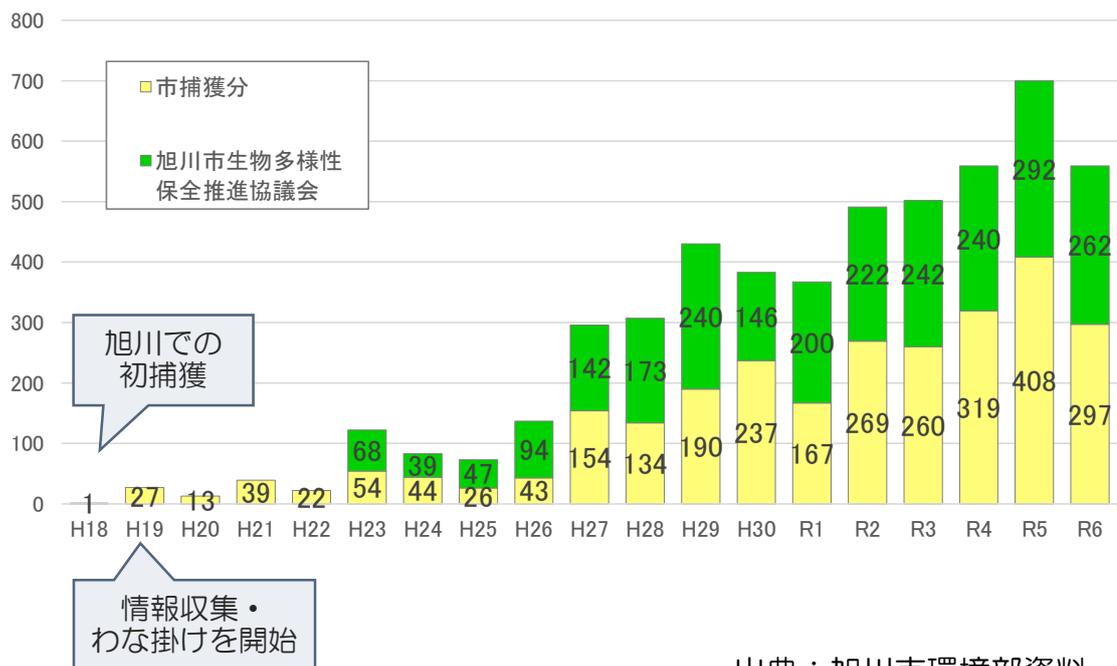


一方、近年北海道では外来種の侵入により、地域固有の生物相や生態系に大きな脅威となる問題が指摘されており、2004年に「北海道の外来種リスト」（北海道ブルーリスト2004）が公表され、その後、2010年に北海道ブルーリスト2010に改訂されました。生息・生育状況に関するデータの変更、新たな侵略的外来種の侵入など、北海道の外来種を取り巻く状況が変化し、実態に合わない部分が生じてきたことから、平成29年度(2017年度)から北海道ブルーリスト2010の改定検討が勧められ、平成31年(2019年)に、哺乳類、鳥類及び両生爬虫類についてブルーリストを改訂されました。

このリストには動物、魚類、昆虫類等が214種、植物が639種、選定されています。

旭川市においてもアライグマやウチダザリガニ、オオハンゴンソウ、ブタクサなどが確認されており、生態系の攪乱や農作物への被害が懸念されています。駆除等の取り組みが進められていますが、地域固有の生物多様性の保全が求められています。

■旭川市におけるアライグマの捕獲状況



② 旭川市をとりまくみどり

旭川市のみどりを大きく捉えると、石狩川等の主要な河川による**河川のみどり**、北部の東鷹栖の丘陵地帯、西部の春光台及び嵐山一帯の丘陵地域、南に延びて台場及び神居古潭から神居山地域、さらに大雪山へと連なる最東部の米飯地域といった**山地・丘陵地のみどり**、市街地周辺を包み込む**田園のみどり**、そして市街地内にある公園や街路樹、社寺林による**街のみどり**と4つの骨格的なみどりに分けることができます。

こうした骨格的なみどりは、旭川市独自の風景の基本構造となっており、これを生かした取り組み検討が大切です。

■旭川のみどりのフレーム

街のみどり

市街地内に分布する社寺境内の樹林、学校林、外国樹種見本林等は、市民生活に身近で貴重なみどりである。

河川のみどり

旭川市の水とみどり、そして景観の骨格。市内には石狩川、牛朱別川、美瑛川、忠別川など大小約130本もの川が流れており、そこには約730もの橋がかけられている。



丘陵地のみどり

神居台場、旭岡、春光台神楽丘陵等の広葉樹の樹林地帯が、市街地景観の背景となり、旭川の特徴的なみどりの1つと言える。

山地のみどり

市街地を取り囲む江丹別・米飯・神居山等の山塊は、まちの領域を形成する緑地として重要なみどりである。

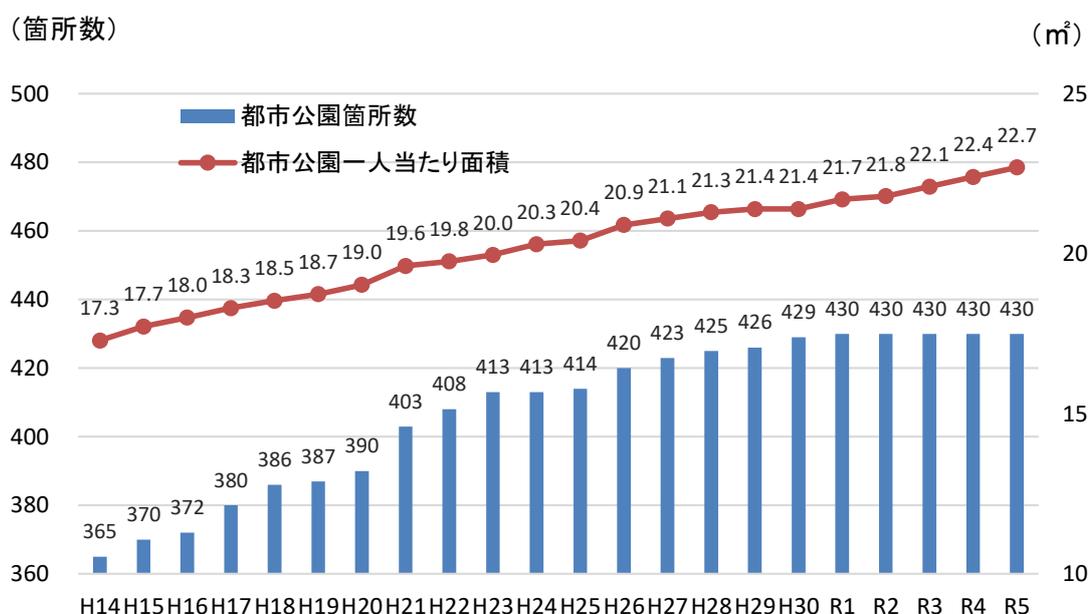
田園のみどり

本来の生産的機能に加えて、郷土景観を代表する生産緑地である。

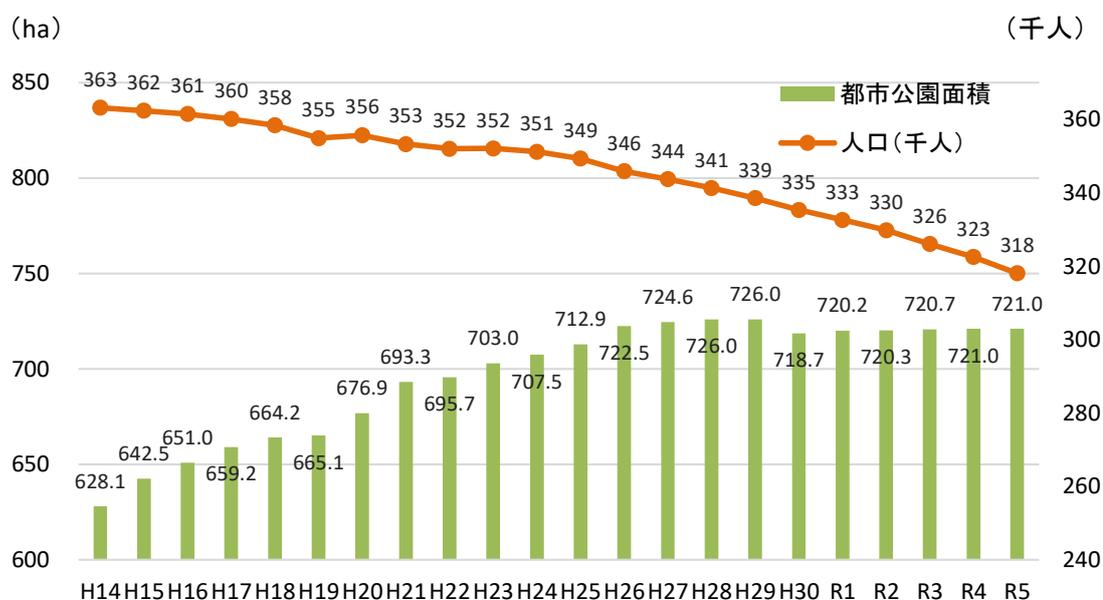
③ 旭川市の公園整備の状況

旭川市の都市公園は、着実に整備が進められてきましたが、令和元年以降公園数は増加しておらず、令和5年度現在430箇所となっています。都市公園一人当たりの面積も漸進的に増加しており、現在22.7㎡/人となっています。これは人口減少が影響している結果といえます。

■都市公園数・都市公園一人当たり面積の推移



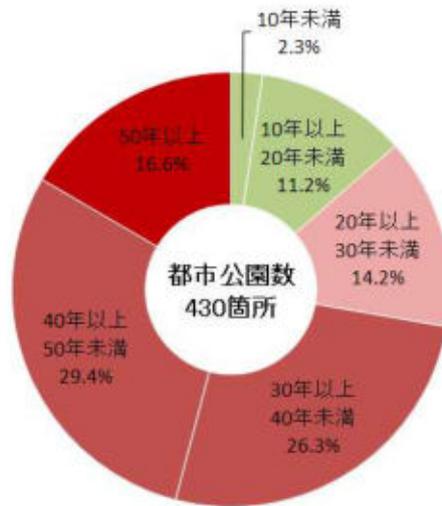
■都市公園面積と人口の推移



④ 都市公園の経年数

旭川市の都市公園の経年数をみると、20年以上経過が約87%、30年以上経過が約72%となっており、施設の補修や更新を進めているものの、公園施設の老朽化が進んでいます。

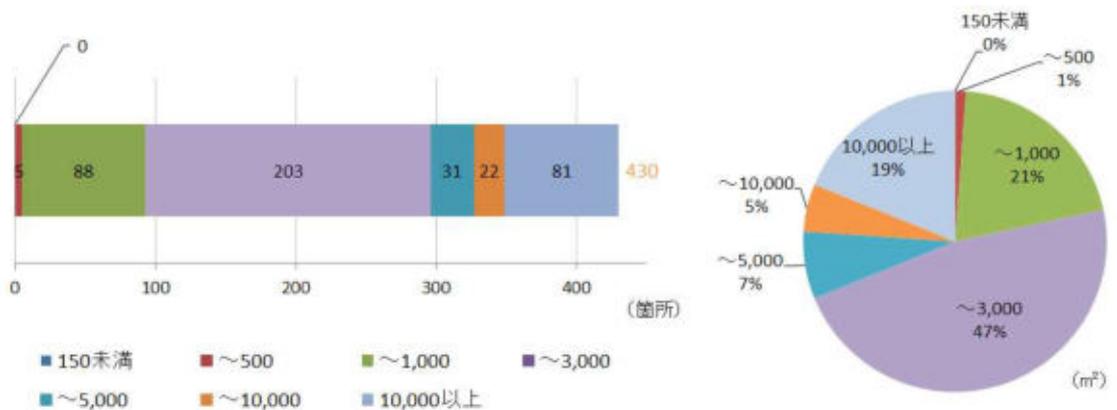
■都市公園の経年数



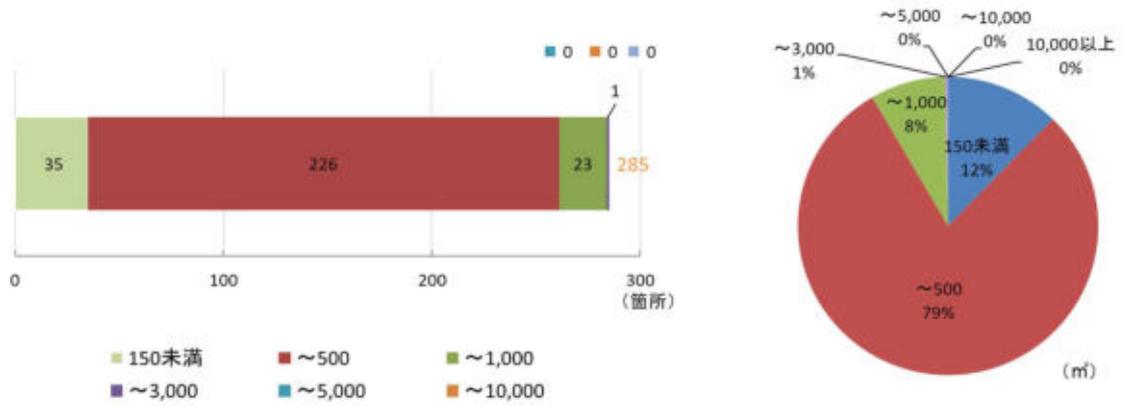
⑤ 都市公園および児童遊園の規模

旭川市の都市公園の規模は、3,000㎡未満が全体の3/4を占めており、1,000㎡未満は約1/4となっています。また、児童遊園は500㎡未満が約9割を占めており、近接して設置されて遊具などが似たような構成になっている場合もみられます。

■都市公園の規模別割合



■ 児童遊園の規模別割合



■ 面積別都市公園及び児童遊園数



500m²未満の児童遊園は数も多く、遊具等の機能重複や維持管理費の増大がみられ、今後のあり方の方向づけが必要。



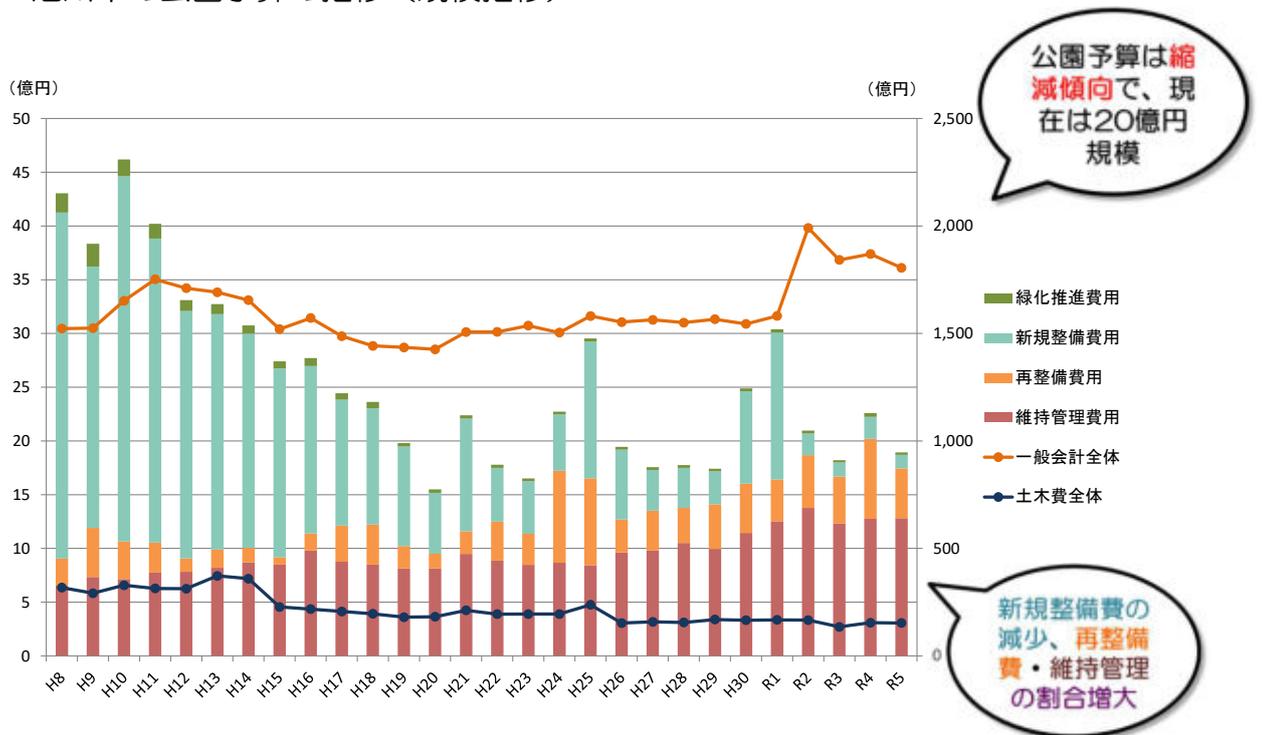
■ 狭小な児童遊園の例
(神居1・5児童遊園・143m²)

⑥ 公園予算および緑化基金の推移

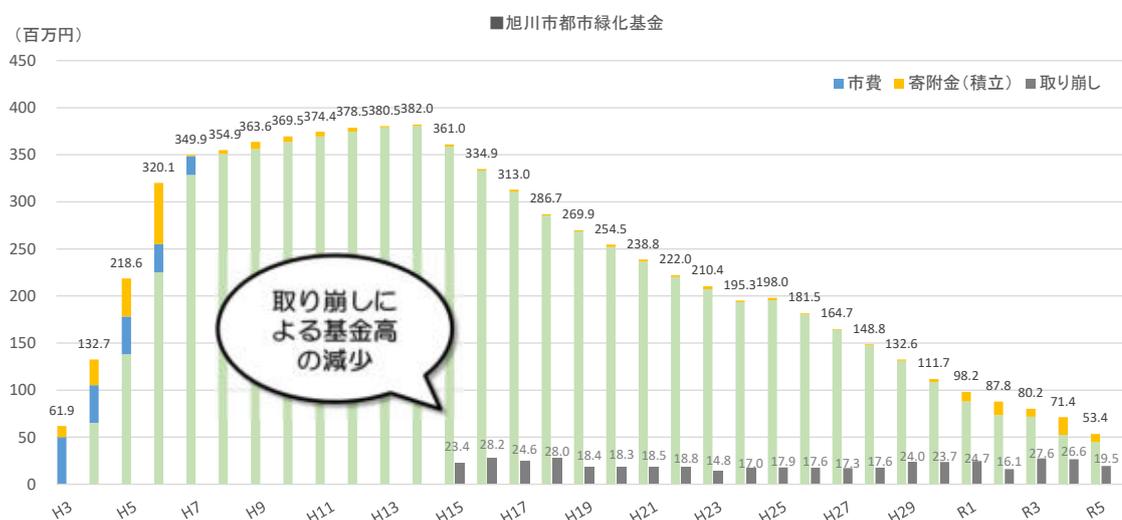
旭川市の公園予算は、一般会計が横ばいとなっているのに対し縮減傾向にあり、現在約20億円規模となっています。（令和2年度以降はコロナ対策等により一般会計は一時的に増加）また、新規整備費は減少傾向の反面、再整備費や維持管理費の割合が増加傾向にあります。

旭川市都市緑化基金は、平成14年の3.8億円をピークに、平成15年から取り崩しが始まり、年々規模が縮小し現在、約5千万円程度となっています。現在の運用状況が続くと2年余で基金の消失が懸念され、今後のあり方の検討が必要です。

■旭川市の公園予算の推移（規模推移）



■旭川市緑化基金の推移

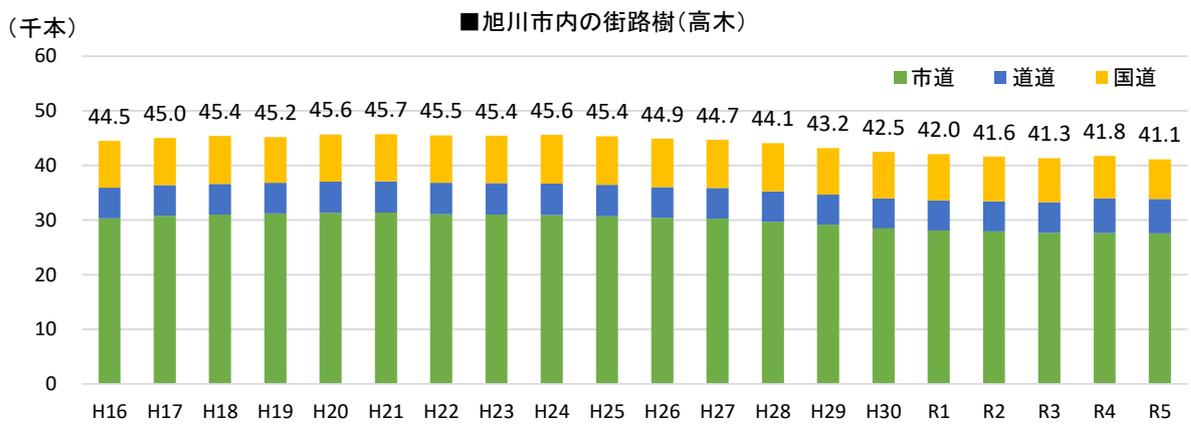


2-2) 道路のみどり

旭川市の街路樹数は近年、横ばい傾向にあります。

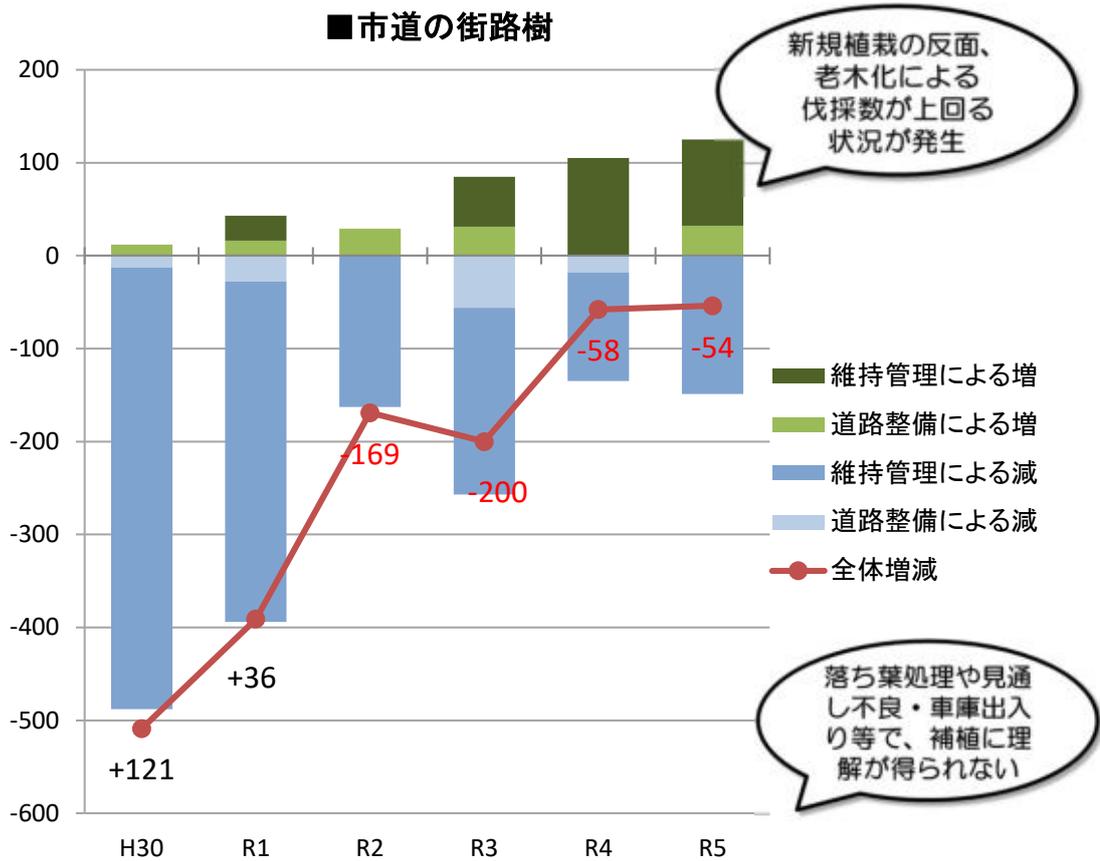
また、人口千人あたりの街路樹本数をみると、旭川市は、道内比較都市中第4位という結果になっています。旭川市の街路樹は、神楽岡通(プラタナス)のように大きく美しい樹冠を持つ並木となっている箇所も一部に見られますが、信号機や電線などと競合するため強めの剪定を必要とし、緑量感に欠けるものとなっています。

■旭川市内の街路樹数（高木）の推移



近年の市道の街路樹の増減をみると、新規植栽を進めている一方、老木化による伐採数が新植を上回るなど、これから街路樹の更新時期に差し掛かることが予想されます。また、危険木化にともなう街路樹の更新の際、落葉処理や見通し不良、車庫等の出入り等の理由で、街路樹の補植に地先住民から理解が得られない状況が発生しています。

■近年の街路樹の増減（老木化の進行）



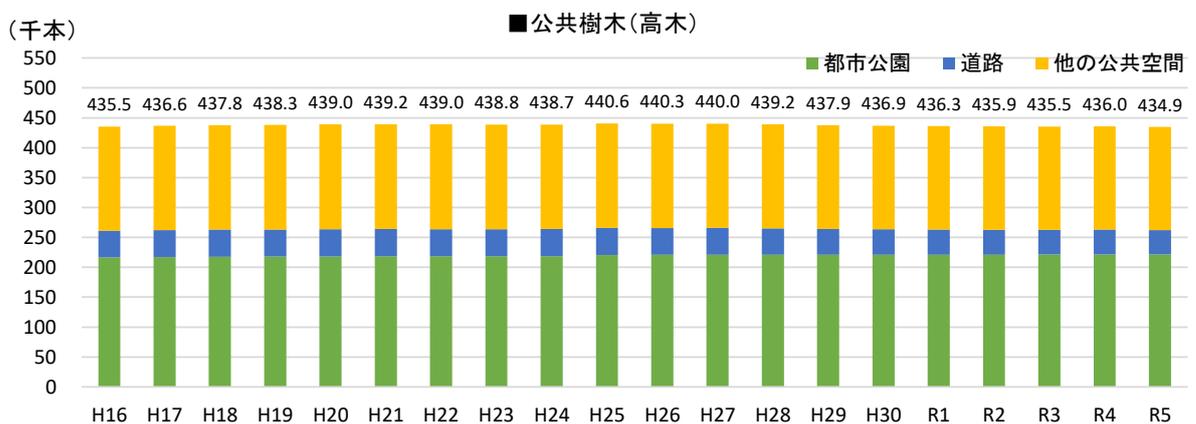
2-3) 公共公益施設のみどり

旭川市の公共施設や公益施設の樹木数（高木）は、おおむね横ばいの状況にあります。

道路や公園以外の公共公益施設の緑化状況は、文化施設や高等学校以上の教育施設では比較的高水準にあるものの、小・中学校、保育園、行政施設では低い傾向がみられます。また、保育園や幼稚園は、どの施設も敷地面積が狭小で十分な緑化スペースを確保することが困難な状況にあり、比較的敷地に余裕のある小・中学校も、十分な緑地を有していない現状がうかがえます。

保育園、幼稚園、小学校等は、敷地面積は狭小であっても市域全体に点在し、その箇所数が最も多いことから、地区の緑化に果たす役割は大きく、子供たちの緑化意識の醸成、啓発という観点からも積極的な緑化が望まれます。

■旭川市内の公共樹木数（高木）の推移



2)商業地・工業地

- ・旭川市の商業地は、JR駅周辺や主要幹線道路沿線に形成されています。
- ・商業空間のみどりは、街路樹に負うところが大きく、商店街の緑化運動の取り組みは不十分と言えます。その中において平成27年にグランドオープンした北彩都ガーデンは、街中と河川空間を結ぶ豊かな自然空間として整備され、市民参加による活動や利活用が進められています。これにより、民有地の緑化促進など、周辺地域への波及効果が期待されます。
- ・工業地は市街地内や郊外に立地しており、緑被現況調査（資料編4-5P）の結果によると、緑被地を一定程度確保していると言えますが、一部工業地では樹木が占める面積が小さい傾向があり、市街地との緩衝をさらに進めることが期待されます。

2-5)農地のみどり

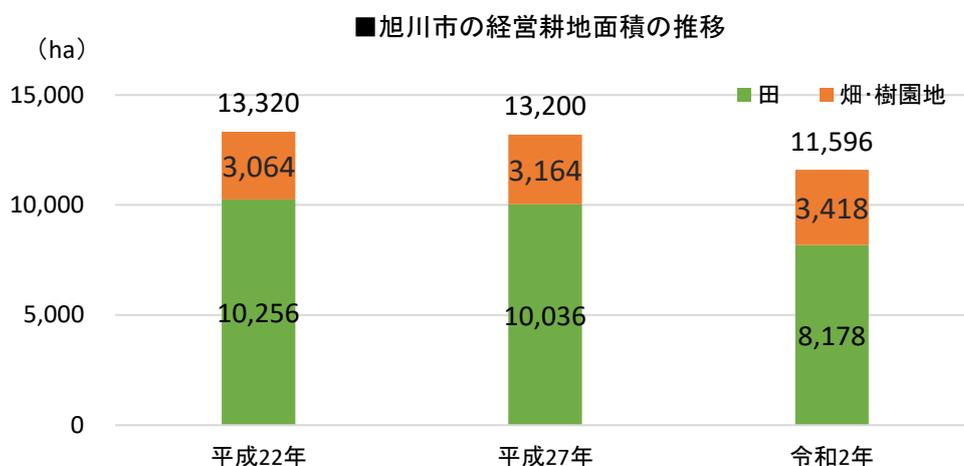
① 農地の動向

旭川市の農地は市街化区域の外側に広がっており、市域全体の20%を占めています。平地に広がる水田は農地全体の約6割を占め、良質米の産地として知られています。美瑛川沿い等の河岸段丘や山地寄りでは畑地となり、江丹別のソバ生産量は国内第3位などが知られています。

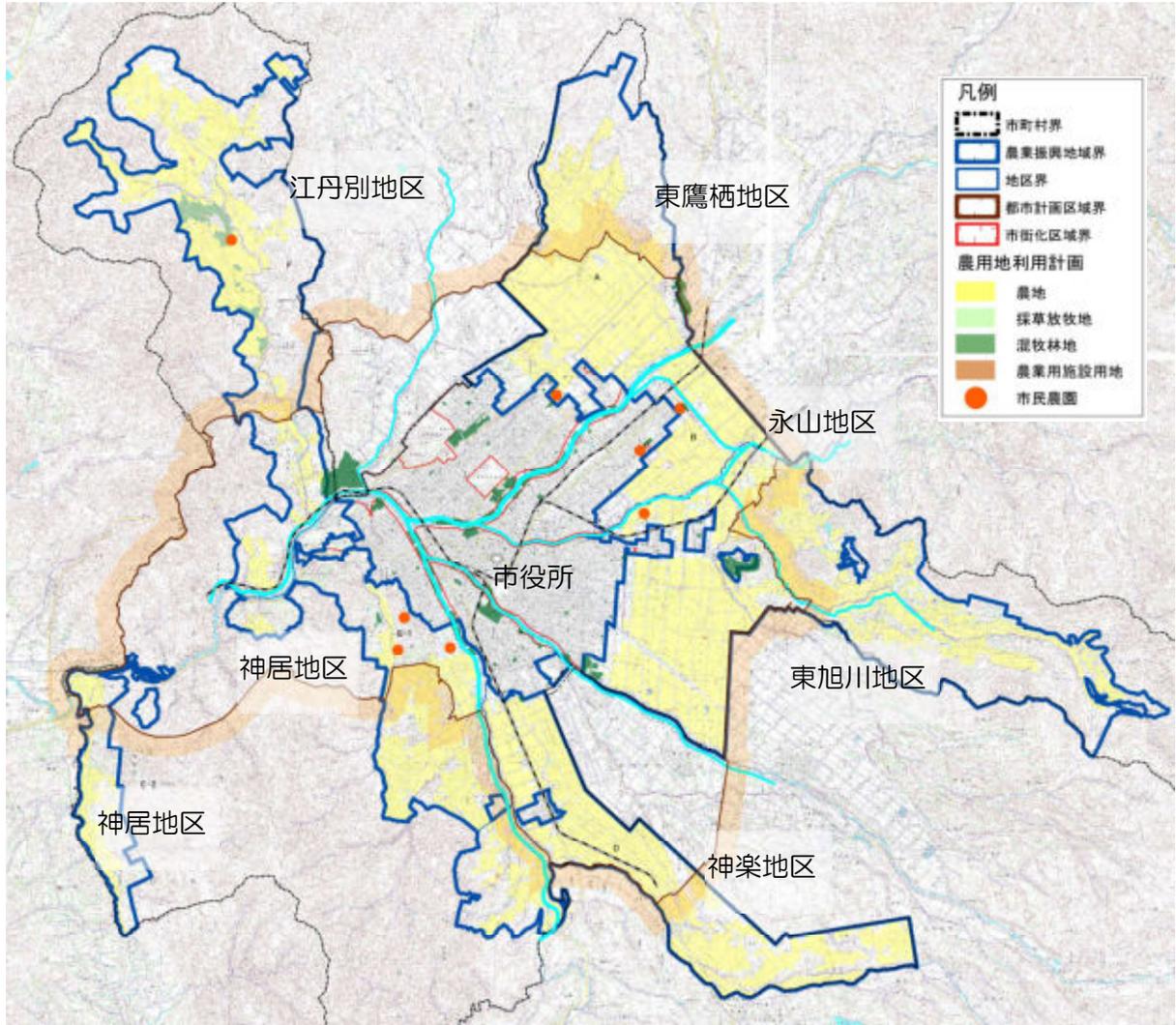
農家数は902戸（R2）で10年間での35%程度、減少しており、耕地面積も減少傾向が顕著です。農業者の高齢化や後継者不足が深刻になっている一方、戸あたり耕地面積は、約12haと大規模化の傾向にあります。

一方近年、市民農園の人気の高まり、市内8箇所です市及び農業者により運営されています。

■旭川市の経営耕地面積の推移



■旭川市の農地分布

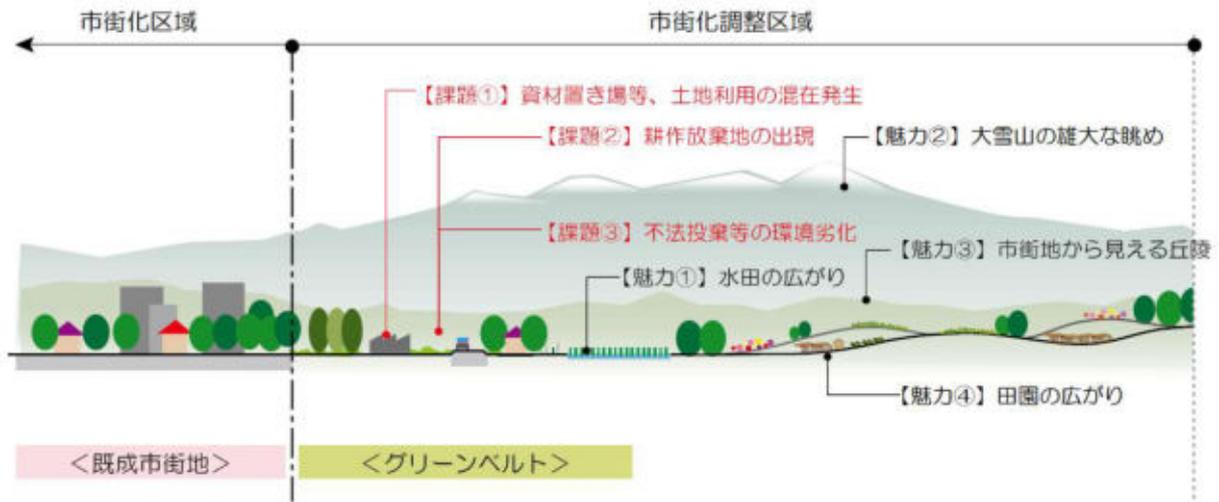


※旭川農業振興地域土地利用計画図

② 市街地縁辺の状況

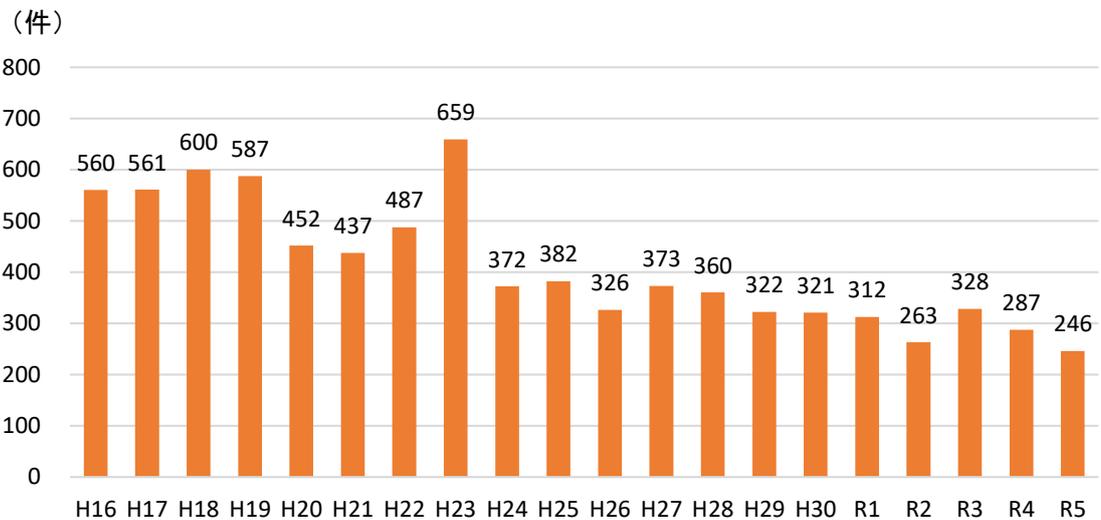
旭川市の市街化区域の縁辺は、水田や丘陵の田園の広がり・大雪山への雄大な眺望など、旭川らしい魅力を有しています。しかし近年、耕作放棄地の増加、資材置き場などが農地に混在する土地利用の混乱、不法投棄の増加などの環境劣化が進展しており、農地の保全活用と共にその対策が必要となっています。

■市街地縁辺の魅力と課題



■不法投棄件数の推移

■一般廃棄物・産業廃棄物の確認件数及び処理状況



■旭川市内の不法投棄例

市街地縁辺の林や農地周辺では不法投棄が発生。
近年、パトロールなどの対策により、減少傾向にあるものの、依然として年間200件以上の発生がみられる。

3 旭川市民のみどりに対する意識

3-1) 市民アンケート結果

① みどりなどの自然環境の評価

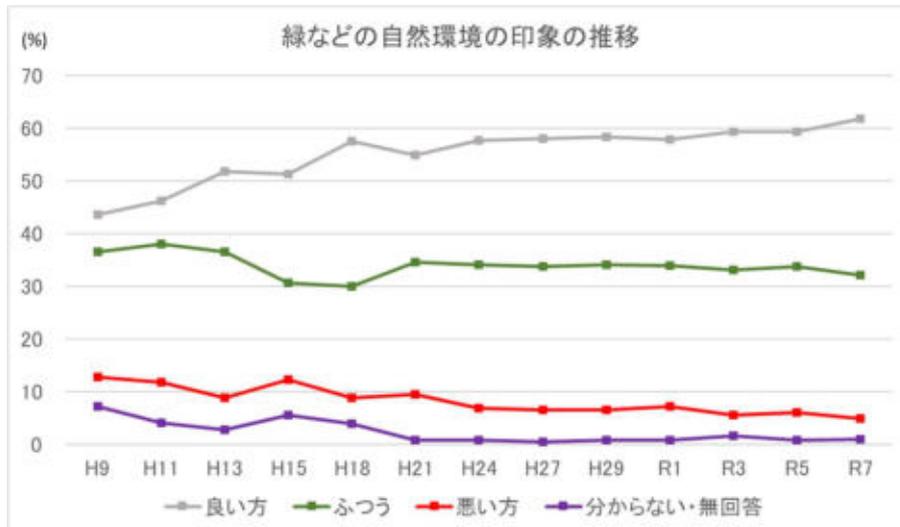
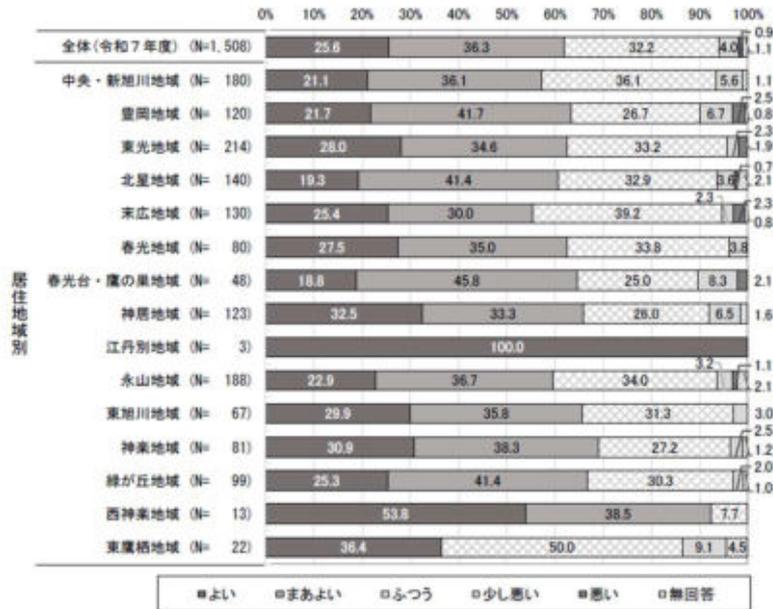
旭川市民のみどりに対する評価の推移は、次のとおりです。

*平成9～令和7年度(1997～2025年)旭川市民アンケート調査(郵送による配布、郵送またはWEBでの回答)

配布数3000通(18歳以上の市民を無作為抽出)。回収率=各年50%程度)

- みどりなどの自然環境の評価は、全体で6割近くと比較的高い。
- 江丹別地区、西神楽地区、神楽地区で「良い方」が高い。
- 意識の推移をみると「良い方」が増加傾向にある。

[令和7年10月公表]

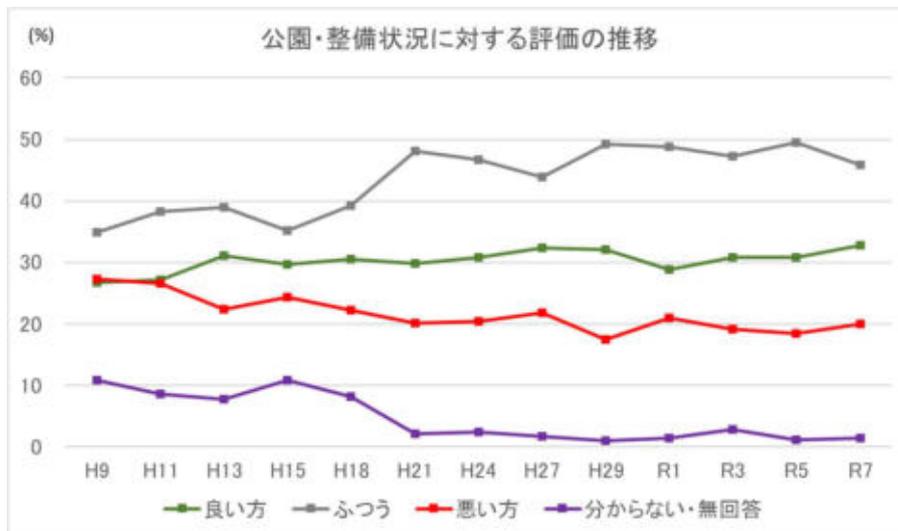
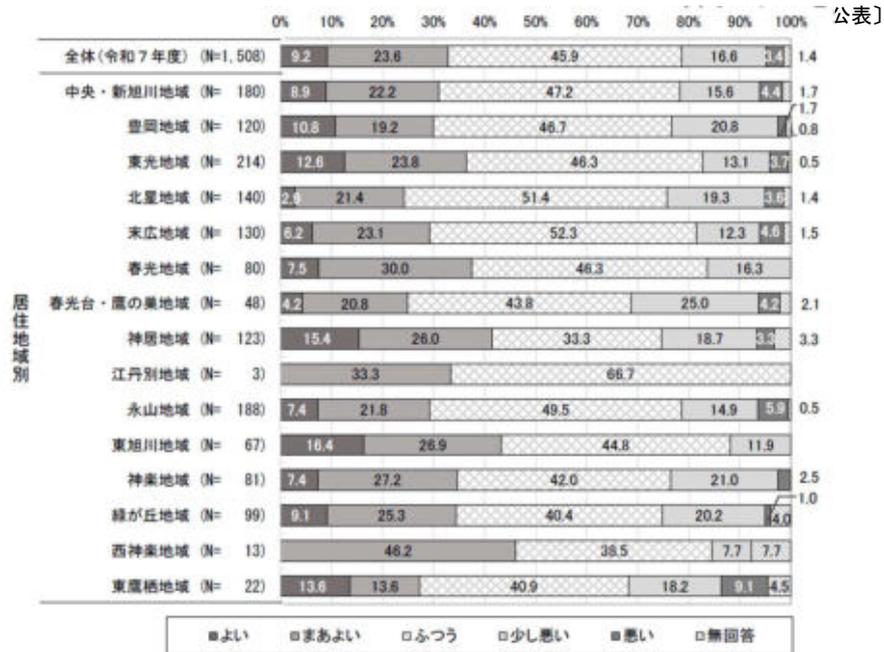


*「良い方」＝「非常に良い」と「まあまあ良い」の合計。

「悪い方」＝「あまり良くない」と「悪い」の合計

公園や遊び場の整備状況

- 公園等の整備状況に対する評価は、3割が「良い」とやや低い。
- 評価の推移をみると「普通」が50%程度で高い水準にあるが、近年「良い方」が増加傾向にある。



* 「良い方」 = 「非常に良い」と「まあまあ良い」の合計。
「悪い方」 = 「あまり良くない」と「悪い」の合計

3-2) みどりの市民アンケート結果

「みどりの市民アンケート」は、旭川市民のみどりに関する意識や行動の現状を把握するとともに、「緑の基本計画」の将来像の実現に向けて設定する目標及び進行管理上の指標について、その達成状況や市民意識の変化に基づき、各施策の見直しや充実化などを図るための基礎資料とすることを目的として、令和7年度（2025年度）に実施しました。実施の概要は、次のとおりです。

① 令和7年度（2025年度）旭川市民みどりの市民アンケートの実施概要

①調査の対象

- ・旭川市全域。旭川市民のうち、18歳以上の男女3,000人

②抽出方法

- ・35の地区、性別、年齢のバランスをとって無作為抽出

③実施方法

- ・調査票の郵送及び郵送による回収

④調査期間

- ・令和7年(2025年)9月8日発送（記載期間：2週間程度、回収期間：1か月程度）

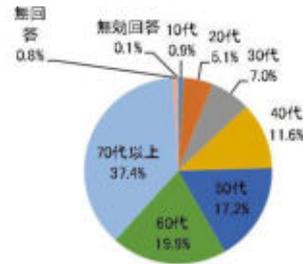
⑤回収状況

- ・1,189通（回収率39.6%）

② 基礎データ

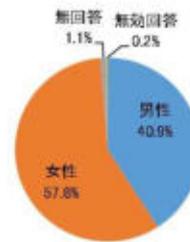
あなたの年代はどれですか？（令和7年4月1日現在）

	(人)	(割合)
10代	11	0.9%
20代	60	5.1%
30代	83	7.0%
40代	137	11.6%
50代	204	17.2%
60代	238	19.9%
70代以上	444	37.4%
無回答	10	0.8%
無効回答	1	0.1%
合計	1,186	100.0%



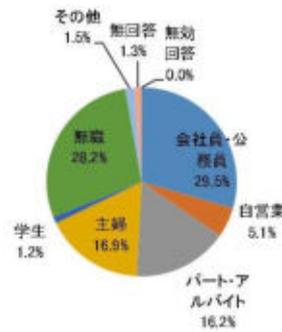
あなたの性別はどちらですか？

	(人)	(割合)
男性	485	40.9%
女性	686	57.8%
無回答	13	1.1%
無効回答	2	0.2%
合計	1,186	100.0%



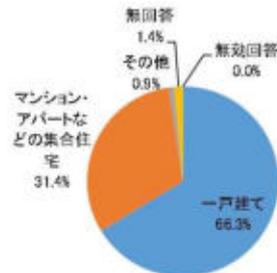
あなたのお仕事はどれに当たりますか？

	(人)	(割合)
会社員・公務員	350	29.5%
自営業	61	5.1%
パート・アルバイト	192	16.2%
主婦	201	16.9%
学生	14	1.2%
無職	335	28.2%
その他	18	1.5%
無回答	15	1.3%
無効回答	0	0.0%
合計	1,186	100.0%



あなたのお住まいはどのような形態ですか？

	(人)	(割合)
一戸建て	786	66.3%
マンション・アパートなどの集合住宅	372	31.4%
その他	11	0.9%
無回答	17	1.4%
無効回答	0	0.0%
合計	1,186	100.0%



あなたのお住まいの地区は？

	(人)	(割合)	(送付人数)
中央西地区	24	40.0%	60
既存都心地区	54	41.9%	129
宮前地区	33	46.5%	71
中央東地区	18	28.1%	64
豊岡地区	43	39.1%	110
東光西地区	44	31.9%	138
愛宕地区-1	42	36.5%	115
愛宕地区-2	14	23.3%	60
愛宕地区-3	12	40.0%	30
東光東地区	75	43.1%	174
東旭川地区	28	46.7%	60
近文地区	27	45.8%	59
北星地区	57	45.6%	125
大町・川端地区	34	35.4%	96
住吉・春光町地区	31	52.5%	59
春光台地区	33	34.4%	95
末広西・春光地区	30	34.9%	86
末広東・春光地区	26	38.8%	67
末広北地区-1	37	50.0%	74
末広北地区-2	0		0
末広北東地区-1	45	40.5%	111
末広北東地区-2	3	23.1%	13
東藤原地区	10	50.0%	20
新旭川地区-1	40	41.2%	97
新旭川地区-2	5	26.3%	19
バルブ地区	3	50.0%	6
永山南地区-1	21	33.3%	63
永山南地区-2	2	40.0%	5
流通団地地区	3	27.3%	11
永山北地区	0	0.0%	9
永山西地区	55	42.0%	131
永山地区	49	35.0%	140
神楽地区	36	46.2%	78
神楽岡地区-1	25	36.2%	69
神楽岡地区-2	21	41.2%	51
緑が丘地区-1	51	43.2%	118
緑が丘地区-2	3	37.5%	8
西神楽地区	8	53.3%	15
思和地区	47	46.5%	101
神居北地区	22	28.9%	76
神居南地区	32	40.5%	79
台場地区	5	55.6%	9
日ノ出地区	0		0
白衛隊地区	3	30.0%	10
市街化区域外	30	34.1%	88
無回答	5		
合計	1,186	39.5%	3,000



③ アンケート結果

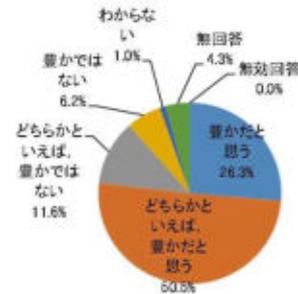
質問1-1 あなたは、お住まいのまわりのみどりについて、どのような感想をお持ちですか。

(1) あなたは、住まいのまわりが、みどり豊かだと思いますか。

単数回答

◆「住まいのまわりのみどりが豊か」と感じている市民が8割弱

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
豊かだと思う	312	26.3%	911	76.8%
どちらかといえば、豊かだと思う	599	50.5%		
どちらかといえば、豊かではない	138	11.6%	212	17.9%
豊かではない	74	6.2%		
わからない	12	1.0%		
無回答	51	4.3%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



	(人)	(割合)
身近な地域においてみどりが豊かであると感じている市民の割合	911	76.8%

(2) 上の(1)の項目で、「1 豊かだと思う」「2 どちらかといえば、豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答 (1)が1or2

◆「公園や林などが近くにあるから」「道路に街路樹や花があるから」が半数以上

	(回答数)	(割合)
山や川が、近くにあるから	442	48.5%
農地や草場が、近くにあるから	210	23.1%
公園や林などが、近くにあるから	512	56.2%
道路に街路樹や花があるから	462	50.7%
庭や店先などで花やみどりを目にするから	223	24.5%
四季の変化や、草木の多様性が感じられるから	290	31.8%
その他	11	1.2%
無回答	4	0.4%
回答者数	911	236.4%

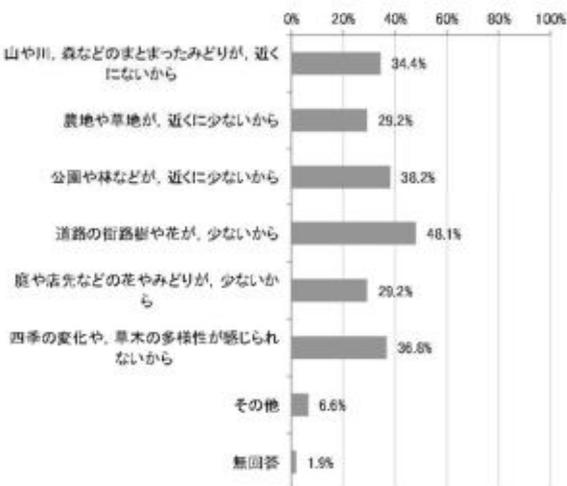


(3) 上の(1)の項目で、「3 どちらかといえば、豊かではない」「4 豊かではない」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答 (1)が3or4

◆「道路の街路樹や花が少ないから」が半数弱

	(回答数)	(割合)
山や川、森などのまとまったみどりが、近くにないから	73	34.4%
農地や草場が、近くに少ないから	62	29.2%
公園や林などが、近くに少ないから	81	38.2%
道路の街路樹や花が、少ないから	102	48.1%
庭や店先などの花やみどりが、少ないから	62	29.2%
四季の変化や、草木の多様性が感じられないから	78	36.8%
その他	14	6.6%
無回答	4	1.9%
回答者数	212	224.9%



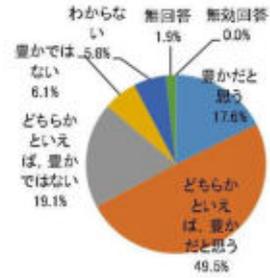
質問1-2 あなたは、都心(買物公園や旭川駅周辺)のみどりについて、どのような感想をお持ちですか

(1) あなたは、都心(買物公園や旭川駅周辺)が、みどり豊かだと思いますか。

単数回答

◆「都心のみどりが豊か」と感じている市民が7割弱

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
豊かだと思う	209	17.6%	796	67.1%
どちらかといえば、豊かだと思う	587	49.5%		
どちらかといえば、豊かではない	227	19.1%	299	25.2%
豊かではない	72	6.1%		
わからない	89	5.8%		
無回答	22	1.9%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



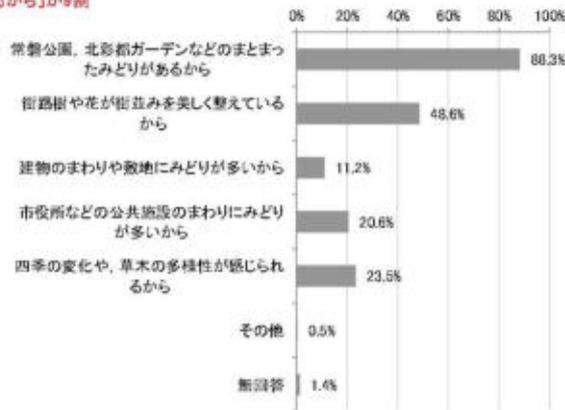
	(人)	(割合)
都心部のみどり豊かであると感じている市民の割合	796	67.1%

(2) 上の(1)の項目で、「1 豊かだと思う」「2 どちらかといえば、豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答 (1)が1or2

◆「常盤公園、北彩都ガーデンなどのまとまったみどりがあるから」が9割

	(回答数)	(割合)
常盤公園、北彩都ガーデンなどのまとまったみどりがあるから	703	88.3%
街路樹や花が街並みを美しく整えているから	387	48.6%
建物のまわりや敷地のみどりが多いから	89	11.2%
市役所などの公共施設のみどりにみどりが多いから	164	20.6%
四季の変化や、草木の多様性が感じられるから	187	23.5%
その他	4	0.5%
無回答	11	1.4%
回答者数	796	194.1%

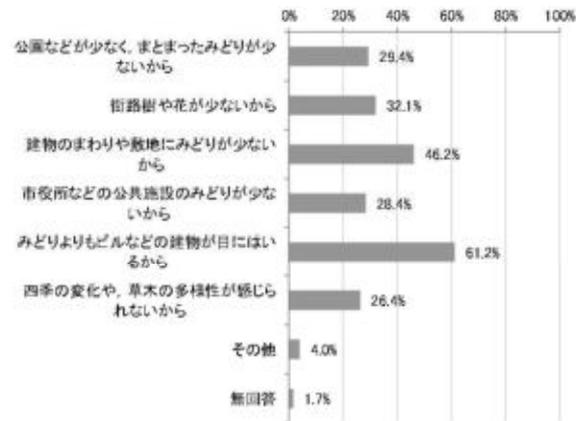


(3) 上の(1)の項目で、「3 どちらかといえば、豊かではない」「4 豊かではない」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答 (1)が3or4

◆「みどりよりもビルなどの建物が目にはいるから」が6割

	(回答数)	(割合)
公園などが少なく、まとまったみどりが少ないから	88	29.4%
街路樹や花が少ないから	96	32.1%
建物のまわりや敷地のみどりが少ないから	138	46.2%
市役所などの公共施設のみどりが少ないから	85	28.4%
みどりよりもビルなどの建物が目にはいるから	183	61.2%
四季の変化や、草木の多様性が感じられないから	79	26.4%
その他	12	4.0%
無回答	5	1.7%
回答者数	299	229.4%



質問1-3 あなたは、お住まいのまわりの道路やよく通る道路のみどりについて、どのような感想をお持ちですか。

(1) あなたは、お住まいのまわりの道路が、みどり豊かだと思いますか。

単数回答

◆「道路のみどり豊か」と感じている市民が6割強

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
豊かだと思う	218	18.4%	775	65.3%
どちらかといえば、豊かだと思う	557	47.0%		
どちらかといえば、豊かではない	254	21.4%	361	30.4%
豊かではない	107	9.0%		
わからない	29	2.4%		
無回答	21	1.8%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		

	(人)	(割合)
街路樹や道路景観の満足度	775	65.3%

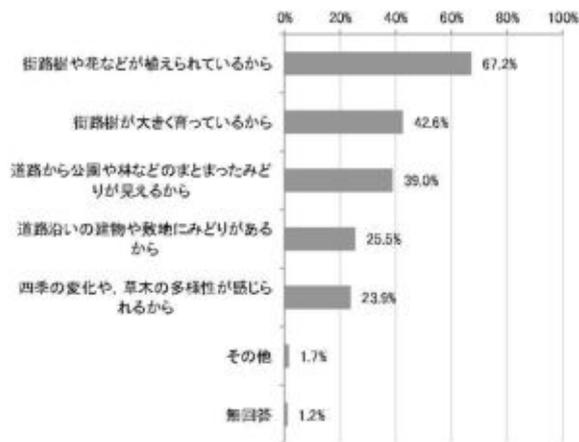


(2) 上の(1)の項目で、「1 豊かだと思う」「2 どちらかといえば、豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答 (1)が1or2

◆「街路樹や花などが植えられているから」が7割強

	(回答数)	(割合)
街路樹や花などが植えられているから	521	67.2%
街路樹が大きく育っているから	330	42.6%
道路から公園や林などのまとまったみどりが見えるから	302	39.0%
道路沿いの建物や敷地にみどりがあるから	198	25.5%
四季の変化や、草木の多様性が感じられるから	185	23.9%
その他	13	1.7%
無回答	9	1.2%
回答者数	775	201.0%

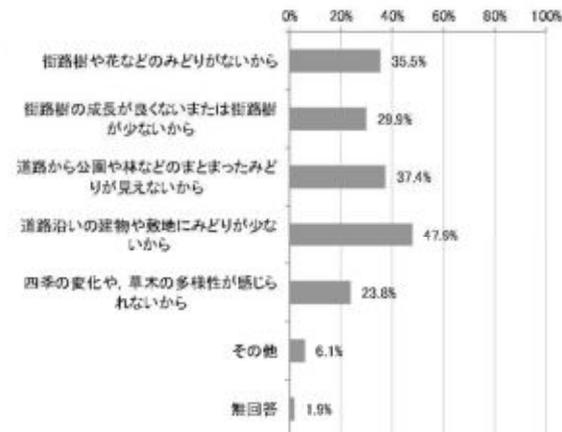


(3) 上の(1)の項目で、「3 どちらかといえば、豊かではない」「4 豊かではない」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答 (1)が3or4

◆「道路沿いの建物や敷地にみどりが少ないから」が6割強

	(回答数)	(割合)
街路樹や花などのみどりが少ないから	128	35.5%
街路樹の成長が良くないまたは街路樹が少ないから	106	29.9%
道路から公園や林などのまとまったみどりが見えないから	135	37.4%
道路沿いの建物や敷地にみどりが少ないから	173	47.9%
四季の変化や、草木の多様性が感じられないから	86	23.8%
その他	22	6.1%
無回答	7	1.9%
回答者数	361	182.5%



質問2-1 あなたは、身近な公園にどれくらい行きますか。

単数回答

◆「月1回以上」「年に数回」「行かない」がそれぞれ3割程度

	(人)	(割合)
毎日のように行く	52	4.4%
週に数回行く	138	11.6%
月に数回行く	218	18.4%
年に数回行く	352	29.7%
行かない	415	35.0%
無回答	11	0.9%
無効回答	0	0.0%
合計	1,186	100.0%



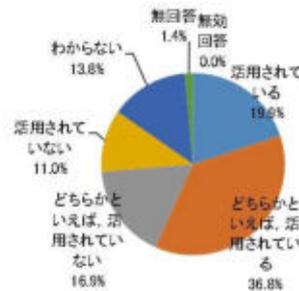
質問2-2 あなたは、身近な公園に対してどのような感想やお考えをお持ちですか。

(1) 身近な公園は、普段からみなさんの交流の場、遊び場などとして活用されていると思いますか。

単数回答

◆「活用されている」が6割弱

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
活用されている	236	19.9%	673	56.7%
どちらかといえば、活用されている	437	36.8%		
どちらかといえば、活用されていない	201	16.9%	332	28.0%
活用されていない	131	11.0%		
わからない	164	13.8%		
無回答	17	1.4%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



	(人)	(割合)
公園の活用率	673	56.7%

(2) 上の(1)の項目で、「1 活用されている」「2 どちらかといえば、活用されている」を選んだ方にお聞きします。身近な公園は、普段どのように活用されていますか。

複数回答 (1)が1or2

◆「子どもたちの遊び」「散歩やジョギング」が半数以上

	(回答数)	(割合)
お祭りや交流会	282	41.9%
花壇づくり	73	10.8%
子どもたちの遊び	441	65.5%
散歩やジョギング	344	51.1%
犬の散歩	264	39.2%
学校や幼稚園、保育園などの集まり	115	17.1%
環境学習や自然観察会	34	5.1%
老人会などのグループの集まり	48	7.1%
野球やサッカーなどのスポーツ	102	15.2%
その他	26	3.9%
無回答	7	1.0%
回答者数	673	257.9%



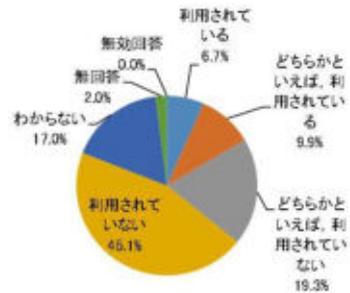
(3) 身近な公園は、冬も利用されていると思いますか。

単数回答

◆「利用されていない」が6割強

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
利用されている	79	6.7%	196	16.5%
どちらかといえば、利用されている	117	9.9%		
どちらかといえば、利用されていない	229	19.3%	764	64.4%
利用されていない	535	45.1%		
わからない	202	17.0%		
無回答	24	2.0%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		

	(人)	(割合)
公園の冬季間の活用率	196	16.5%

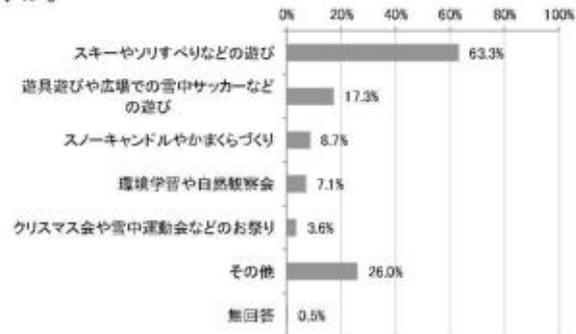


(4) 上の(3)の項目で、「1 利用されている」「2 どちらかといえば、利用されている」を選んだ方にお聞きします。身近な公園は、冬はどのように利用されていますか。

複数回答 (3)が1or2

◆「スキーやソリすべりなどの遊び」が6割強

	(回答数)	(割合)
スキーやソリすべりなどの遊び	124	63.3%
遊具遊びや広場での雪中サッカーなどの遊び	34	17.3%
スノーキャンドルやかまくらづくり	17	8.7%
環境学習や自然観察会	14	7.1%
クリスマス会や雪中運動会などのお祭り	7	3.6%
その他	51	26.0%
無回答	1	0.5%
回答者数	196	128.5%



質問2-3 あなたは、公園の安全・安心について、どのような感想やお考えをお持ちですか。

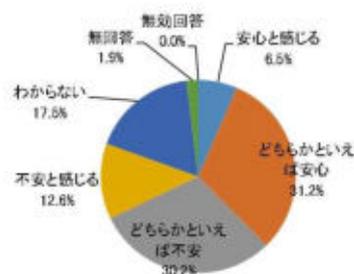
(1) あなたは公園が防犯などにおいて、安全で、安心できる場所だと感じていますか。

単数回答

◆「不安」と感じている市民が4割強

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
安心と感じる	77	6.5%	508	42.8%
どちらかといえば安心	370	31.2%		
どちらかといえば不安	358	30.2%		
不安と感じる	150	12.6%		
わからない	208	17.5%		
無回答	23	1.9%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		

	(人)	(割合)
公園への安心度	447	37.7%



(2) 上の(1)の項目で、「3 どちらかといえば不安」「4 不安を感じる」を選んだ方にお聞きします。

複数回答 (3)が3or4

◆「夜間が暗く、ひと気がない」が8割弱

	(回答数)	(割合)
茂みなど見通しが悪く不安	131	25.8%
公園トイレ等の施設に死角があり不安	205	40.4%
不良がたまったり、変質者がいる	97	19.1%
夜間が暗く、ひと気がない	388	76.4%
犬の糞や公園トイレなど衛生面で不安	153	30.1%
その他	41	8.1%
無回答	11	2.2%
回答者数	508	202.0%



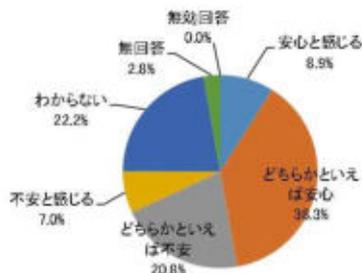
(3) あなたは、公園の施設について、安全で安心できると感じていますか。

単数回答

◆「安心」と感じている市民が5割弱

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
安心と感じる	106	8.9%	560	47.2%
どちらかといえば安心	454	38.3%		
どちらかといえば不安	247	20.8%	330	27.8%
不安と感じる	83	7.0%		
わからない	263	22.2%		
無回答	33	2.8%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		

	(人)	(割合)
公園への安心度	560	47.2%



(4) 上の(3)の項目で、「3 どちらかといえば不安」「4 不安を感じる」を選んだ方にお聞きします。

複数回答 (3)が3or4

◆「休んだりするベンチなどが少ない」が6割弱

	(回答数)	(割合)
段差や傾斜があって不安	23	7.0%
手すりなどが無い	48	14.5%
遊具等の施設が老朽化して不安	164	49.7%
休んだりするベンチなどが少ない	193	58.5%
公園の木が老朽化して不安	74	22.4%
その他	52	15.8%
無回答	1	0.3%
回答者数	330	168.2%



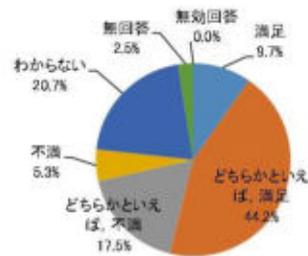
質問2-4 あなたは、身近な公園に対して総合的に満足していますか。

(1) あなたは、身近な公園に対して、総合的に満足していますか。

単数回答

◆「満足」と感じている市民が5割強

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
満足	115	9.7%	639	53.9%
どちらかといえば、満足	524	44.2%		
どちらかといえば、不満	206	17.5%	271	22.8%
不満	63	5.3%		
わからない	246	20.7%		
無回答	30	2.5%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



	(人)	(割合)
身近な公園の総合的な満足度	639	53.9%

(2) 上の(1)の項目で「1 満足」「2 どちらかといえば、満足」を選んだ方にお聞きします。

どんなところが満足ですか。

複数回答 (3)が1or2

◆「家から近くにあるところ」が7割強

	(回答数)	(割合)
みどりとふれあうことができるところ	282	44.1%
静かで落ち着けるところ	287	44.9%
家から近くにあるところ	428	67.0%
草花など季節の楽しみがあるところ	181	28.3%
子供たちが遊べる遊具などの施設があるところ	296	46.3%
運動がしやすいところ	170	26.6%
見通しが良く、明るく安心感があるところ	243	38.0%
家族や仲間など、みんなで楽しめるところ	91	14.2%
手入れがいき麗れているところ	200	31.3%
その他	11	1.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	639	342.6%



(3) 上の(1)の項目で「3 どちらかといえば、不満」「4 不満」を選んだ方にお聞きします。

不満の理由は何なことでですか

2つまで回答 (3)が3or4

◆「施設が古い、樹木や花などの手入れが悪い」が3割強

	(回答数)	(割合)
家から身近な公園までが遠い	53	19.6%
施設が古い、樹木や花などの手入れが悪い	95	35.1%
見通しが悪い、暗がりが多い	65	24.0%
いたずらが多い、たまり場になっている	8	3.0%
特定のグループが日常的に使っている	5	1.8%
犬の散歩をしている人のマナーが悪い	27	10.0%
冬に雪捨て場になっている	55	20.3%
その他	39	14.4%
無回答	2	0.7%
無効回答	44	16.2%
回答者数	271	145.0%

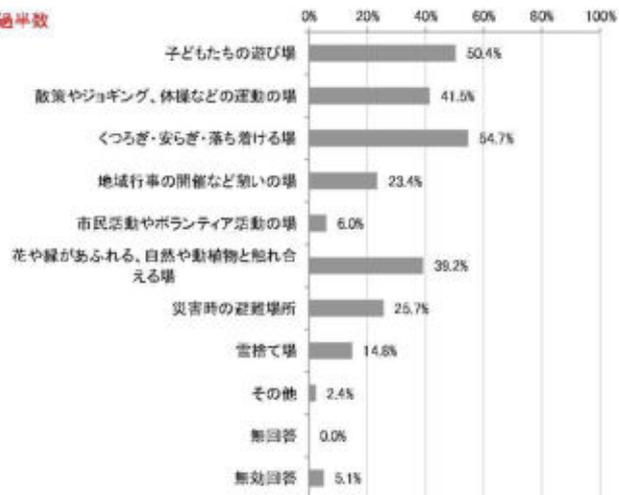


(4) あなたは、身近な公園が、どのような場所であれば、「使いたい」、「遊ばせたい」と思いますか。

3つまで回答

◆「子どもたちの遊び場」「くつろぎ・安らぎ・落ち着ける場」が過半数

	(回答数)	(割合)
子どもたちの遊び場	598	50.4%
散歩やジョギング、体操などの運動の場	492	41.5%
くつろぎ・安らぎ・落ち着ける場	649	54.7%
地域行事の開催など憩いの場	278	23.4%
市民活動やボランティア活動の場	71	6.0%
花や緑があふれる、自然や動植物と触れ合える場	485	39.2%
災害時の避難場所	305	25.7%
雪捨て場	176	14.8%
その他	29	2.4%
無回答	0	0.0%
無効回答	81	5.1%
回答者数	1,186	263.4%



(5) 本市には647箇所の公園が整備されていますが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化、少子高齢化の進行等、そうした社会情勢の変化に合わせ、公園を見直していくが必要になってきています。また本市の財政状況から、すべての公園をこれまでと同じように維持していくことが難しくなっています。

こうした状況を考えたとき、利用頻度の低い公園や市民の利用ニーズに合っていない公園の今後の整備について、どのように取り組んでいくことがよいと思いますか。

1つまで回答

◆「統廃合し、統合した公園を充実すべき」「統廃合し、廃止跡地を多用途で有効活用すべき」が過半数

	(回答数)	(割合)
維持すべき(公園数、施設等の数も現状のまま維持する)	222	18.7%
統廃合し、統合した公園を充実すべき	326	27.5%
統廃合し、廃止跡地を多用途で有効活用すべき	352	29.7%
地域の主要公園の維持・充実を優先すべき	196	16.5%
その他	26	2.2%
無回答	50	4.2%
無効回答	44	3.7%
回答者数	1,186	102.5%



質問3-1 旭川の河川について、どのような感想をお持ちですか。

(1) 旭川の河川は、どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「河川が暮らしに身近で旭川らしい」「北彩都ガーデンなど、花に彩られた風景がある」が過半数

	(回答数)	(割合)
河川が暮らしに身近で旭川らしい	613	51.7%
河川からの大雪山や田圃の広がりへの眺望がすばらしい	542	45.7%
北彩都ガーデンなど、花に彩られた風景がある	617	52.0%
水遊びなど、水に親しめる空間が魅力的だ	185	15.6%
様々な河川のみどりにふれあう機会が多い	158	13.3%
ピクニックや散歩などが楽しめる	224	18.9%
水辺をはじめ、様々な動植物を観察したり、楽しんだりできる	151	12.7%
野球やパークゴルフなどのスポーツができる	332	28.0%
その他	28	2.4%
無回答	61	5.1%
回答者数	1,186	245.4%

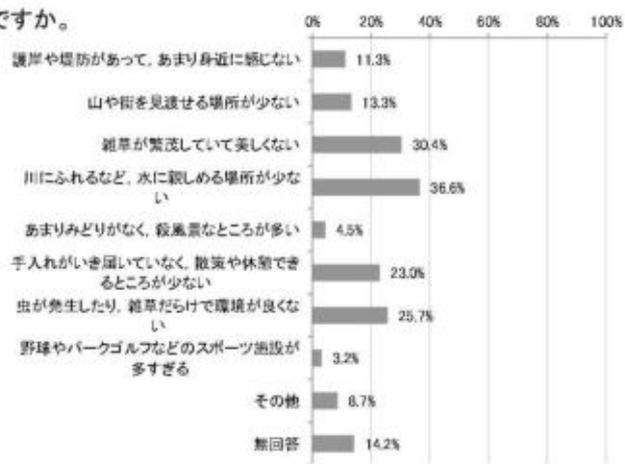


(2) 旭川の河川について、気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「川にふれるなど水に親しめる場所が少ない」が4割弱

	(回答数)	(割合)
護岸や堤防があって、あまり身近に感じない	134	11.3%
山や街を見渡せる場所が少ない	158	13.3%
雑草が繁茂していて美しい	361	30.4%
川にふれるなど、水に親しめる場所が少ない	434	36.6%
あまりみどりがなく、殺風景なところが多い	53	4.5%
手入れがいき届いていない、散歩や休憩できるところが少ない	273	23.0%
虫が発生したり、雑草だらけで環境が良くない	305	25.7%
野球やパークゴルフなどのスポーツ施設が多すぎる	38	3.2%
その他	103	8.7%
無回答	169	14.2%
回答者数	1,186	171.0%



(3) 旭川の河川について今後、どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「草刈りなどの維持管理をしっかりとる」「散歩や休憩ができるように整備する」が4割強

	(回答数)	(割合)
河川のみどりや水辺をもっと身近にする	217	18.3%
眺望が良い場所をつくる	238	20.1%
草刈りなどの維持管理をしっかりとる	537	45.3%
水に親しめる場所や水遊びができる施設を増やす	281	23.7%
植栽などにより、もっとみどりを豊かにする	78	6.6%
散歩や休憩ができるように整備する	523	44.1%
あまり手を入れず、自然のままにする	67	5.6%
野球やパークゴルフなどのスポーツ施設を充実させる	45	3.8%
その他	59	5.0%
無回答	64	5.4%
無効回答	78	6.6%
回答者数	1,186	184.4%



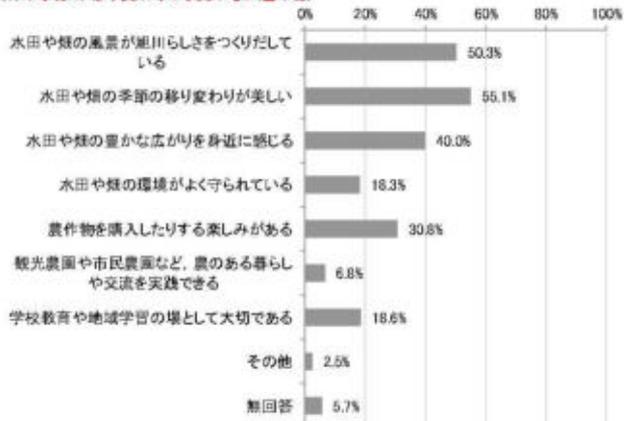
質問3-2 旭川の田園について、どのような感想をお持ちですか。

(1) 旭川の田園は、どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「水田や畑の風景が旭川らしさをつくりだしている」「水田や畑の季節の移り変わりが美しい」が過半数

	(回答数)	(割合)
水田や畑の風景が旭川らしさをつくりだしている	597	50.3%
水田や畑の季節の移り変わりが美しい	653	55.1%
水田や畑の豊かな広がりを感じ	474	40.0%
水田や畑の環境がよく守られている	217	18.3%
農作物を購入したりする楽しみがある	365	30.8%
観光農園や市民農園など、農のある暮らしや交流を実践できる	81	6.8%
学校教育や地域学習の場として大切である	221	18.6%
その他	30	2.5%
無回答	88	5.7%
回答者数	1,186	228.2%

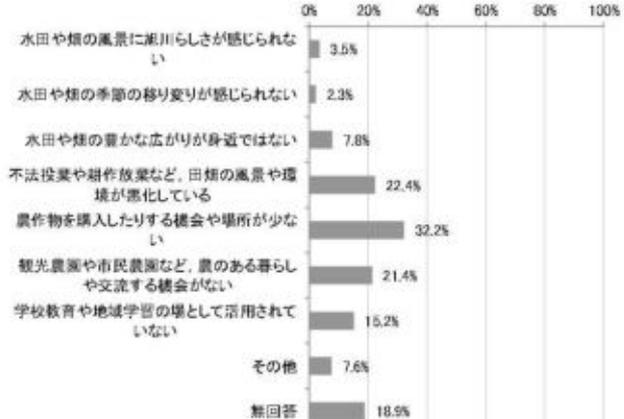


(2) 旭川の田園について、困っていることや気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「農作物を購入したりする機会や場所が少ない」が3割強

	(回答数)	(割合)
水田や畑の風景に旭川らしさを感じられない	42	3.5%
水田や畑の季節の移り変わりが感じられない	27	2.3%
水田や畑の豊かな広がりを感じていない	93	7.8%
不法投棄や耕作放棄など、田畑の風景や環境が悪化している	266	22.4%
農作物を購入したりする機会や場所が少ない	382	32.2%
観光農園や市民農園など、農のある暮らしや交流する機会がない	254	21.4%
学校教育や地域学習の場として活用されていない	180	15.2%
その他	90	7.6%
無回答	224	18.9%
回答者数	1,186	131.4%

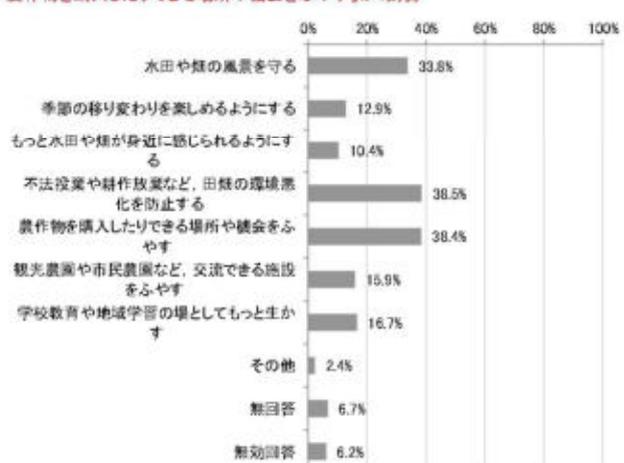


(3) 旭川の田園について今後、どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「不法投棄や耕作放棄など、田畑の環境悪化を防止する」「農作物を購入したりできる場所や機会をふやす」が4割強

	(回答数)	(割合)
水田や畑の風景を守る	401	33.8%
季節の移り変わりを楽しめるようにする	153	12.9%
もっと水田や畑が身近に感じられるようにする	123	10.4%
不法投棄や耕作放棄など、田畑の環境悪化を防止する	457	38.5%
農作物を購入したりできる場所や機会をふやす	456	38.4%
観光農園や市民農園など、交流できる施設をふやす	189	15.9%
学校教育や地域学習の場としてもっと生かす	198	16.7%
その他	28	2.4%
無回答	80	6.7%
無効回答	74	6.2%
回答者数	1,186	384.1%



質問3-3 川の森林について、どのような感想をお持ちですか。

(1) 旭川の森林は、どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「森林の季節の移り変わりが美しい」が過半数

	(回答数)	(割合)
豊かな森林が旭川らしさをつくりだしている	445	37.5%
森林の季節の移り変わりが美しい	645	54.4%
豊かな森林が身近にある	411	34.7%
森林の風景や環境がよく守られている	160	13.5%
森林を散策したり、親しめる	283	22.2%
森林の手入れをしたり、交流できる	35	3.0%
学校教育や地域学習の場になっている	65	5.5%
その他	42	3.5%
無回答	122	10.3%
回答者数	1,186	104.5%

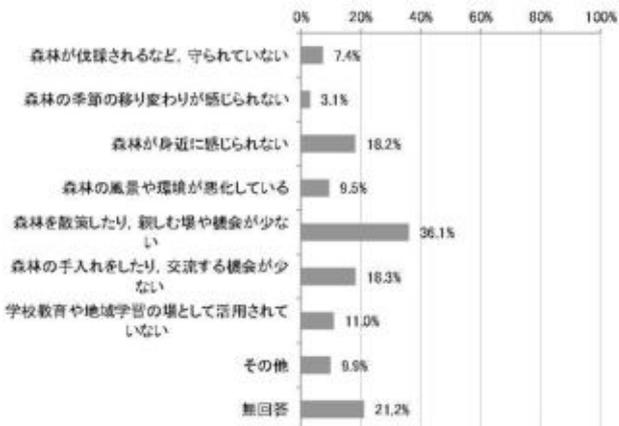


(2) 旭川の森林について、困っていることや気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「森林を散策したり、親しむ場や機会が少ない」が4割弱

	(回答数)	(割合)
森林が伐採されるなど、守られていない	88	7.4%
森林の季節の移り変わりが感じられない	37	3.1%
森林が身近に感じられない	216	18.2%
森林の風景や環境が悪化している	113	9.5%
森林を散策したり、親しむ場や機会が少ない	428	36.1%
森林の手入れをしたり、交流する機会が少ない	217	18.3%
学校教育や地域学習の場として活用されていない	131	11.0%
その他	118	9.9%
無回答	251	21.2%
回答者数	1,186	289.5%



(3) 旭川の森林について今後、どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「豊かな森林を保全する」が5割弱

	(回答数)	(割合)
豊かな森林を保全する	578	48.7%
森林の季節の移り変わりが感じられるようにする	117	9.9%
豊かな森林を身近に感じられるようにする	200	16.9%
森林の風景や環境の悪化を防止する	404	34.1%
森林を散策したり、親しむ場や機会をふやす	317	26.7%
森林の手入れをしたり、交流する機会をふやす	174	14.7%
学校教育や地域学習の場として、もっと活用する	144	12.1%
その他	46	3.9%
無回答	81	6.8%
無効回答	62	5.2%
回答者数	1,186	358.0%



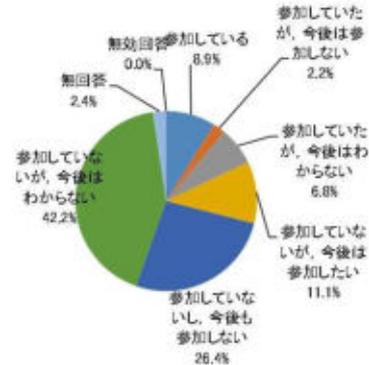
質問4-1 みどりとふれあいや関わりについてお聞きします。

(1) 公園・道路の花壇づくりやみどりの維持管理に参加していますか。

単数回答

◆「参加していない」が8割弱 「参加している」「今後参加したい」が2割

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
参加している	105	8.9%	946	78.8%
参加していたが、今後は参加しない	26	2.2%		
参加していたが、今後はわからない	81	6.8%		
参加していないが、今後は参加したい	132	11.1%		
参加していないし、今後も参加しない	313	26.4%		
参加していないが、今後はわからない	501	42.2%		
無回答	28	2.4%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



	(人)	(割合)
みどりの維持管理への参加	212	17.9%
今後について「参加しない」、または「わからない」	921	77.7%

(2) 上の(1)で、今後について「参加しない」または、「わからない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？

2つまで回答

◆「肉体的な負担が大きい」が9割

	(回答数)	(割合)
参加する時間がない	222	24.1%
興味がない、気が進まない	95	10.3%
参加する仲間がいない	121	13.1%
肉体的な負担が大きい	278	30.2%
精神的な負担が大きい	53	5.8%
思うような結果・効果が期待できない	22	2.4%
実施していることを知らなかった	148	16.1%
その他	50	5.4%
無回答	24	2.6%
無効回答	5	0.5%
回答者数	921	110.5%

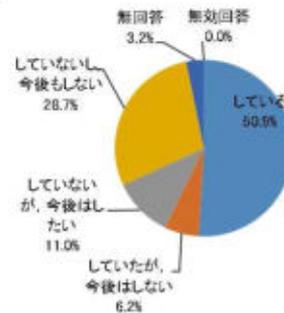


(3) 家庭菜園や庭づくり(貸農園やベランダを含む)をしていますか。

単数回答

◆「家庭菜園や庭造りをした」が6割弱 「今後しない」が3割強

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
している	604	50.9%	878	57.2%
していたが、今後はしない	74	6.2%		
していないが、今後はしたい	130	11.0%		
していないし、今後もしない	340	28.7%		
無回答	38	3.2%		
無効回答	0	0.0%		
合計	1,186	100.0%		



	(人)	(割合)
家庭菜園や庭づくりをした	678	57.2%
今後について「しない」	414	34.9%

(4) 上の(3)で、今後について「しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？

2つまで回答

◆「時間がない」「肉体的な負担が大きい」「場所がない」が9割程度

	(回答数)	(割合)
時間がない	135	32.9%
興味がない、気が進まない	108	26.1%
仲間がいない	17	4.1%
肉体的な負担が大きい	128	30.9%
精神的な負担が大きい	26	6.3%
やり方がわからない	40	9.7%
場所がない	141	34.1%
その他	22	5.3%
無回答	9	2.2%
無効回答	2	0.5%
回答者数	414	151.9%



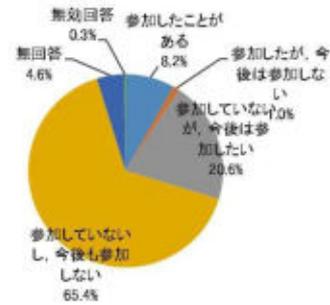
(5) 市内で行われている花やみどり、環境についての講習会やセミナーなどに参加したことがありますか。

単数回答

◆「参加した」が1割弱 「今後参加したい」が2割

	(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
参加したことがある	97	8.2%	109	9.2%
参加したが、今後は参加しない	12	1.0%		
参加していないが、今後は参加したい	244	20.6%	1,020	86.0%
参加していないし、今後も参加しない	776	65.4%		
無回答	54	4.6%		
無効回答	3	0.3%		
合計	1,186	100.0%		

	(人)	(割合)
講習会やセミナーなどへ参加	109	9.2%
今後について「参加しない」	788	66.4%



(6) 上の(5)で、今後について「参加しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

2つまで回答

◆「時間がない」「興味がない、気が進まない」「肉体的な負担が大きい」が2割強

	(回答数)	(割合)
時間がない	188	23.9%
興味がない、気が進まない	175	22.2%
仲間がいない	72	9.1%
肉体的な負担が大きい	195	24.7%
思うような結果・効果が期待できない	49	6.2%
精神的な負担が大きい	23	2.9%
開催していることを知らなかった	96	12.2%
その他	33	4.2%
無回答	12	1.5%
無効回答	3	0.4%
回答者数	788	107.4%



質問2-4 あなたは、みどりとのふれあいに何を期待していますか。

2つまで回答

◆「健康づくりや気分転換」が4割程度 「風景や自然を守り育てる」「身近な環境をより良くする」が3割弱

	(回答数)	(割合)
趣味の楽しみや生きがい	234	19.7%
人との交流やふれあい(仲間や町内会など)	164	13.8%
健康づくりや気分転換	487	41.1%
風景や自然を守り育てる	349	29.4%
身近な環境をより良くする	304	25.6%
みどりについての知識の吸収	57	4.8%
農作物など食の喜び	247	20.8%
地球環境保全への寄与	126	10.6%
その他	13	1.1%
無回答	64	5.4%
無効回答	28	2.4%
回答者数	1,186	174.6%



質問5-1 旭川のみどりをより良くしていく上で、どのようなことが大事だと感じますか。

3つまで回答

◆「1.骨格となるみどりを育てる」「5.多世代で楽しめる公園づくり」「13.公園の安全安心」が1割程度

(回答数) (割合)

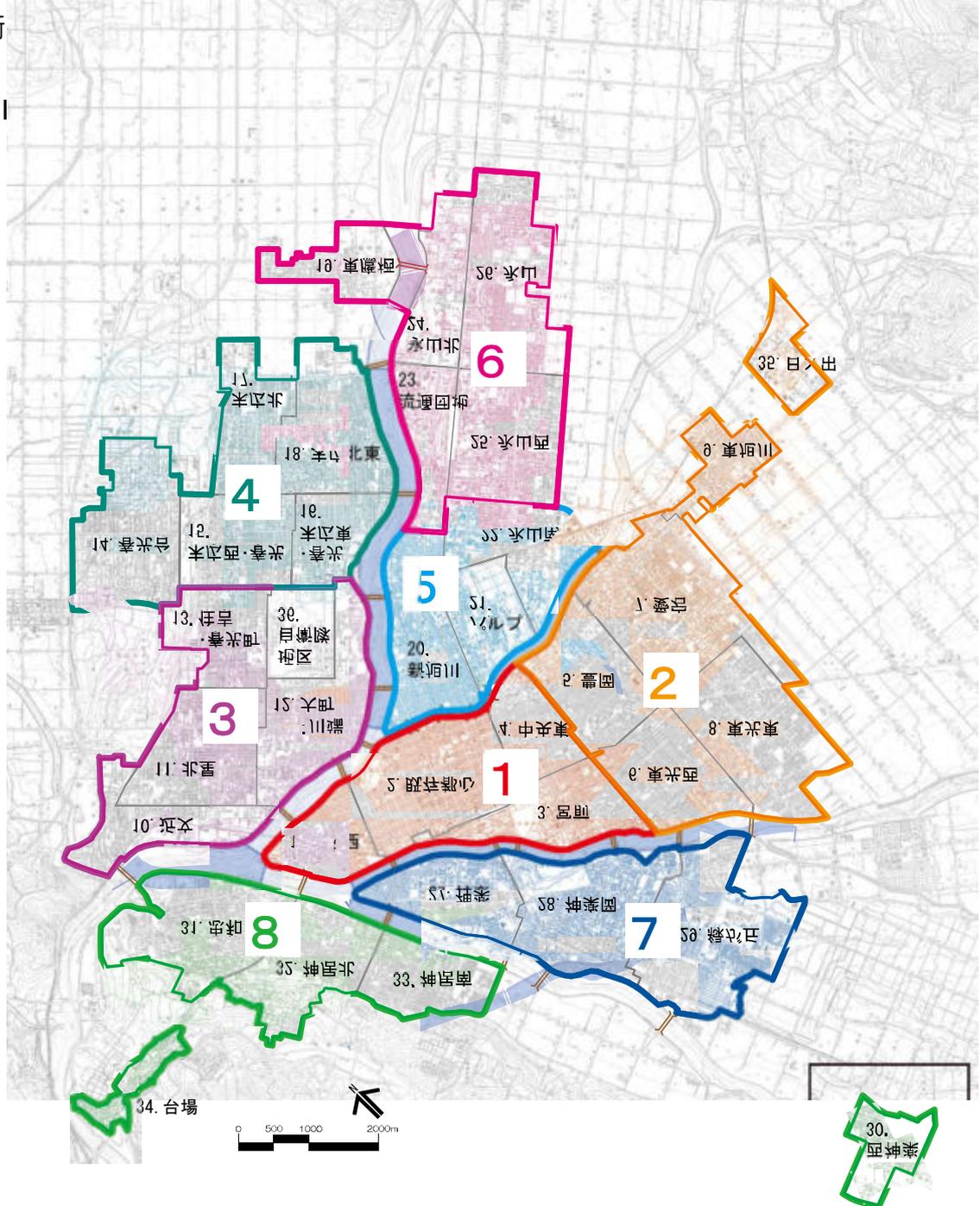
1. 河川や大きな公園、農地や森林などの、骨格となるみどりを守り育てる	421	35.5%
2. 都心(中心市街地)のみどりをふやし、うるおいづくりを進める	244	20.6%
3. 旭川らしいみどりの文化やブランドを創っていく	254	21.4%
4. 花壇づくりなど、にぎわいを生む彩りあるみどりづくりを進める	124	10.5%
5. 多世代で多様に楽しめる公園を充実させる	369	31.1%
6. 地域ぐるみでみどりと花づくりを推進する	89	7.5%
7. 地域のシンボルとなるみどりづくりを進める	62	5.2%
8. 家庭菜園や市民農園など、田園生活を楽しむみどりを増やしていく	115	9.7%
9. 花やみどりの維持管理で、市民協働を促進する	74	6.2%
10. 省エネルギー化(LED化等)や、みどりのリサイクル(落ち葉の堆肥化等)などを進める	182	15.3%
11. みどりづくりを支える制度や仕組みづくりを強化する	96	8.1%
12. 公園の防災施設を充実したり、斜面地のみどりを守るなど、防災面を強化する	260	21.9%
13. 公園の防犯や遊具の安全など、安全・安心を大事にする	406	34.2%
14. 河川を活かすなど、生態系ネットワークづくりに力を入れる	108	9.1%
15. 生物多様性に配慮し、拠点となるみどりづくりを進める	111	9.4%
16. みどりの環境教育や知識の普及啓発を強化する	92	7.8%
17. その他	25	2.1%
無回答	44	3.7%
無効回答	20	1.7%
回答者数	1,186	261.0%



④ みどりの市民アンケートの分析

回収された回答者の基礎データ（年代・居住形態・居住地域）から、質問の中で、基礎データとの関連性が高いと考えられる質問について分析しました。

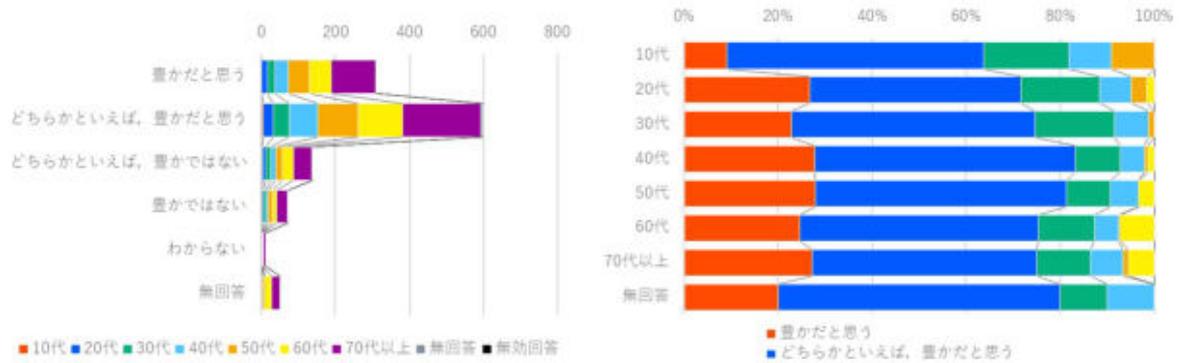
なお、居住地域については、36地区（市街化区域外を含む）に再区分されており一地区の回答数が少ないため、地域的な傾向把握を把握する方法として、市街



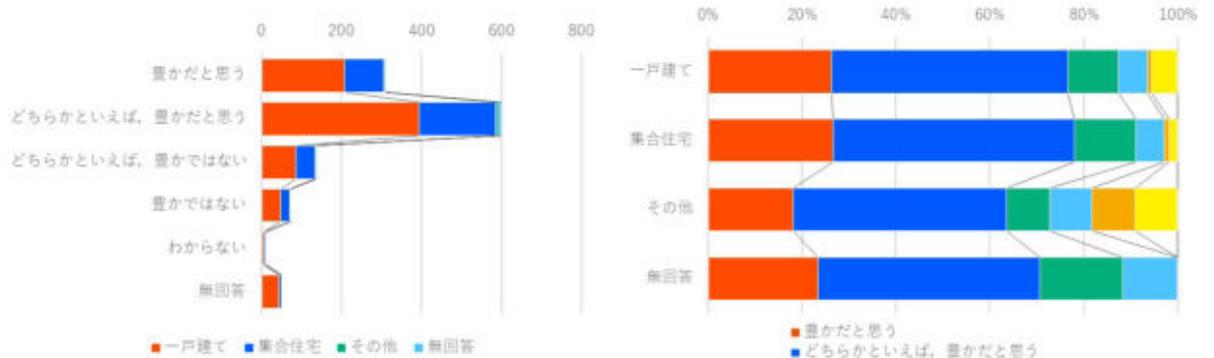
質問1-1-(1) あなたは、住まいのまわりが、みどり豊かだと思いますか。

- 全年代で評価が高いが若い世代に比較的低い評価が見られる。
- 居住形態は、豊かさの評価と関連性は低い。
- エリア別では、神楽岡・緑ヶ丘・神居などの西側や市街化区域外に居住する方の割合が高く、永山・大町・東光・豊岡方面の評価が低い傾向にある。

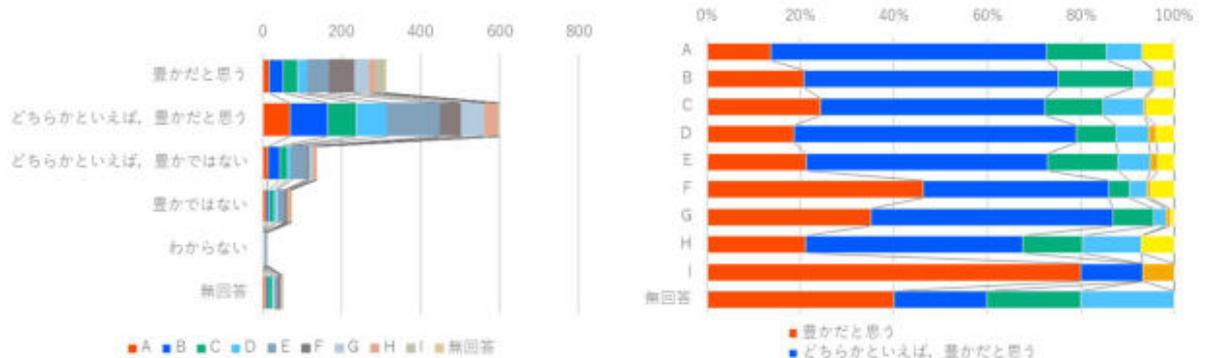
■年代別



■居住形態別



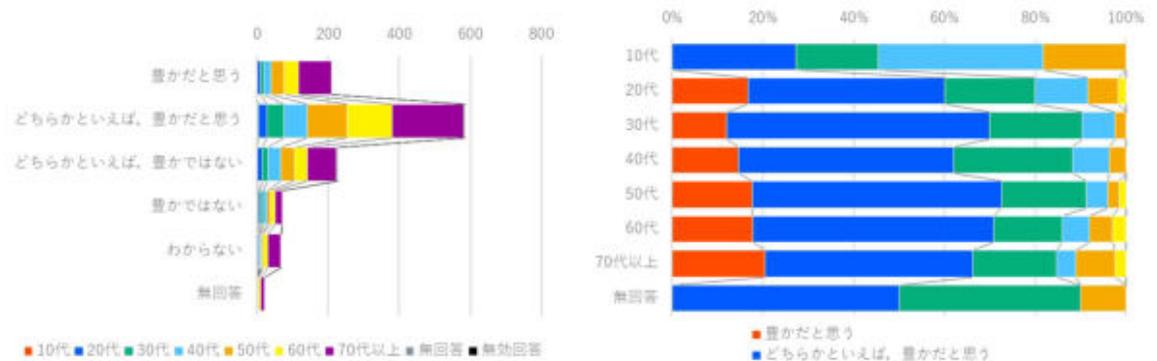
■居住地域別



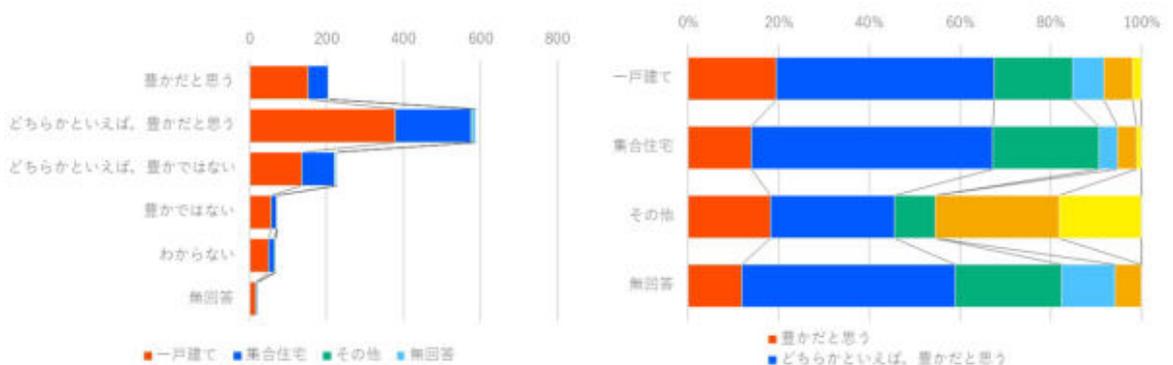
質問1-2-(1) あなたは、都心（買物公園や旭川駅周辺）が、みどり豊かだと思えますか。

- 居住形態に関係なく、一定の評価が得られているほか、普段都心を訪れる機会が少ないと考えられる10代の評価が低い。
- 総じて、都心に生んでいる方と住まいのまわりがみどり豊かと感じている人が多い、西側や市街化区域外に居住する方の評価が低い。

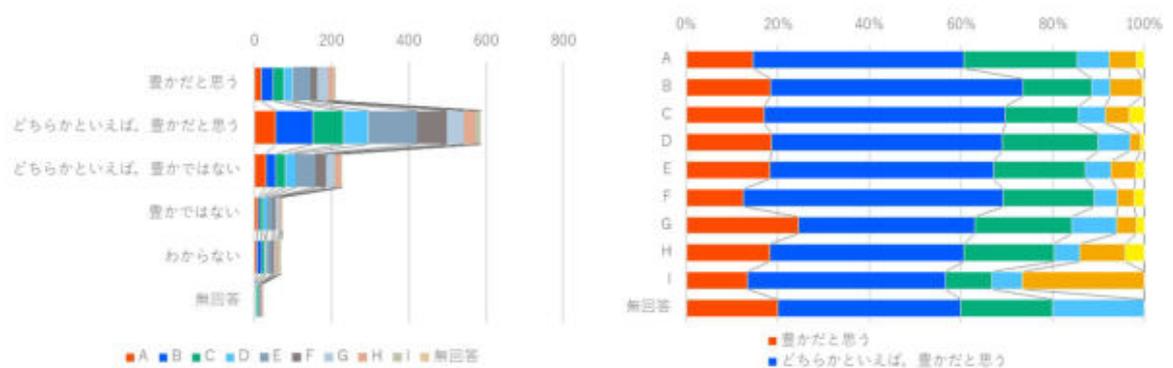
■年代別



■居住形態別



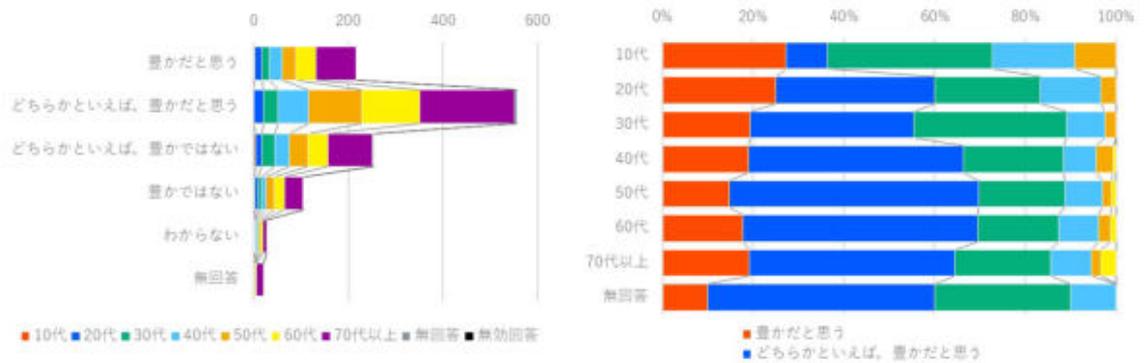
■居住地域別



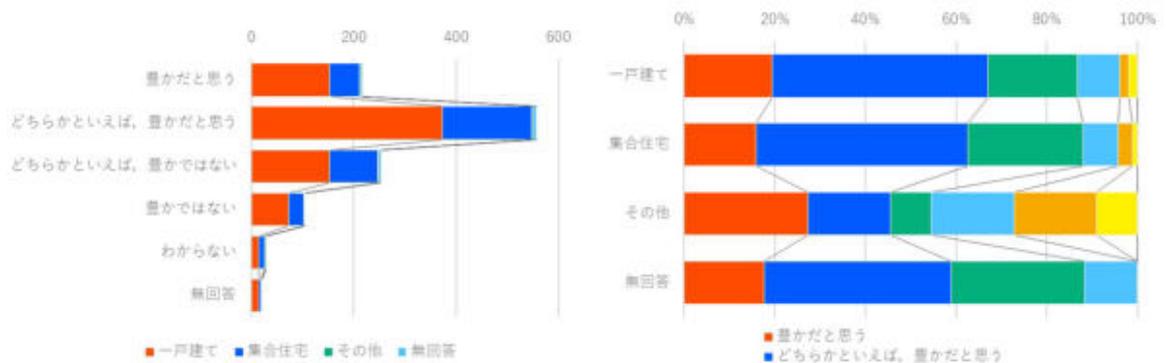
質問1-3-（1） 住まいのまわりの道路がみどり豊かだと思うか

- どちらかと言うと若い世代の評価がやや低い。
- エリア別では、すまいの周りのみどりの豊かさと同じ傾向で、神楽岡・緑ヶ丘・神居などの西側や市街化区域外に居住する方の割合が高く、永山・大町・東光・豊岡方面の評価が低い傾向にある。これは、住んでいる所のみどりを感じる要素として、道路空間のみどりが影響していると考えられる。

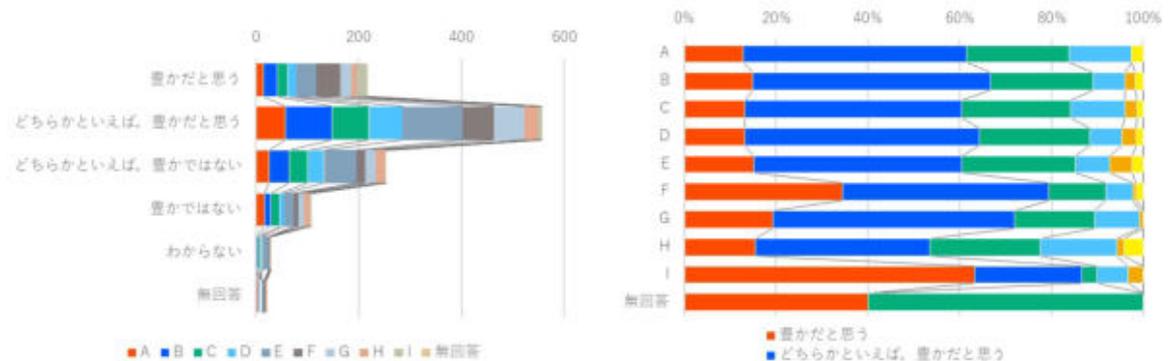
■年代別



■居住形態別



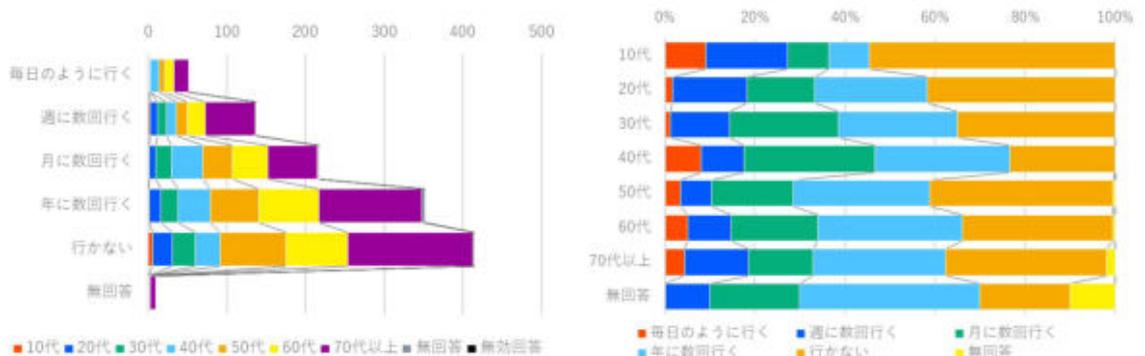
■居住地域別



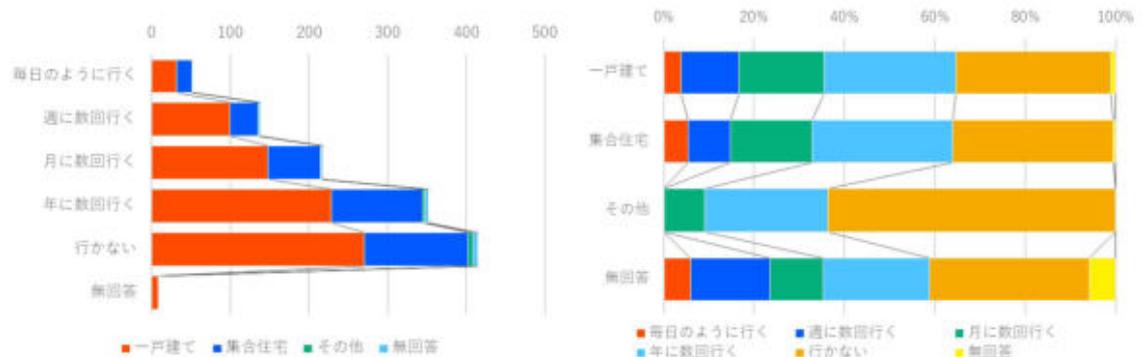
質問2-1 公園にどのくらい行くか

- 若い世代の40%ほどが月に数回以上公園を利用しており、高齢者もそれに次いで多い。これは、遊びや子育てで利用する機会が多いと考えられる世代と、健康のためや生活を楽しむ世代が利用することが多いことが影響していると考えられる。
- 居住地で見ると、やや利用が多いのは、都心・神楽岡・緑ヶ丘・神居・新旭川などで、大きい公園に近いなど、身近に公園がある地域の利用が高い傾向にある。

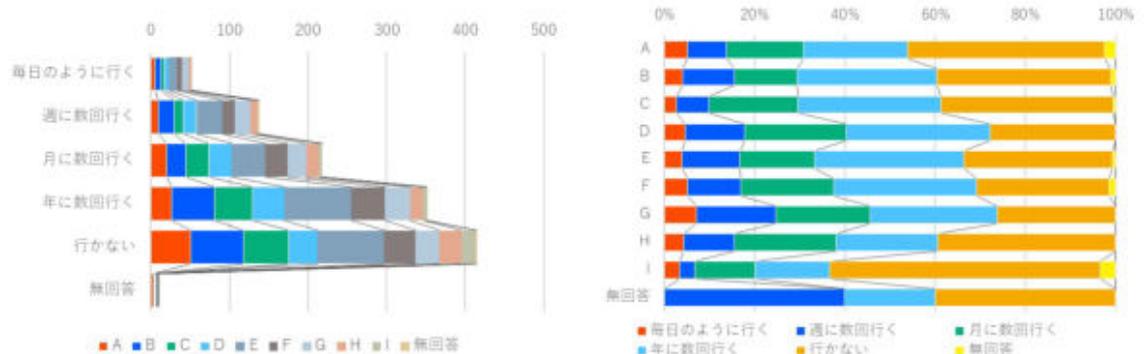
■年代別



■居住形態別



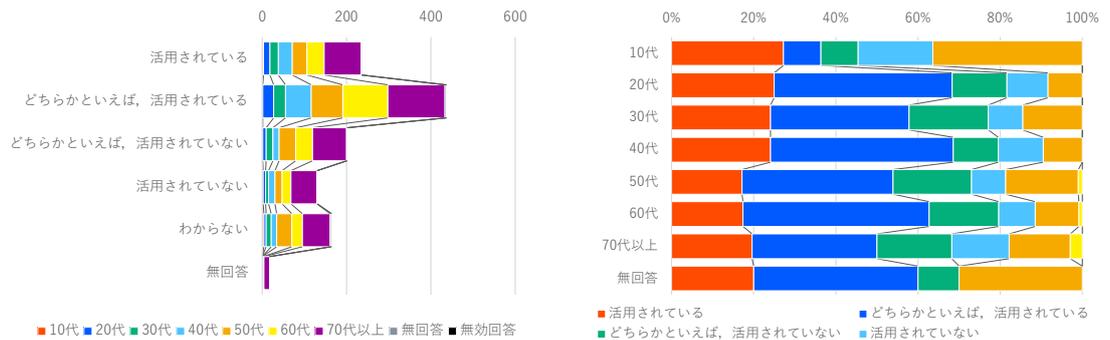
■居住地域別



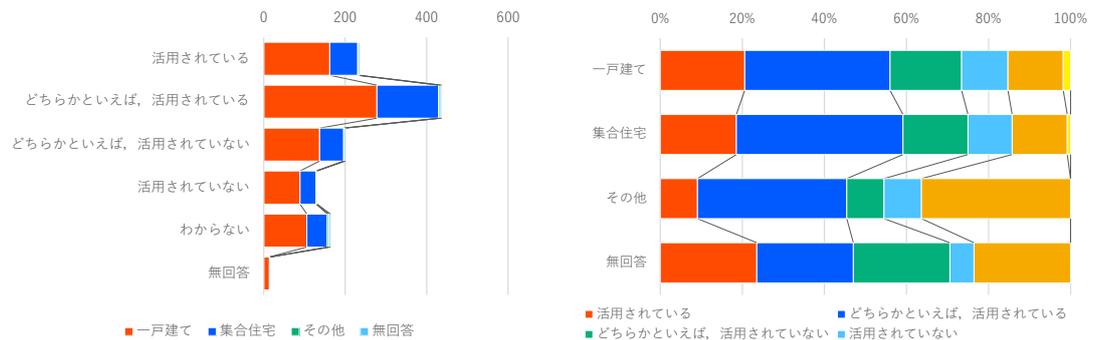
質問2-2-（1） 公園は普段から交流の場や遊び場などとして活用されているか

- ・概ね5割程度の方が利用されていると思っている。
- ・居住地別にみると、やや低い傾向にあるのが、大町・川端・北星・新旭川などの小規模公園や児童遊園が多い地域の傾向がみられる。

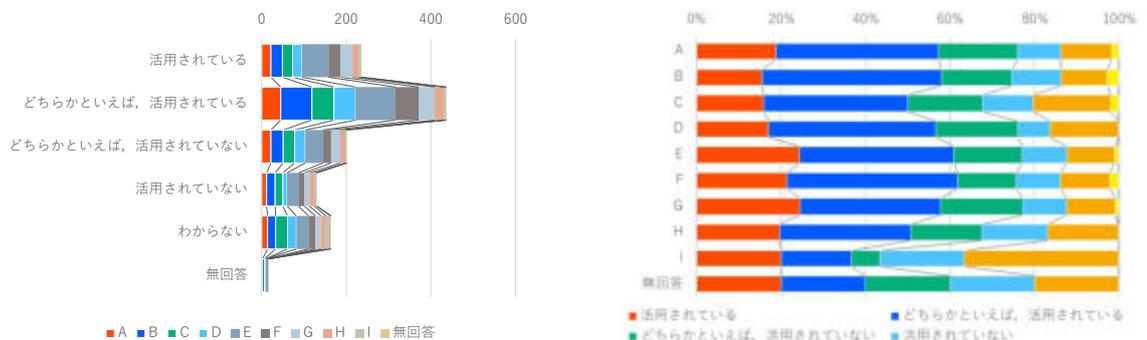
■年代別



■居住形態別



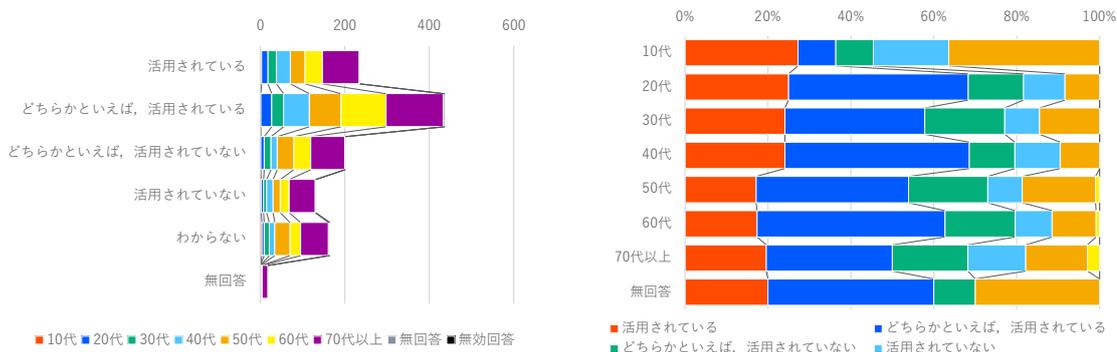
■居住地域別



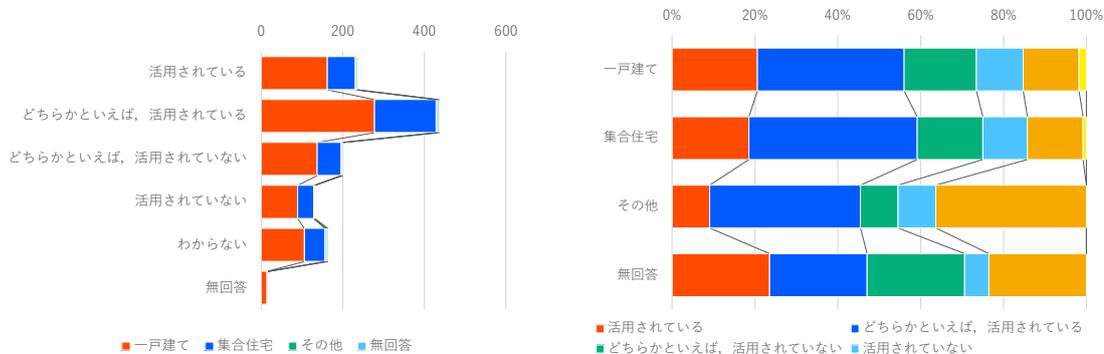
質問2-2-（3） 公園は冬も利用されているか

- ・居住地別にみると、低い傾向にあるのが、2-2-（1）と同様に、大町・川端・北星・新旭川などの小規模公園や児童遊園が多い地域の傾向がみられる。身近に小さな公園が多く利用されている場面を目にし難いことが要因と考えられる。これは、市街化区域外に居住する方が特に低いことから推測できる。

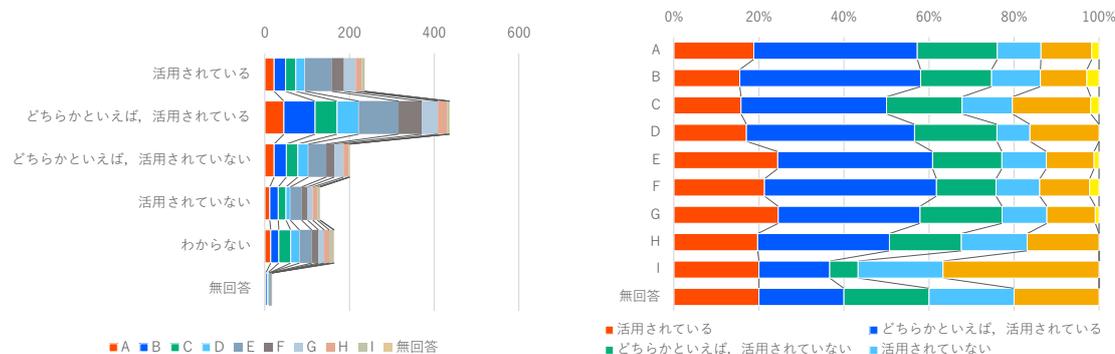
■年代別



■居住形態別



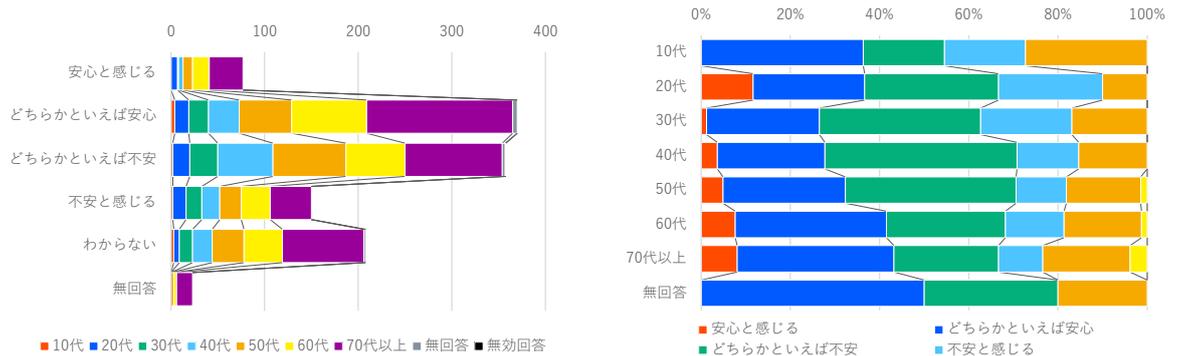
■居住地域別



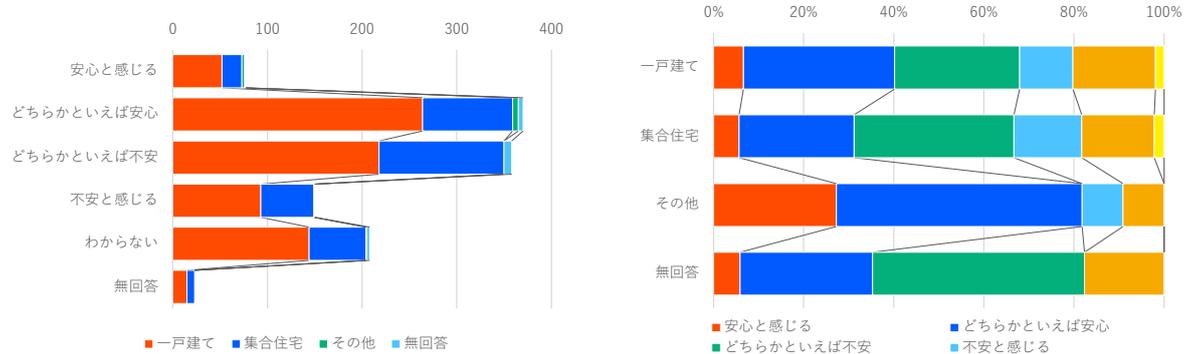
質問2-3-（1） 公園が防犯の面で安全・安心とを感じるか

- 50代以下の若い世代が不安を感じる傾向が高く、30代以下の世代で不安に感じている方がやや多い。
- 居住地別では、大町・住吉・北星などの地域に住んでいる方にやや不安を感じる方が多い。そのほかには大きな差異は見られない。

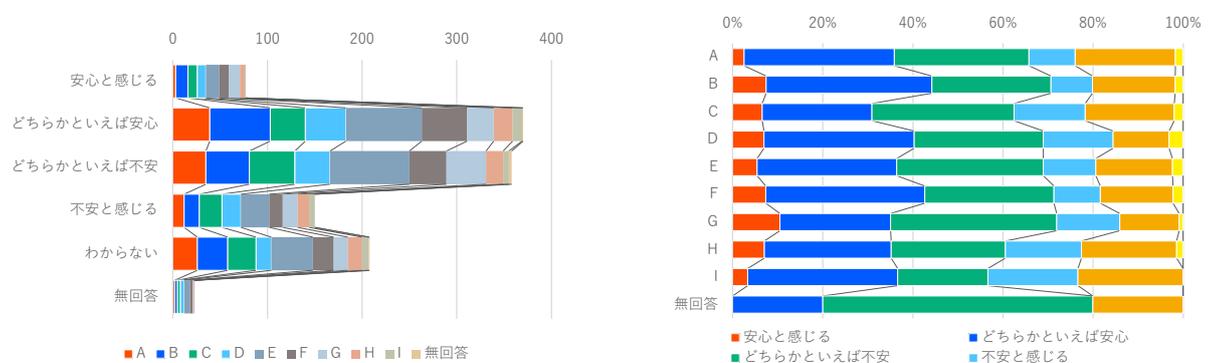
■年代別



■居住形態別



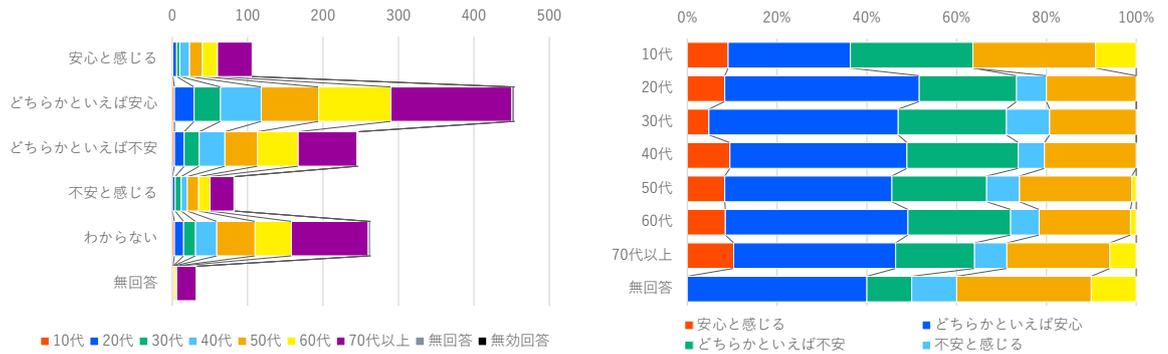
■居住地域別



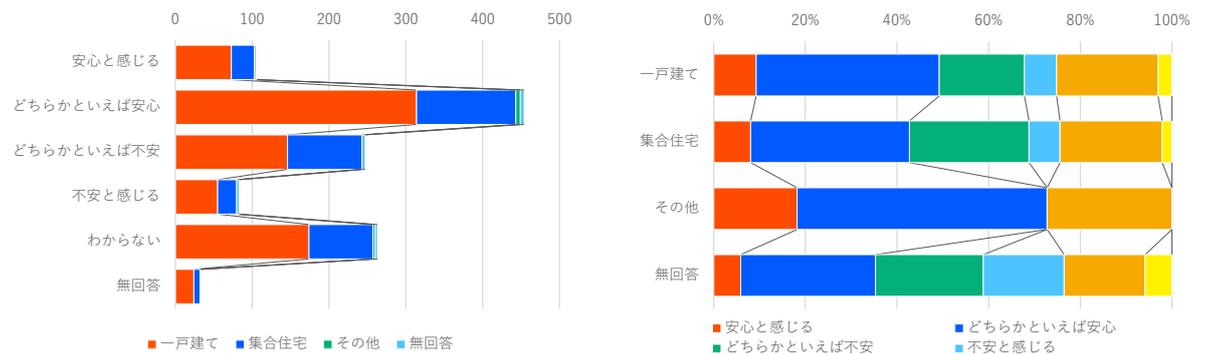
質問2-3- (3) 公園の施設が安全・安心とを感じるか

- ・ 10代が不安と感じている傾向が高い。
- ・ 居住別に見ても目立った傾向はないが、やや大町・住吉・北星などの地域に住んでいる方が不安を感じる傾向がある。

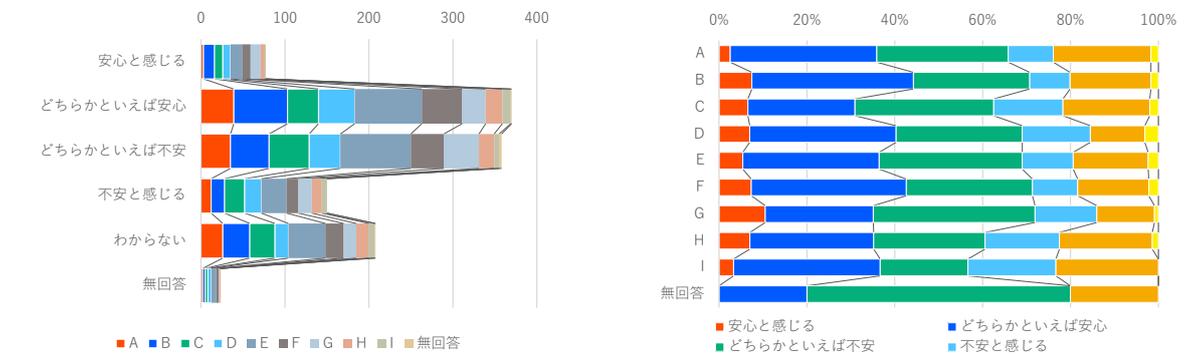
■年代別



■居住形態別



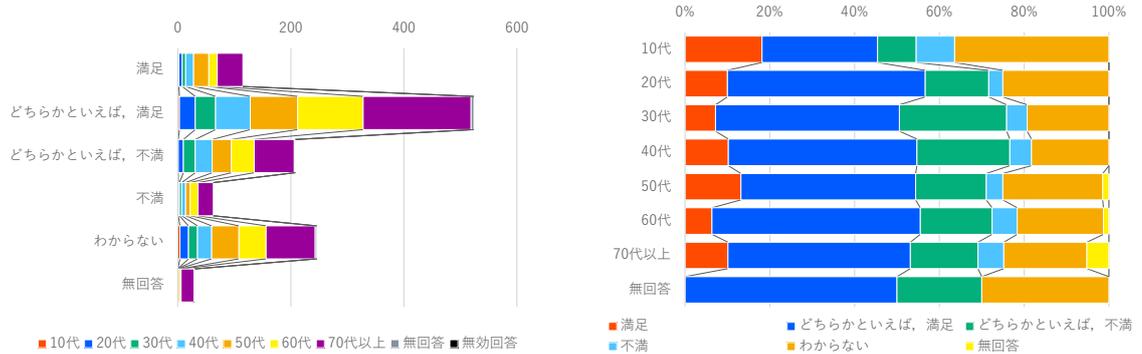
■居住地域別



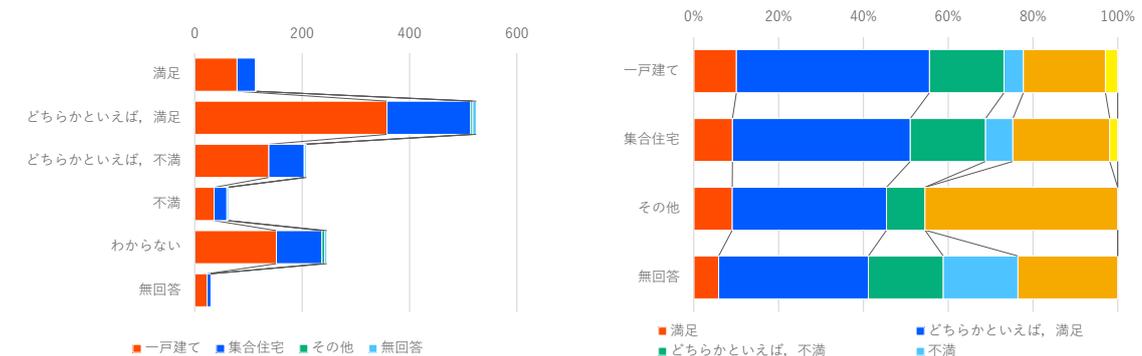
質問2-4-（1） 身近な公園に総合的に満足しているか

- ・ 世代で大きな違いはないが、やや10代が低い。
- ・ 居住地では、永山・大町・北星・新旭川が、やや評価が低く、神楽岡・緑ヶ丘の評価が高い。

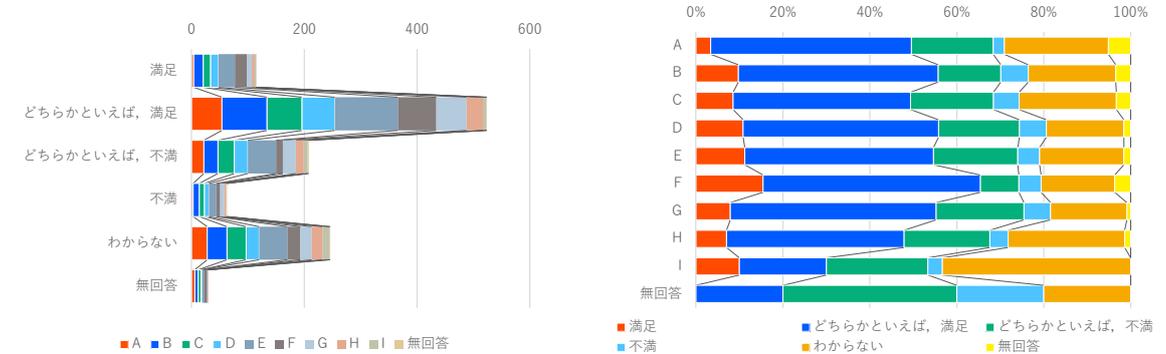
■年代別



■居住形態別



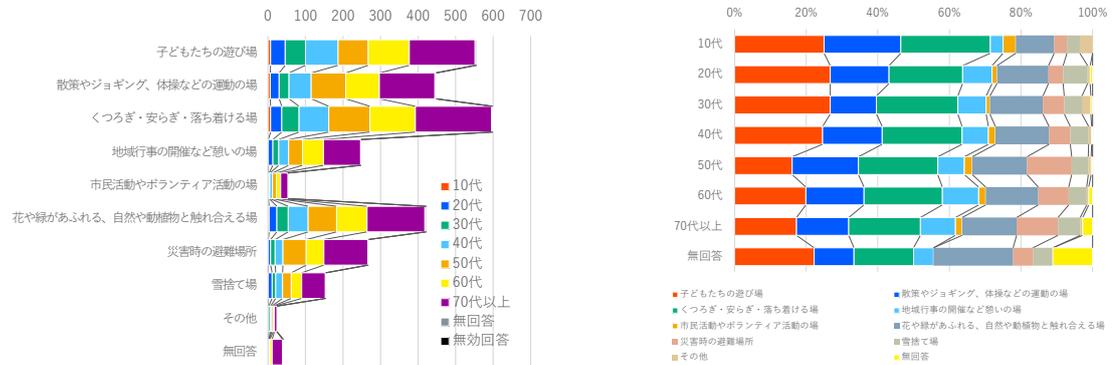
■居住地域別



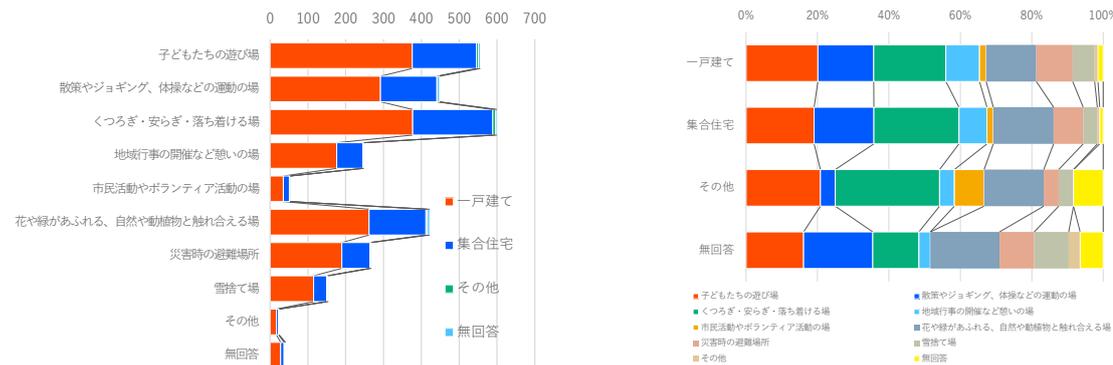
質問2-4-（4） 身近な公園がどんな場所なら使いたいか

- ・ 総じて、子どもの遊び場として期待している傾向があるが50代以上になると、やや運動やくつろぎの場としての期待が高くなる。

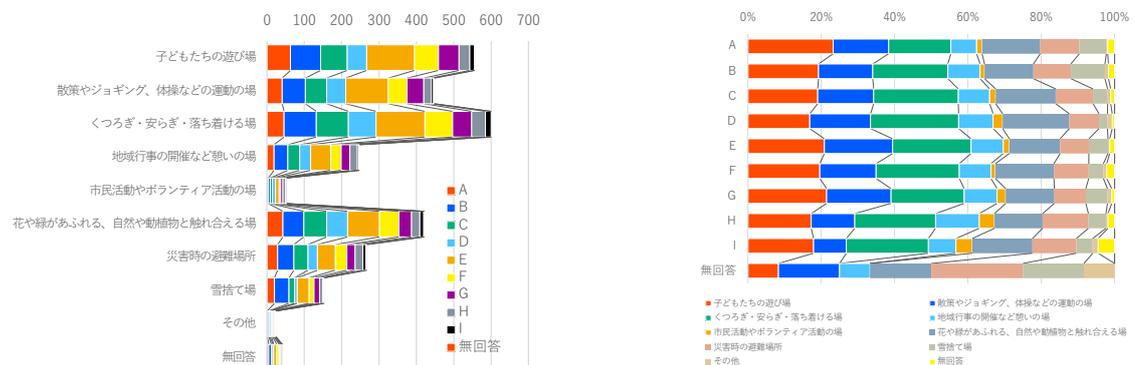
■年代別



■居住形態別



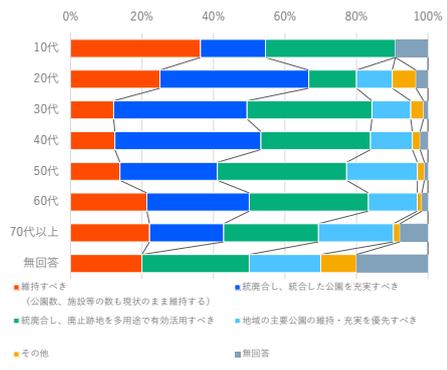
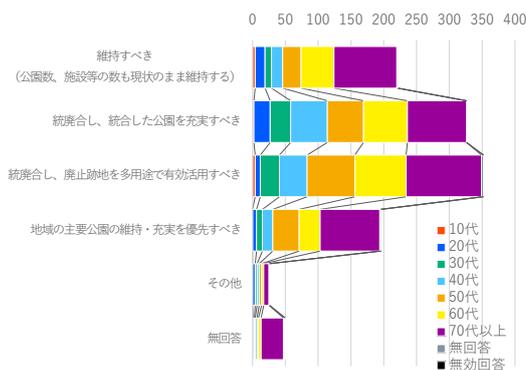
■居住地域別



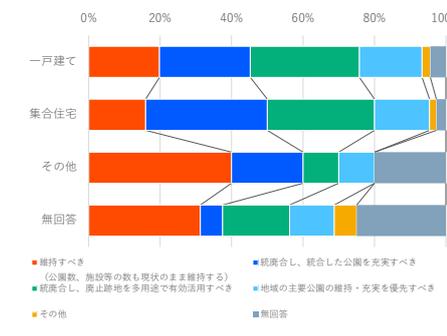
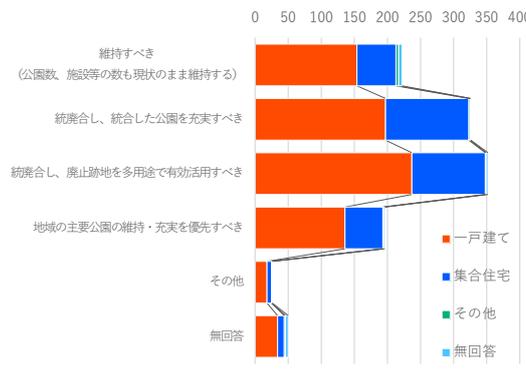
質問2-4-（5） 利用頻度の低い公園や市民の利用ニーズに合っていない公園の今後の整備について、どのように取り組んでいくことがよいと思いますか。

- ・ 総じて、子どもの遊び場として期待している傾向があるが50代以上になると、やや運動やくつろぎの場としての期待が高くなる。

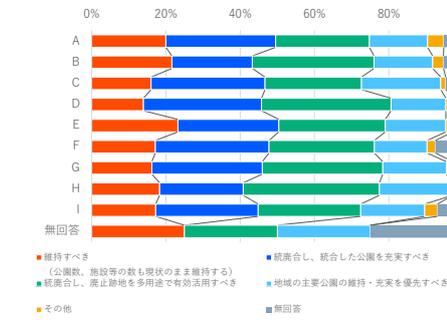
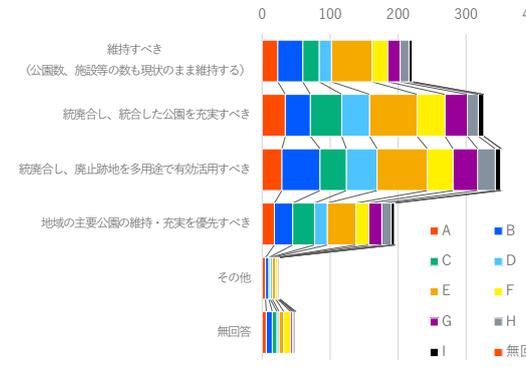
■年代別



■居住形態別



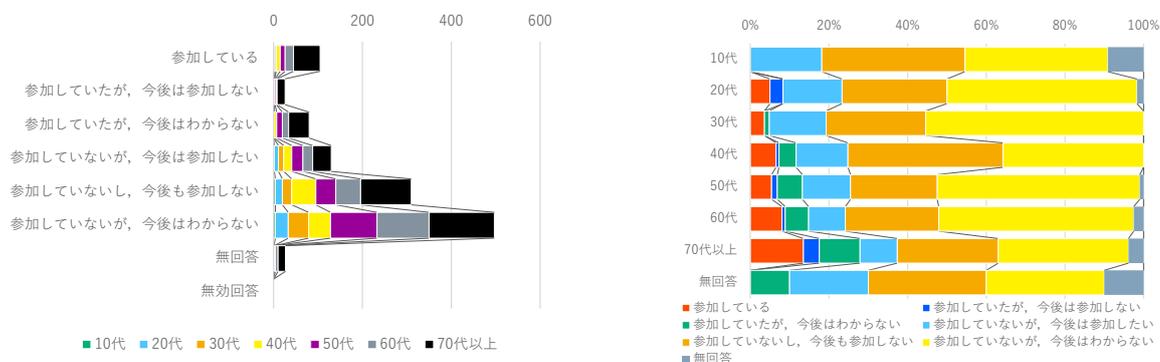
■居住地域別



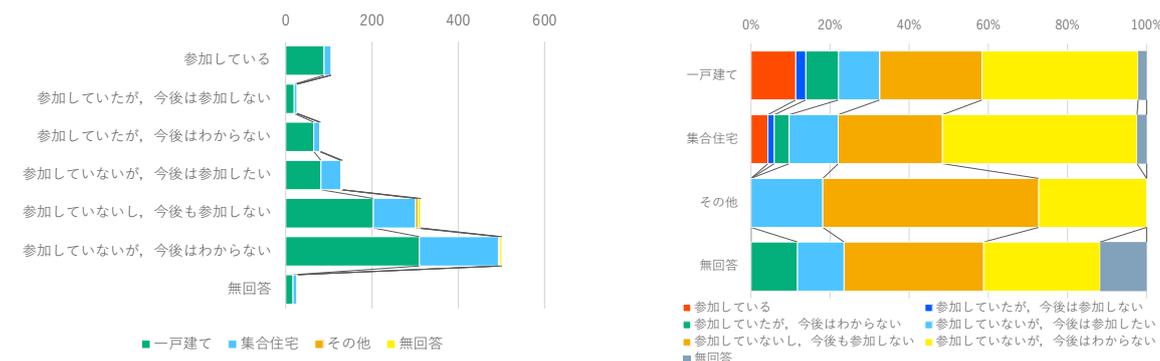
質問4-1-（1） 公園や道路のみどりの維持管理へ参加しているか

- 参加しているのは高齢者が多いが、同時に今後は参加しない、今後は分からないの回答も多い。
- 今後は参加したいと回答したひとが多い傾向があるのは50代以下の若世代で、特に20代以下は回答者数が少ないが、20%程度が参加したいと答えている。
- 一戸建てに住んでいる方の参加率が高いが、集合住宅は低い傾向にあるものの、今後は参加したいと回答している方は集合住宅が多い傾向にある。
- 居住地で見ると、東光・豊岡で、参加している方が多い。

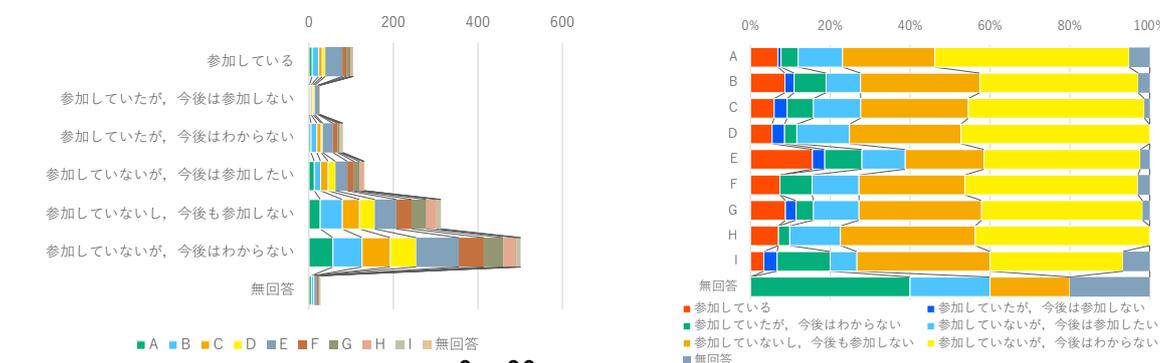
■年代別



■居住形態別



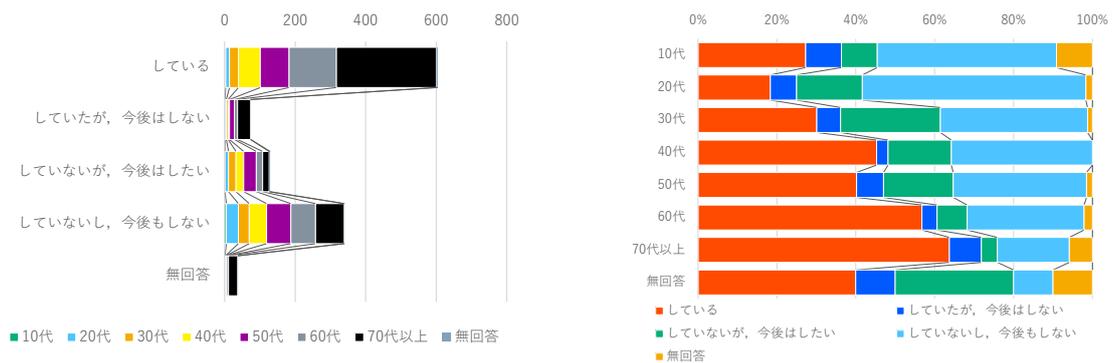
■居住地域別



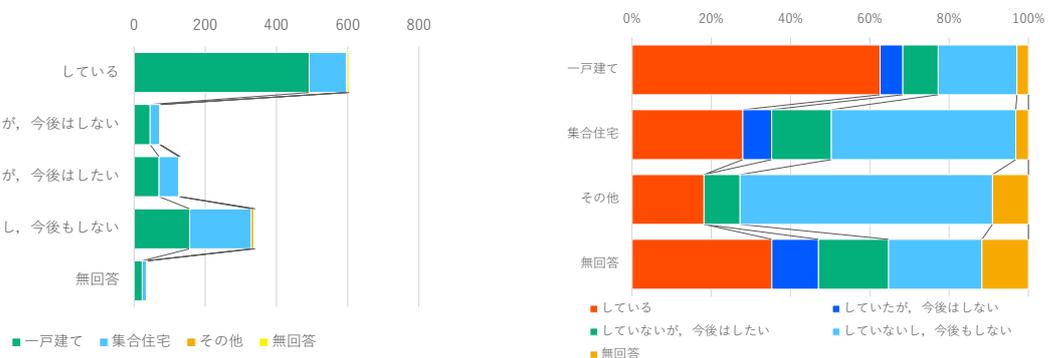
質問4-1-（3） 家庭菜園や庭づくりをしているか

- 年代が上がるほど高くなるが、やめたいと考えている人も全世代で同程度の割合で存在する。
- 20代から50代で、今後はやりたいと回答している方が10%から20%程度いる。
- やっていると答えた方の6割以上が一戸建てにお住まいで集合住宅でも30%近くがやっている回答しており、今後はやりたいと思っている方も集合住宅が多い傾向がある。
- 居住地別では、やっていない方が特に多いのは都心だが、今後はやりたいと回答している割合は最も高い。やっていない人がやや多いのは永山・新旭川などで、今後はやってみたい方がやや多いのが末広・春光・神居になっている。

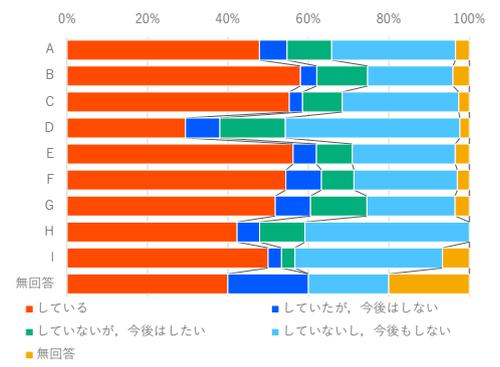
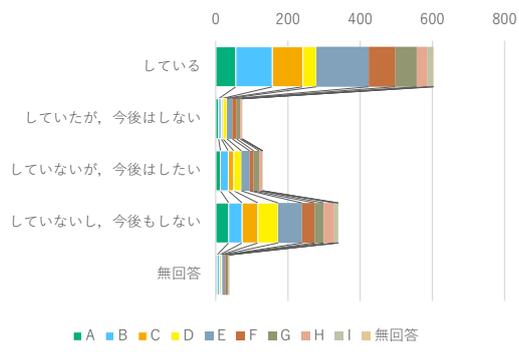
■年代別



■居住形態別



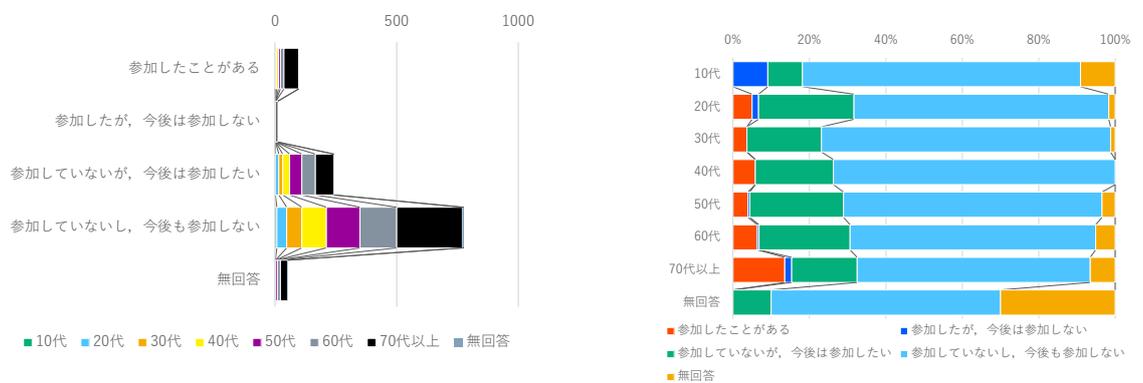
■居住地域別



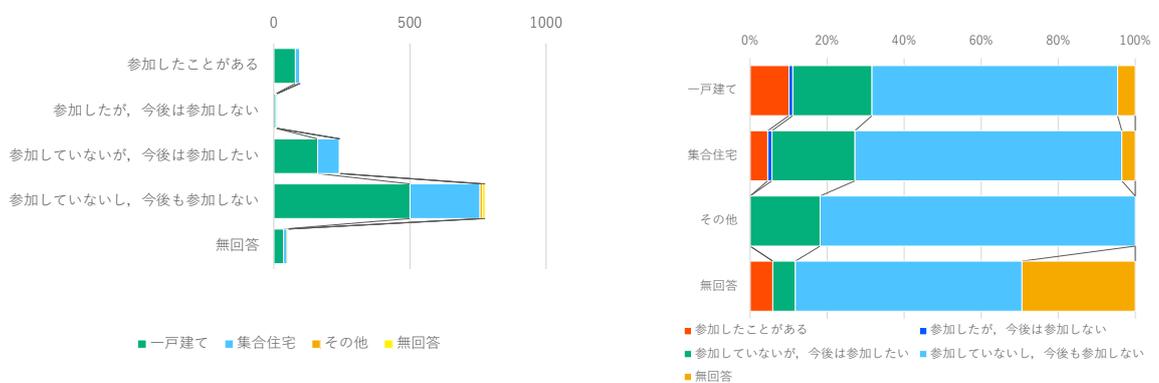
質問4-1-（3） 花や緑の講習会やセミナーに参加したことがあるか

- 世代で見ると、70代が多く他の世代は5%程度にとどまる。一方で、今後は参加したいと考えている方が全世代で20%程度となっている。これは居住形態に関係なく同様の結果になっている。
- 居住地別では、神楽岡・緑ヶ丘・新旭川で参加している方がやや多い傾向にある。これは講習会などの会場などに比較的アクセスしやすい場所であることが関係している可能性がある。

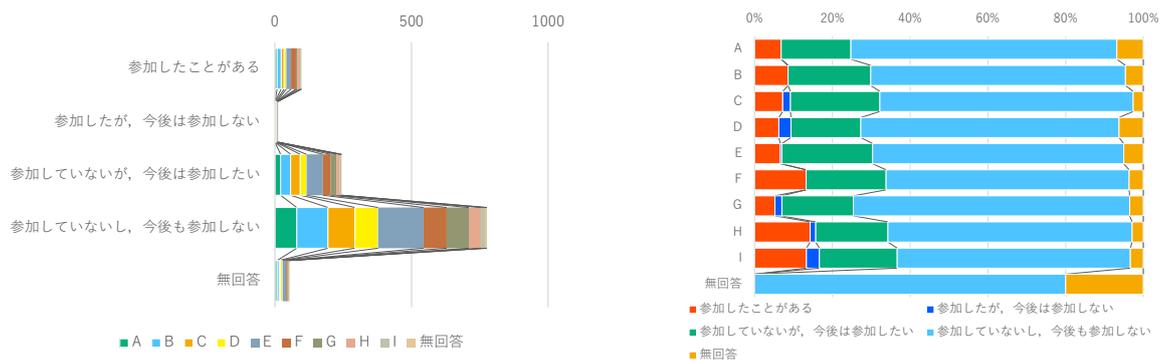
■年代別



■居住形態別



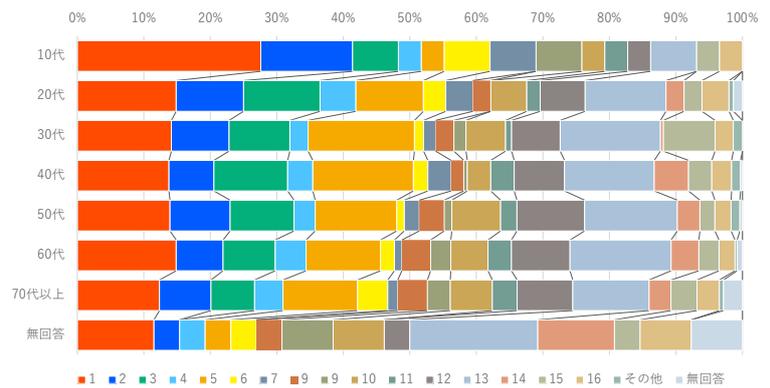
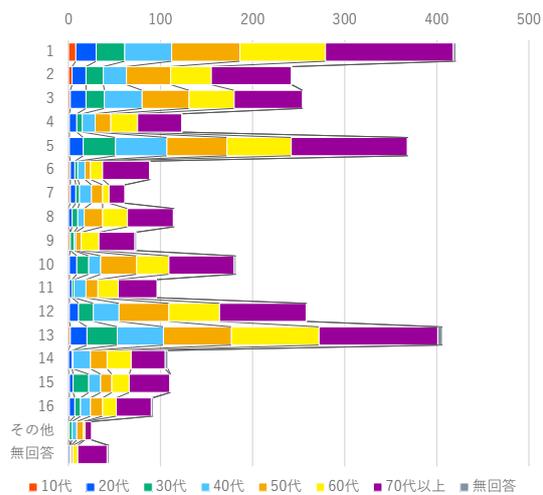
■居住地域別



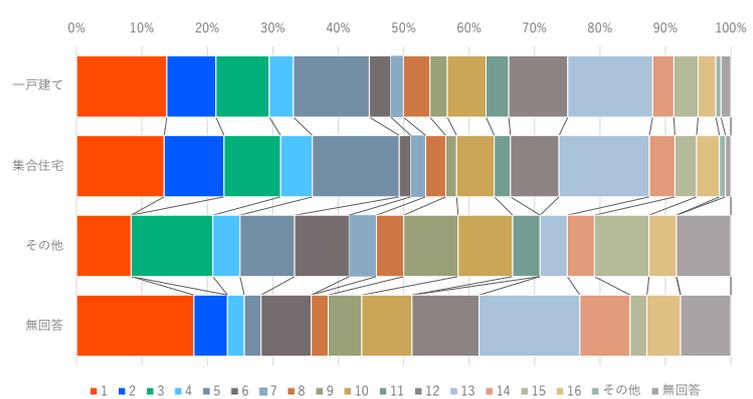
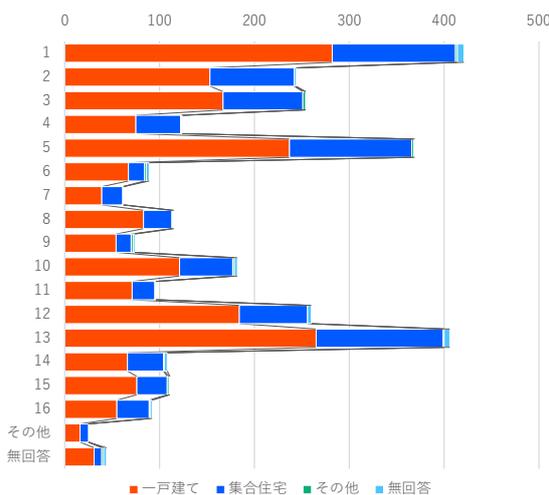
質問5-1 旭川のみどりを良くしていく上で大事なこと

- 「河川や大きな公園、農地や森林などの骨格となるみどりを守り育てる」
「公園の防犯や遊具の安全など、安全安心を大事にする」が多い傾向が見られ、次いで「多世代で多様に楽しめる公園を充実させる」が多い。
- 大事なこととして捉えていることに、世代別、居住形態別で大きな差異はない。

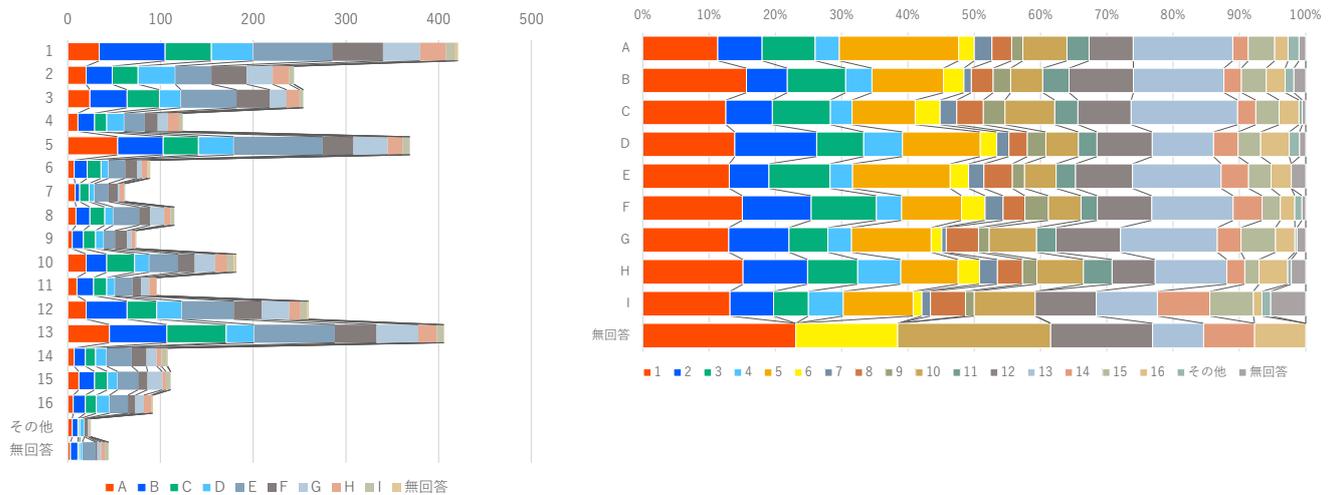
■年代別



■居住形態別



■ 居住地域別



選択肢

1. 河川や大きな公園，農地や森林などの，骨格となるみどりを守り育てる
2. 都心（中心市街地）のみどりをふやし，うるおいづくりを進める
3. 旭川らしいみどりの文化やブランドを創っていく
4. 花壇づくりなど，にぎわいを生む彩りあるみどりづくりを進める
5. 多世代で多様に楽しめる公園を充実させる
6. 地域ぐるみでみどりと花づくりを推進する
7. 地域のシンボルとなるみどりづくりを進める
8. 家庭菜園や市民農園など，田園生活を楽しむみどりを増やしていく
9. 花やみどりの維持管理で，市民協働を促進する
10. 省エネルギー化（LED化等）や，みどりのリサイクル（落ち葉の堆肥化等）などを進める
11. みどりづくりを支える制度や仕組みづくりを強化する
12. 公園の防災施設を充実したり，斜面地のみどりを守るなど，防災面を強化する
13. 公園の防犯や遊具の安全など，安全・安心を大事にする
14. 河川を活かすなど，生態系ネットワークづくりに力を入れる
15. 生物多様性に配慮し，拠点となるみどりづくりを進める
16. みどりの環境教育や知識の普及啓発を強化する
17. その他

3-4) みどりの市民活動の動向

旭川市のみどりの市民活動には、昭和48年(1973年)から活動を行っている「旭川市を緑にする会」があり、自ら緑化活動を行うほか、町内会などの花壇づくりや記念植樹を支援する活動など、多様な協働が行われています。しかしながら、他の活動団体がこの10年で統廃合されるなど、市民団体の活力低下が懸念されます。

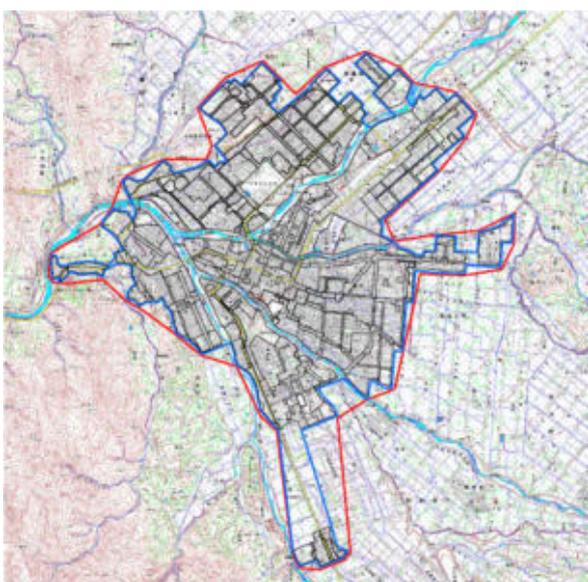
一方、旭川市の市民活動は、NPO法人数が増加傾向にありましたが、令和3年以降減少に転じました。現在97あるNPO法人のうち、環境保全を図る目的を有する団体数は18法人あり、今後、こうしたみどりの市民活動団体と連携して緑化の推進を図っていくことが期待されます。

4 令和7年度(2025年度)緑被現況調査の概要

4-1) 調査方法

① 使用画像データ

緑被判読のための画像データは、光学衛星により撮影した衛星写真（プレアデス）を使用する。データの範囲は、旭川市の市街化区域の全域を使用する。



■衛星画像データ（全区域）

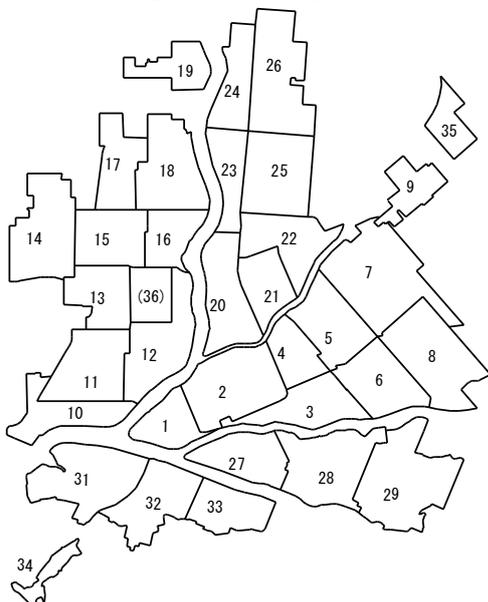
撮影日：令和6年(2024年)5月18日
座標：JGD2011（12系）。



② 地区区分

緑被判読の算出は、旭川市内の市街化区域（7,957ha）にて行う。市街化区域内を35の地区に細分化（前回の緑被調査時の地区分けと同じ）して各地区の衛星画像の切出しを行う。

■市街化区域区分け（35地区）

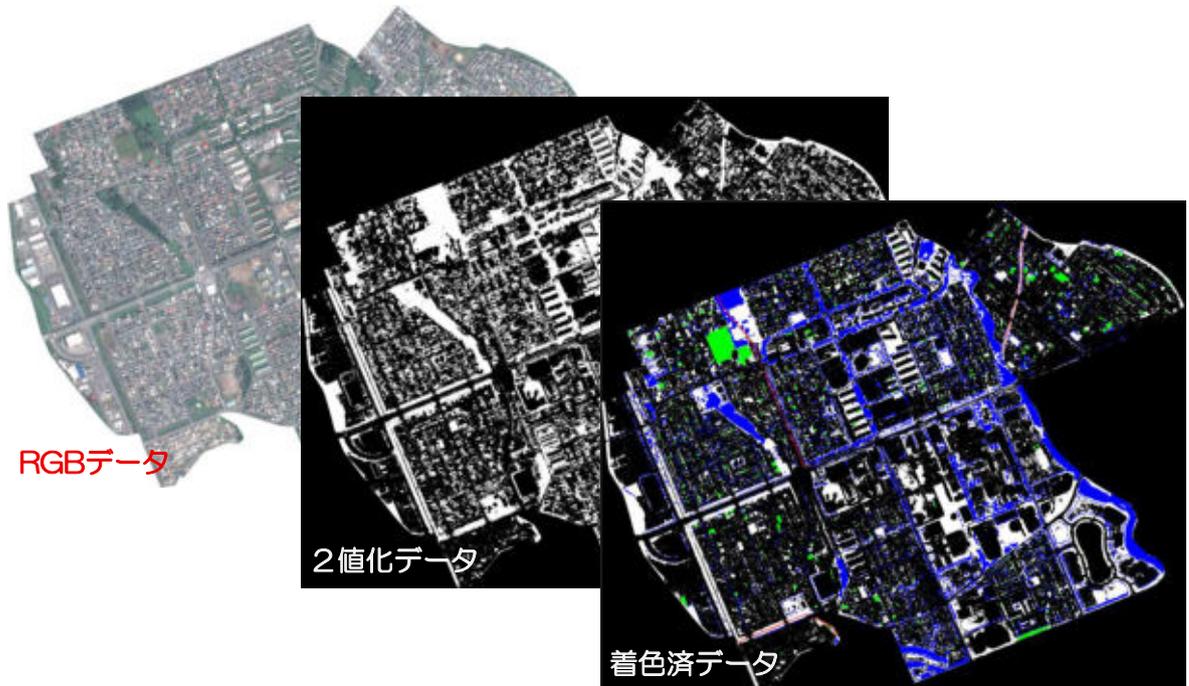


■地区区分一覧

1 中央西地区	19 東鷹栖地区
2 既存都心地区	20 新旭川地区
3 宮前地区	21 パルプ地区
4 中央東地区	22 永山南地区
5 豊岡地区	23 流通団地地区
6 東光西地区	24 永山北地区
7 愛宕地区	25 永山西地区
8 東光東地区	26 永山地区
9 東旭川地区	27 神楽地区
10 近文地区	28 神楽岡地区
11 北里地区	29 緑が丘地区
12 大町・川端地区	30 西神楽地区
13 住吉・春光町地区	31 忠和地区
14 春光台地区	32 神居北地区
15 末広西・春光地区	33 神居南地区
16 末広東・春光地区	34 台場地区
17 末広北地区	35 日ノ出地区
18 末広北東地区	

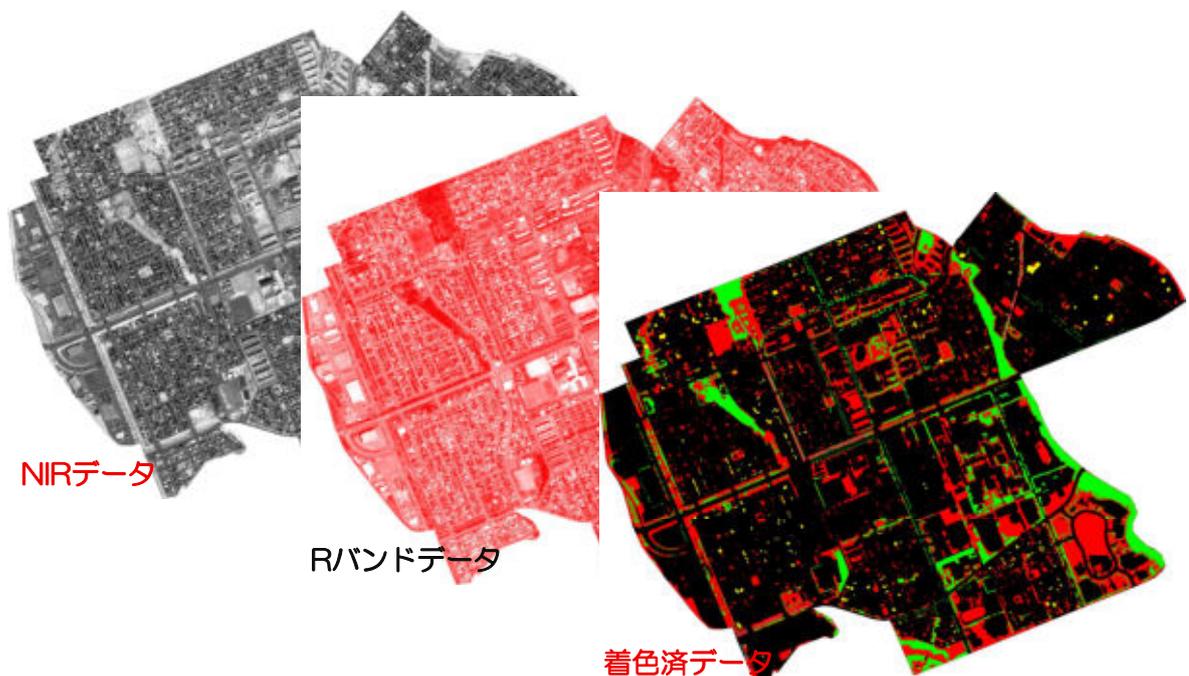
③ 画像加工・緑被の抽出

過年度の調査では、衛星写真から切り出した各地域の画像から緑の成分を抽出するために2値化を行い、さらに2値化した緑の成分を各緑地の区分に塗り分けるといった工程で作業していた。

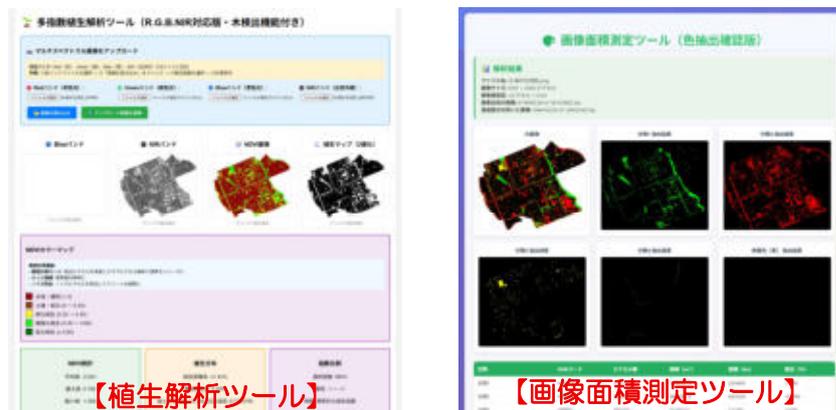


しかしこの方法では、年が変わると衛星画像の撮影条件により画像の彩度や明度に一貫性が保てないため、緑地の抽出に偏りが生じる可能性があった。

今年度の調査では、衛星写真からNIR(Near-Infrared:近赤外線)のデータを取得し、NDVI(正規化植生指数^(*))を用いた解析を行っている。



また、解析手法の一貫性を確保するため、AIを活用した緑地抽出プログラム、及び着色結果を集計する専用プログラムを開発し、今回の調査に適用している。



※ NDVIを用いた解析手法の採用根拠

本調査では、植生評価の客観性と再現性を確保するため、リモートセンシング分野で国際的に標準化されているNDVI(正規化植生指数)を採用した。NDVIは、健康な植物が光合成のために可視赤色光を吸収し、近赤外線を強く反射する生理学的特性を利用した指標であり、撮影条件の違いによる影響を最小化し、経年比較における一貫性を確保できる利点がある。

④ 緑被の区分

緑被として分類されたエリアを下記に示す4区分について元画像より目視判断を行い細分化している。

■ 緑被地の区分

区 分	内 容	判別色
草 地	芝地, 草地	赤
樹 木	樹木 (枝張り部分)	緑
田 畑	田・畑・休耕地	黄
水 辺	池・河川等の水面	水色

各地区における4色の画素数をそれぞれ算出し、緑被率の算出を行っている。

$$\text{緑被率 (\%)} = \frac{\text{草地面積} + \text{樹木面積} + \text{田畑面積} + \text{水辺面積}}{\text{対象区域面積}} \times 100$$

4-2) 地区別緑被調査結果 (H26→R7の変化) ※河川区域面積算入した場合

【減少の主な要因】

- ・建物施設（住宅・商工業施設等）や駐車場整備による緑の減少
- ・草地の裸地化

【増加の主な要因】

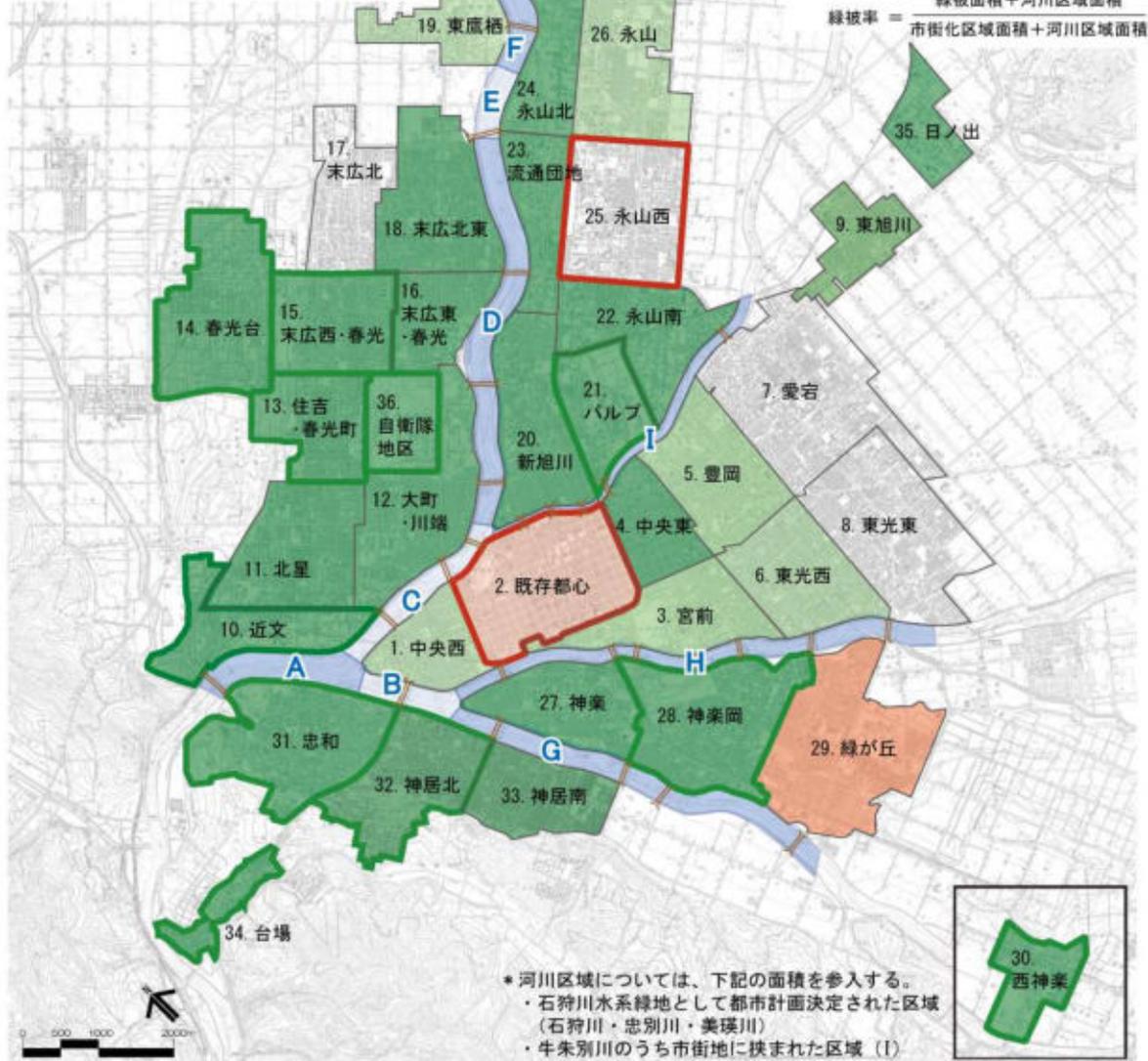
- ・樹木の成長
- ・写真精度の向上による細部箇所の算出
(H17調査：5mメッシュ
→ H26調査：0.5mメッシュに細分化)

	H26	R7	前回調査時との差
市街化区域の緑被面積 (緑被率)	1,668.5 ha (20.97%)	2,014.6 ha (25.34%)	346.1 ha (4.37%)
〃 【河川区域含む】	2,476.7 ha (28.26%)	2,822.8 ha (32.70%)	346.1 ha (4.44%)

■地区全体面積 (36. 自衛隊地区を除く) 7,823 ha
 ■河川区域面積 (A~I) 808.2 ha

市街地に挟まれた河川区域を「緑被」とすると

$$\text{緑被率} = \frac{\text{緑被面積} + \text{河川区域面積}}{\text{市街化区域面積} + \text{河川区域面積}}$$



* 河川区域については、下記の面積を参入する。
 ・石狩川水系緑地として都市計画決定された区域
 (石狩川・忠別川・美瑛川)
 ・牛朱別川のうち市街地に挟まれた区域 (I)

 	緑被率が 30%以上
 	〃 15%以上30%未満
 	〃 15%未満

 	3%以上の増加
 	1%以上 〃
 	1%未満の増減
 	1%以上の減少
 	3%以上 〃

		面積 (ha)
石狩川	A	93.3
	B	45.9
	C	75.1
	D	176.1
	E	32.6
	F	44.9
美瑛川	G	149.3
忠別川	H	128.1
牛朱別川	I	62.9
計		808.2

■ 地区別緑被調査集計表（令和7年度(2025年度)）

地区名	今回調査																				
	地区面積 (ha)	樹木				草地				田畑				水辺				合計			
		(㎡)	(%)	前回(%)	前回調査 時との差 (%)	(㎡)	(%)	前回(%)	前回調査 時との差 (%)	(㎡)	(%)	前回 (%)	前回調査 時との差 (%)	(㎡)	(%)	前回 (%)	前回調査 時との差 (%)	(㎡)	(%)	前回(%)	前回調査時 との差(%)
1 中央西地区	144	42,921.25	2.98	5.41	-2.43	210,641.00	14.61	10.97	3.64	18,911.00	1.31	1.23	0.08	4,522.75	0.31	0.29	0.02	276,996.0	19.21	17.9	1.31
2 既存都心地区	320	168,711.00	5.27	6.62	-1.35	117,043.75	3.66	3.91	-0.25	1,105.50	0.03	0.01	0.02	1.00	0.00	0.49	-0.49	286,861.3	8.96	11.0	-2.07
3 宮前地区	212	70,672.50	3.34	3.54	-0.20	270,041.50	12.76	9.93	2.83	16,378.00	0.77	1.25	-0.48	15,794.00	0.75	0.05	0.70	372,886.0	17.62	14.8	2.85
4 中央東地区	140	60,636.75	4.33	4.24	0.09	140,956.00	10.07	5.71	4.36	7,249.00	0.52	1.02	-0.50	4,561.50	0.33	0.19	0.14	213,403.3	15.25	11.2	4.09
5 豊岡地区	233	94,393.75	4.05	4.37	-0.32	255,153.75	10.94	7.32	3.62	15,487.25	0.66	1.00	-0.34	13,887.50	0.60	0.75	-0.15	378,922.3	16.25	13.4	2.81
6 東光西地区	231	79,865.75	3.45	2.76	0.69	220,990.25	9.55	7.96	1.59	52,466.25	2.27	2.62	-0.35	4,937.25	0.21	0.18	0.03	358,259.5	15.48	13.5	1.96
7 愛宕地区	427	93,124.75	2.18	2.50	-0.32	511,231.25	11.99	13.21	-1.22	100,973.00	2.37	1.44	0.93	17,802.00	0.42	0.31	0.11	723,131.0	16.96	17.5	-0.50
8 東光東地区	340	64,493.75	1.90	2.27	-0.37	419,381.25	12.33	10.65	1.68	63,242.75	1.86	2.27	-0.41	12,562.75	0.37	0.36	0.01	559,680.5	16.46	15.6	0.91
9 東旭川地区	126	63,205.50	5.02	4.46	0.56	189,589.00	15.07	7.40	7.67	29,990.25	2.38	2.30	0.08	1,045.50	0.08	0.03	0.05	283,830.3	22.55	14.2	8.36
10 近文地区	197	222,787.50	11.30	8.97	2.33	583,712.50	29.60	17.31	12.29	41,497.50	2.10	2.18	-0.08	15,713.25	0.80	0.55	0.25	863,710.8	43.80	29.0	14.79
11 北星地区	266	81,460.75	3.07	3.35	-0.28	414,157.00	15.60	8.16	7.44	54,087.75	2.04	2.53	-0.49	10,292.25	0.39	0.24	0.15	559,997.8	21.10	14.3	6.82
12 大町・川端地区	279	229,838.25	8.23	7.87	0.36	573,833.50	20.55	12.19	8.36	22,024.50	0.79	1.35	-0.56	1,017.50	0.04	0.04	0.00	826,713.8	29.61	21.5	8.16
13 住吉・春光町地区	189	433,553.25	22.98	20.92	2.06	418,941.00	22.21	15.81	6.40	18,504.50	0.98	1.12	-0.14	8,085.00	0.43	0.52	-0.09	879,083.8	46.60	38.4	8.23
14 春光台地区	316	275,681.75	8.74	8.22	0.52	976,007.75	30.93	20.21	10.72	58,998.25	1.87	2.74	-0.87	64.25	0.00	0.02	-0.02	1,310,752.0	41.54	31.2	10.35
15 末広西・春光地区	216	377,823.75	17.51	15.44	2.07	309,413.75	14.34	11.93	2.41	27,511.75	1.27	1.58	-0.31	3,289.25	0.15	0.25	-0.10	718,038.5	33.27	29.2	4.07
16 末広東・春光地区	147	68,243.50	4.64	3.86	0.78	183,293.00	12.47	7.94	4.53	18,116.50	1.23	1.41	-0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	269,653.0	18.34	13.2	5.13
17 末広北地区	191	101,252.25	5.31	3.04	2.27	284,662.75	14.94	17.48	-2.54	29,560.75	1.55	1.83	-0.28	10,601.75	0.56	0.61	-0.05	426,077.5	22.36	23.0	-0.60
18 末広北東地区	280	52,555.75	1.88	1.87	0.01	401,729.75	14.34	9.98	4.36	53,671.50	1.92	2.57	-0.65	0.25	0.00	0.00	0.00	507,957.3	18.14	14.4	3.72
19 東鷹栖地区	136	58,223.00	4.27	2.47	1.80	146,060.75	10.70	10.93	-0.23	66,827.00	4.90	5.30	-0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	271,110.8	19.87	18.7	1.17
20 新旭川地区	257	81,966.75	3.19	2.74	0.45	400,216.25	15.59	9.97	5.62	37,649.75	1.47	2.37	-0.90	3,321.00	0.13	0.11	0.02	523,153.8	20.38	15.2	5.19
21 パルプ地区	155	204,741.50	13.18	8.44	4.74	349,082.75	22.47	18.97	3.50	2,830.00	0.18	0.18	0.00	9,019.25	0.58	0.45	0.13	565,673.5	36.41	28.0	8.37
22 永山南地区	231	30,508.50	1.32	2.56	-1.24	272,297.00	11.80	4.80	7.00	64,974.75	2.82	4.49	-1.67	8,235.50	0.36	0.36	0.00	376,015.8	16.30	12.2	4.09
23 流通団地地区	153	76,858.00	5.02	3.29	1.73	187,129.00	12.23	7.15	5.08	9,393.75	0.61	0.68	-0.07	10,210.50	0.67	0.06	0.61	283,591.3	18.53	11.2	7.35
24 永山北地区	176	69,738.25	3.95	4.28	-0.33	315,319.50	17.87	10.90	6.97	47,925.00	2.72	3.77	-1.05	0.00	0.00	0.16	-0.16	432,982.8	24.54	19.1	5.43
25 永山西地区	294	27,755.00	0.94	2.71	-1.77	286,739.75	9.74	5.95	3.79	63,870.25	2.17	4.00	-1.83	5,249.00	0.18	0.12	0.06	383,614.0	13.03	12.8	0.25
26 永山地区	347	94,986.50	2.74	3.56	-0.82	593,826.75	17.12	12.88	4.24	100,589.75	2.90	3.87	-0.97	5,710.00	0.16	0.16	0.00	795,113.0	22.92	20.5	2.45
27 神楽地区	202	151,564.00	7.51	9.50	-1.99	351,909.75	17.43	9.20	8.23	29,817.50	1.48	2.43	-0.95	2,518.25	0.12	0.12	0.00	535,809.5	26.54	21.3	5.29
28 神楽岡地区	324	553,619.25	17.11	20.80	-3.69	542,893.75	16.78	9.00	7.78	55,156.00	1.70	2.78	-1.08	6,927.25	0.21	0.15	0.06	1,158,596.3	35.80	32.7	3.07
29 緑が丘地区	395	294,494.75	7.46	10.13	-2.67	660,558.75	16.74	20.91	-4.17	72,109.25	1.83	1.51	0.32	5,387.25	0.14	0.09	0.05	1,032,550.0	26.17	32.6	-6.47
30 西神楽地区	117	145,281.75	12.41	10.51	1.90	336,021.25	28.71	15.62	13.09	44,006.00	3.76	4.16	-0.40	209.50	0.02	0.01	0.01	525,518.5	44.90	30.3	14.60
31 忠和地区	325	432,503.25	13.31	14.11	-0.80	823,493.00	25.35	15.06	10.29	98,255.00	3.02	3.35	-0.33	10,732.25	0.33	0.36	-0.03	1,364,983.5	42.01	32.9	9.13
32 神居北地区	242	297,454.25	12.28	14.48	-2.20	485,550.50	20.04	9.25	10.79	91,358.50	3.77	4.48	-0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	874,363.3	36.09	28.2	7.88
33 神居南地区	176	48,887.25	2.78	4.85	-2.07	311,415.25	17.71	10.38	7.33	78,858.75	4.48	6.43	-1.95	1,442.00	0.08	0.17	-0.09	440,603.3	25.05	21.8	3.22
34 台場地区	63	52,698.25	8.35	7.31	1.04	201,895.25	31.99	13.84	18.15	10,821.00	1.71	1.74	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	265,414.5	42.05	22.9	19.16
35 日ノ出地区	105	69,381.00	6.63	8.27	-1.64	210,285.25	20.09	14.64	5.45	1,424.50	0.14	0.24	-0.10	366.25	0.03	0.04	-0.01	281,457.0	26.89	23.2	3.70
36 自衛隊地区	127	79,167.00	6.24	9.24	-3.00	478,973.00	37.73	30.01	7.72	0.50	0.00	0.00	0.00	11,000.25	0.87	0.69	0.18	569,140.8	44.84	39.9	4.90
合計(自衛隊除く)	7,950	5,271,883.00	6.63	6.92	-0.29	12,955,473.25	16.30	11.48	4.82	1,505,642.75	1.89	2.37	-0.48	193,505.75	0.24	0.22	0.02	19,926,504.75	25.06	20.97	4.09
緑被率(自衛隊含む)	8,077	5,351,050.00	6.73	6.95	-0.22	13,434,446.25	16.90	11.77	5.13	1,505,643.25	1.89	2.34	-0.45	204,506.00	0.26	0.23	0.03	20,495,645.50	25.78	21.26	4.52

■ 前回調査時との差

3%以上減少
3%未満の増減
3%以上増加

■ 今回の全体緑被率

15%未満
15%以上30%未満
30%以上

5 緑の基本計画改定の経緯

5-1) 旭川市緑の審議会委員名簿

委員：15名（同一任期中の人数）

会長：江口尚文、副会長：安藤秀俊

委員名	所属等	任期
安藤 秀俊	(大) 北海道教育大学教育学部旭川校 理科教育専攻 教授	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
池本 ののか	(一社) 旭川青年会議所	R8.3.9~
石塚 英俱	旭川市を緑にする会 会長	R7.5.2~R7.7.4
内村 満	公募市民	R7.8.15~R8.1.30 R8.3.9~
江口 尚文	(大) 旭川市立大学 経済学部 経営経済学科 教授	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
岡本 秀雄	旭川市を緑にする会 副会長	R7.7.22~R8.1.30 R8.3.9~
小泉 匡弘	(大) 北海道教育大学教育学部旭川校 生活・技術教育専攻 教授	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
小平 吉邦	市民委員会連絡協議会 監事	R7.7.28~R8.1.30 R8.3.9~
今野 義信	公募市民	R6.1.31~R7.8.12
塩田 惇	突哨山と身近な自然を考える会 事務局長	R6.1.31~R8.1.30
菅 友香	旭川市PTA連合会 副会長	R7.6.27~R8.1.30 R8.3.9~
滝沢 育則	(公財) 旭川市スポーツ協会 監事	R6.1.31~R8.1.30
田中 佐代子	(公社) 北海道宅地建物取引業協会旭川支部 研修広報委員	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
千葉 忠良	市民委員会連絡協議会 理事	R6.1.31~R7.7.14
成田 美恵子	公募市民	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
日向 透	(公財) 旭川市スポーツ協会 理事	R8.3.9~
藤倉 聆	公募市民	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
舟橋 健	旭山を活かす街づくり市民の会 技術顧問	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
堀 直也	(一社) 旭川青年会議所 理事	R6.1.31~R8.1.30
森崎 真美恵	(一社) 旭川観光コンベンション協会 主任	R6.1.31~R8.1.30 R8.3.9~
山本 牧	(特非) もりねっと北海道 代表	R8.3.9~

※所属等は任期中の主な所属等、任期は改定に関与した期間を含む任期のみを表示。

5-2) 検討の経緯

年月日	内 容
R6年7月8日	令和6年度第1回緑の審議会 ・中間見直しの必要性、改定スケジュール等について
R7年6月27日	令和7年度第1回緑の審議会 ・中間見直しの内容、改定スケジュール等について
R7年8月27日	令和7年度第2回緑の審議会 ・中間見直しの論点と改定のポイントについて ・施策の課題と進行評価について ・アンケート調査について
R7年9月8日(発送)～ R7年9月24日	緑の市民アンケートの実施
R7年11月10日	令和7年度第3回緑の審議会 ・緑の市民アンケート中間報告 ・第2次旭川市緑の基本計画素案について
R8年1月8日	令和7年度第4回緑の審議会 ・第2次旭川市緑の基本計画改定案について
R8年1月16日～ R8年2月15日	パブリックコメントの実施
R8年3月9日	令和7年度第5回緑の審議会 ・パブリックコメントの結果について ・第2次旭川市緑の基本計画改定案について